

目 次

会長のページ 第130回 宮崎県医師会定例代議員会挨拶要旨	秦 喜八郎	3
日州医談 院内感染	大坪 睦郎	4
平成14年度宮崎県福祉保健部一般会計予算の概要	夏田 康則	7
宮崎医科大学教授退任挨拶	高濱 桂一	10
宮崎医科大学教授新任挨拶	千々岩 一男	11
旅行記 避暑旅行	貴島 テル子	12
エコ・リレー (321)	柊山 剰, 前野 正和	18
グリーンページ 社会保険医療担当者の個別指導の結果について 規制改革推進3か年計画(改定)	志多 武彦	21
感染症サーベイランス情報		25
各都市医師会だより(宮崎市郡, 都城市北諸県郡)		26
国公立病院だより(串間市国民健康保険病院)	牟禮 洋	32
宮崎医科大学だより(微生物学講座)	林 哲也	34
各種委員会(会館建設検討委員会)		35
各都市医師会長協議会		37
各都市医師会役員連絡協議会		40
各専門分科医会長会		42
九医連第246回常任委員会		43
日医FAX ニュースから		44
医事紛争情報		46
薬事情報センターだより(181)(分子標的治療薬)		48
医師協同組合だより		49
医師国保組合だより		50
理 事 会 日 誌		54
県 医 の 動 き		58
追 悼 の こ と ば		59
会 員 消 息		62
ベストセラー, ドクターバンク		66
行 事 予 定		67
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会		69
診 療 メ モ (宮崎医科大学診療受付時間及び休診日)		75
あ と が き		80
~~~~~		
告 知 県医師会定例代議員会開催, 県医師連盟執行委員会開催, 県医師協同組合通常総代会開催		36
お知らせ 医家芸術展作品募集		19
諸会費決定について		20
広告規制緩和について		61
県ドクターズテニスクラブ春の大会の開催について		74
基本健康診査時のC型肝炎ウイルス検診についてお願い		76
ボーナス資金等融資のご案内		77
郡市医師会への送付文書		78

## 医師の誓い

人の生命を尊重し、これを救い、更に健康増進に寄与するは、医師たる職業の貴い使命である。

人の生命を至上のものとし、如何なる強圧に遇うとも人道に反した目的のために医学の知識を乱用せず、絶えず医学の研鑽と医術の練成に励み、細心の注意と良心に従って医を行う。

社会の倫理にもとらず、不正の利を追わず、病を追ひ、病を究め、病める人を癒し、同僚相睦び相携えて、医学の名誉と伝統を保持することを誓う。

### 宮崎県医師会

(昭和50年 8 月26日制定)

〔表紙写真〕

good day

この10年程、ささごい^{そうしちゅう}や想思鳥などたくさんの野鳥を保護してきました。同じ地球号の乗組員として母船の環境は気になります。やごのいっぱいいる川で泳いだあの頃の安全な自然は取り戻せるのでしょうか。いつかきっとできると信じます。そんな願いを込めた地球讃歌を少し大げさですがキャンパスに表わしたいと描いています。

西都市 ^{あん}安 ^{どう}藤 ^{のぶ}宣

(第2回宮崎県医師会医家芸術展より)

## 会長のページ

## 第130回 宮崎県医師会定例代議員会挨拶要旨

秦 喜 八 郎

本日は、平成14年度県医師会事業計画案及び予算等についてご審議賜るわけがあります。

ご承知のように、4月19日に、健康保険法改正案、健康増進法案が、衆議院本会議に上程されました。今後、厚生労働

委員会で本格的論議が開始されます。医療制度抜本改革もいよいよ正念場、難問山積といったところです。幸い、県医110年の歴史上、初めて柳田喜美子先生を日医常任理事へ送り込むことが出来ました。地方の意見を直接日医に反映させて、思う存分の働きを期待しています。十分な応援もいたしたいと思っています。

さて、本日は、あえて診療報酬改定の件に絞りまして2点だけ申し上げます。

第1点は、医療保険史上、初めてのマイナス改定の経過であります。日本薬剤師会では執行部が責任を取って交替しています。4月1日の日医会長選では、予想を上回る137票もの批判票が出ています。

4月2日の日医代議員会での質問も、診療報酬問題に論議が集中しました。特に、今回の改定の過程の不透明性について日医執行部の責任を追及するものでした。坪井会長の説明は、「財務省がマイナス5.8%と言ってきたところを2.7%に抑えた。一方で今回の日医の決断に国民は感謝しているとの話も来ている」と言うものでした。私自身、山崎 拓幹事長が3月31日、「日医の大英断に感謝している」と挨拶したのを間近で聞いていますので、国家のためだという気持ちになるのもわかります。

ただ診療報酬マイナス1.3%の点数組み換え段階において、十分な検討が行われたかは疑問で

す。1月29日には厚生労働省の改定の方角を示した素案が出回っています。水面下のやり取りがあった筈ですが、私の友人の中医協委員、日医診療報酬検討委員は何の情報も得ていません。2月20日の中医協総会に厚生労働大臣諮問があったて即日答申がなされています。

坪井執行部も6年間の歩みの中で、医療現場を支える会員と、日医執行部役員の間に現状認識の差が出てきたものと懸念しています。私自身、他山の石としたいと思います。

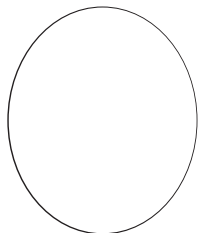
第2点は、診療報酬の数字以上のマイナス改定是正の問題、今後の見通しであります。今回の改定で臨床整形外科医会ではマイナス29%、病院ではマイナス20~50%に及ぶと言う計算もあります。日医の代議員会では、坪井会長、糸氏副会長ともに、今回の改定の不備を認め、「厚生労働省保険局長に、平成14年度中にもう1回診療報酬改定をすべきだと申し入れてある」との発言でした。日医では、中医協の委員を大幅に入れ換えて、強く年度内改定を迫る体制もとりました。日医より実態調査への協力依頼も来ています。県医師会でも独自のデータを持って国会議員へ働きかけていくことを考えています。

しかし、4月19日の衆議院本会議の質疑で、小泉首相は、「日医などの要望する診療報酬の再改定は、考えていない」と明言しています。日医執行部の失地回復を全力で支援して行かねばなりません。

本年4月からのマイナス改定、10月の老人負担1割導入、来年4月からの本人3割負担で、病院や診療所の倒産を本気で心配しています。県民に良質の医療を提供するという我々に課せられた使命を全うするために、当面あらゆる手段を講じて医療経営基盤の安定化に努めたいと考えています。何としても地域医療崩壊の事態を防がねばならないと決意しています。

(H14.4.27)

## 日州医談



## 院 内 感 染

副会長 大 坪 睦 郎

院内感染とは、一般に「入院患者に原疾患とは関係ない感染症が入院中におこること」と捉えられているが、「病院における入院患者または外来患者が、原疾患とは別に新たに感染症に罹患すること、または医療従事者が病院内において感染症に罹患すること（針刺し事故を含む）」というように広く外来患者、医療従事者をも含めた考え方もある。

本年 1 月には、東京都内の脳神経外科病院でセラチア菌による院内感染患者が集団発生し、7 名が死亡した。又本年 2 月には愛知県の市立病院で入院患者 7 名がメチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）に感染し、うち 2 名が MRSA が原因とみられる敗血症で死亡した。患者の多くは集中治療室（ICU）で治療を受けていて、院内で感染したと考えられた。

米国の疫学調査の結果を日本にあてはめて推測すると、日本では年間 70 万名の院内感染が発生し、うち 4 万 4 千名が死亡していると考えられている。

ことの重大さに鑑み県医師会では、平成 14 年 3 月 17 日、院内感染予防に大きな役割を担っている看護職を対象に「院内感染と感染看護」のテーマで研修会を開催した。県内医療機関から 384 名の出席があり、院内感染に対する関心の高さが示された。

院内感染の原因には細菌、ウイルス、カビ、ダニなどあげられているが、細菌によるものが最も多い。

院内感染をおこす細菌は、主に次の 4 つに分類される。

- 1 病原性の強い菌（結核菌やレジオネラ菌など）
- 2 食中毒菌（サルモネラ菌や病原性大腸菌 O-157 など）
- 3 抗生物質が効かない耐性菌（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 MRSA やバンコマイシン耐性腸球菌 VRE など）
- 4 日和見菌（セラチア菌や緑膿菌など病原性は弱い、環境中至る所に存在し医療器具を汚染しやすい菌）

病原性が弱く薬が効くため軽視されがちであった日和見菌で最近死亡例が相次いでいる。

院内感染はなぜ起きるのか？

- 1 注射液の使い回し

注射器あるいはボトルにつくられたヘパリン液を習慣的にあるいは無神経に複数の患者に用いるなど。事故の発生した医療機関では、ヘパリン液は 100ml ボトルから 5 ml の使い切りタイプに変更する改善がなされている。

- 2 皮膚消毒のアルコール綿の作り置き

保存容器の蓋を開けるだけでアルコールは蒸発し、殺菌効果を示す濃度は維持出来なくなり、セラチア菌などの細菌の培地となる。

- 3 不潔な環境で輸液を調剤

- 4 洗っていない手や指で輸液管の接続部分に触る

## 5. 日和見菌の標的になる高齢者の増加

医学の進歩により、糖尿病など体の抵抗力が落ちる病気と付き合いながら長生きする老人が多くなった。

1～4については、これまで幸いにも問題が発生しなかったために、十分な注意が払われていない医療機関があると思われる。これらは、入院患者の感染症の有無に関係なく避けねばならない注意事項である。

次に院内で感染症が発生している場合、その感染症が患者から医療従事者、医療従事者から患者、患者から患者などへの伝播を防ぐことが重要である。感染症伝播防止のために、米国疾病管理センター（CDC）から示されたガイドラインを次に記載する。医療従事者の心得と感染症が発生した場合の入院患者の管理について述べている。

### 米国疾病管理センター（CDC）の院内感染伝播防止ガイドライン

（日本医師会ホームページより引用）

1. スタンダードプレコーション（標準的予防策，Standard precautions）
2. 空気感染プレコーション（Airborne precautions）
3. 飛沫感染プレコーション（Droplet precautions）
4. 接触プレコーション（Contact precautions）

1. スタンダードプレコーションは、入院患者全員に適応になる。基本的に、ひとりの患者をケア、診察する場合、その前後で手洗いを励行すること。また、患者の体液（血液、尿、便、胸水、腹水、粘膜、皮膚病変からの浸出液など）に暴露あるいは接触する可能性のある場合は、手袋、必要に応じて、ゴーグル、ガウンなどを着用することである。これは医

療従事者自身を患者からの感染症から守ること、医療従事者が、別の患者へ、その前にケアした患者の常在菌、起因菌を伝播させないことという大きな目的がある。事実、この最も簡単な、手洗いの励行だけでも、院内感染の伝播は高率に防止できることがわかっている。

## 2. 空気感染プレコーション（Airborne precautions）

このプレコーションは、空気を介して感染が伝播する感染症を発症、あるいは、感染症の疑いがある患者に適応になる。患者と空気を共有（同室にいる）することで感染が伝播する可能性がある。

結核、麻疹、水痘症、天然痘に適応がある。患者は通路、廊下に対して陰圧である個室部屋に入院。結核の場合、室内に紫外線装置があることが望ましく、ただちに空気中の結核菌を殺菌することが推奨されている。また、室内の空気が1時間に5～6回換気されることが望ましい。室内の空調設備は、院内のその他の部屋から独立していることが望ましい。診察やケアのため、患者の部屋に入室する際には、医療従事者はN-95のマスクを着用する必要がある。

## 3. 飛沫感染プレコーション（Droplet precautions）

空気感染に比し、感染性の微粒子が大きい（ $> 5 \mu m$ ）ので、患者の咳、痰などが飛ぶ範囲（半径1mぐらいの範囲）にいと感染が伝播する可能性がある。このプレコーションが適応になるのは、例として、次のようなものがある。

MRSA が喀痰から検出、多剤耐性のグラム陰性菌による肺炎、髄膜炎菌による感染症、百日咳、ムンプス、風疹、そのほかにも多数ある。

飛沫感染プレコーションの場合も、個室入院が望ましく、医療従事者は、外科的マスク（通常のマスクで、N-95である必要はない）を着用する事が必要である。

#### 4 .接触感染プレコーション(Contact precautions)

接触することで感染が伝播する可能性のある疾患のある患者、あるいは疑いのある患者に適応になる。例として、次のようなものがある。

MRSA が検出された場合( 喀痰からの場合は、飛沫感染プレコーションも同時に適応になる )

急性感染性下痢 ( Salmonella, Shigella, Clostridium difficile など ),疥癬などが挙げられる。

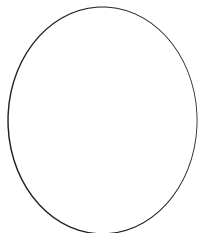
この場合も、個室入院が原則であり、患者ケアにあたっては、手袋、ガウンを着用。その患者専用の聴診器などの簡易医療器具も設置されることが望ましいとされている。

2 から 4 のプレコーションは、基本的には個室入院が必要である。しかしながら、米国を中心として作成されたこのガイドラインは、個室の数が圧倒的に少ない日本の現状には完全にあてはめることが事実上困難であることが多い。

MRSA 院内感染防止を主目的に院内感染防止対策の基準として、院内感染防止対策委員会の設置、速乾式手洗い消毒液の病室入口への設置が示されている。また保健所の医療監視における自主点検項目に、各医療機関ごとの感染症対策マニュアル作成が求められている。このような状況の中で、医療従事者の院内感染に対する意識は高まってきているが、これらの対策は実効あるものでなければならない。

院内感染をゼロにすることは難しい。しかし限りなくゼロに近づける努力を払うことは医療従事者の義務であると考ええる。そして又、院内感染への安易な対応は医療機関の存続をも危うくするものであることを、肝に銘じておかねばならない。

## 日州医談

平成14年度宮崎県福祉保健部  
一般会計予算の概要

常任理事 夏 田 康 則

はじめに

本年 3 月に平成14年度の本県予算案が県議会にて可決されたが、そのうち医師会と関係の深い福祉保健部一般会計予算についてその概要を報告する。本県の一般会計予算は661,169,000千円で、国家予算が前年を下回ったのと同様に平成13年度と比較し2.9%の減額であり、前年度は7.1%増であった福祉保健部の一般会計予算も今年度は68,194,947千円と前年比0.8%のマイナスとなっている。しかし、マイナスシーリングの厳しい状況下に新たに22の事業が組まれており、この分野に対して県の強い意欲が示されていることは医師会にとっても心強い限りである。以下、主な新規事業について解説を加え、県医師会委託事業についても改めてその内容を示したい。( )内は事業費を示す。

## 主な新規事業

## 1) 救急医療現況調査事業(3,048千円)

本県における救急医療体制の整備については、県医師会より県に対して医師会の協力のもと政策医療として積極的に取り組むべきことを、機会あるごとに申し入れをしてきた経緯がある。本事業は救急医療対策を推進するため、県内の救急患者の受療状況について調査、分析を行うことを目的とし、具体的には県内の医療機関を対象に休日の救急医療の実態(時間帯、年齢、人数、疾患名など)を調べ、今後の救急医療対策の参考とするもので

ある。この事業を突破口に現在とくに問題の多い小児救急医療をはじめ本県の救急医療体制の整備に弾みがつくことを期待したい。

## 2) 重症難病患者入院施設確保事業

(6,430千円)

重症難病患者(多発性硬化症、重症筋無力症、筋萎縮性側索硬化症など主として神経難病)が、病状の悪化等の理由により居宅での療養が困難となった場合に、適時に適切な入院施設の確保が行えるよう、地域の医療機関と専門的医療機関との連携による難病医療体制の整備を図ることを目的とする。具体的には各種団体の代表で構成される難病医療連絡協議会を設置し、協力病院や地域の関係機関との連絡調整を行う難病医療ネットワーク調整員を拠点病院に1名配置し、拠点病院や協力病院医療従事者の研修を行うものであるが、ネットワークの構築には県医師会としても積極的にかかわる用意がある。

## 3) 第2期介護保険事業支援計画策定事業

(6,540千円)

現行の介護保険については平成15年度に見直しが予定されているが、その国の方針に従って現在の介護保険事業支援計画を平成14年度に見直しをし、新たな支援計画を策定することにより計画的な介護サービスの基盤整備を促進し、制度の円滑な実施、運営を図ること

を目的とした事業である。医療，保健，福祉関係団体，保険者，被保険者代表の合計24名で構成される計画策定委員会で具体的な新計画が検討されるとともに，市町村の指導，高齢者保健福祉圏域（8圏域）での調整も行われる。県医師会としては事前に医療側の意見を集約し，計画策定委員会でその要望が支援計画に反映されるように努める考えである。

#### 4）介護保険等利用被爆者助成事業

（10,800千円）

原爆被爆者で介護保険等を利用した者に対し，その自己負担分を助成し被爆者およびその家族の福祉の向上を図ることを目的とする。内容は，

介護保険法の介護老人福祉施設サービス利用（自己負担1割相当と食事の標準負担額）

介護保険法の居宅サービス利用（ショートステイ，デイサービス，居宅サービス利用料）

老人福祉法の養護老人ホーム利用（入所費用）となっている。

#### 5）乳幼児すこやか健康管理事業

（2,672千円）

保育ニーズの高まる中で，事実上認可保育施設の補完的役割を担っている認可外保育施設に対して，一定の基準を満たしている場合，児童福祉の向上および児童虐待等の予防・早期発見を図る観点から，嘱託を受けた医療機関での入所児童の健康診断にかかる費用を助成するものである。小児科医を中心に医師会でも児童虐待に対する関心は高まりつつある

が，助成によって医療機関での受診機会が増えることで医師会としてこの問題に積極的に関与できることを歓迎したい。

#### 県医師会委託事業

平成14年度も福祉保健部より県医師会に16事業（2補助事業を含む）が委託され，総事業費は157,666千円であり予算規模もほぼ前年どおりである。予算の約9割は郡市医師会や会員，看護学校等に県より直接支払われるものであるが，県医師会で予算を執行する事業については原資が税金であることを念頭に置き，今年度もマンネリ化することなくその内容と効果について十分に検討を重ねていく方針である。今回，委託事業の概要を別表に示したので，内容等について会員のご理解を賜われれば幸いである。

#### おわりに

福祉保健部が進める2つの分野別施策，すなわち「新時代を切り拓く人づくり」と「自然と共生し，健やかで安心できるくらしづくり」が今年度も多くの新規事業に取り組むことで確実に実現に近づきつつあることは，医師会としても大変喜ばしいことである。現在の県医師会と福祉保健部との太いパイプを維持しつつ更に意思の疎通を図りながら，共に県民のため保健，医療，福祉の重責を担うのは当然のことであるが，時に行政が陥りやすい縦割りの弊害については部外者の方がよく見えることもあり，機会があれば苦言を呈することも必要と考える。

最後に，貴重な資料をご提供いただいた宮崎県福祉保健部に深謝いたします。

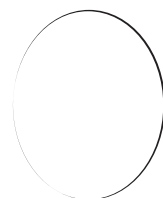
## 平成14年度 県医師会委託事業

事業名	事業概要
1. 看護師等確保対策事業	ア 看護師等養成所運営事業 イ 看護教員養成事業
2. 臨床検査精度管理事業	外部精度管理調査に要する経費を補助
3. へき地出張診療所医師派遣委託事業	医師確保が困難な市町村開設のへき地診療所に対して最寄りの開業医派遣
4. 救急医療施設医師研修委託事業	救急医療に関する知識技術の向上を図るための研修の実施
5. 県民健康教育委託事業	県民への健康教育の実施（救急医療対策）
6. 地域保健医療計画推進事業	計画の推進を図るための調査
7. 地域医療推進医師研修事業	地域の開業医が外国人患者への対応の方法を修得するための研修
8. 在宅医療の推進のための実地研修事業	在宅医療の高度化への対応及び質の向上を図ることを目的に、地域のかかりつけ医に対して、在宅医療の推進のための実地研修事業を行う
9. ホスピスマインド育成・普及事業	末期医療に係る知識・技術の研修等を行うことにより、末期医療対策の充実を図る
10. 地域医療支援事業	医療施設間相互の機能連携と機能分担を図るため地域医療連携推進室を設置し高額医療機器の共同利用等を行う
11. かかりつけ医推進試行的事業	かかりつけ医としての医師の役割を促進する
12. 県民健康スポーツ医学推進事業	スポーツの効用及び予防等についての普及・啓発
13. 小児生活習慣病調査研究事業	・小児生活習慣病の実態調査 ・小児生活習慣病予防についての普及・啓発
14. 成人病検診従事者研修事業	・基本健康診査従事者講習 ・各種がん検診講習
15. 地域リハビリテーション支援体制整備推進事業	県リハビリテーション支援センターの運営
16. 介護支援専門員等研修事業	介護保険に係る主治医の役割及び主治医意見書の記載方法等についての研修

は補助事業、それ以外は委託事業

## 宮崎医科大学教授退任挨拶

法医学講座教授 たか はま けい いち  
高 濱 桂 一



私の宮崎医大赴任は昭和51年4月1日なので、今年3月で丁度26年間在職したことになります。赴任当時のことでは思い出しますのは、着任のその日に司法解剖の依頼があり、前任地から借り出して持ってきていた解剖道具一式の詰まった、大きなジュラルミン製の重たいカバンを、迎えの警察の自動車に積み込んで、未だ舗装されていない悪路を田野町経由で2時間近くかけて都城まで出かけたことです。それから数年間は、大学の解剖室が未だ十分整備されていなかったせいもあり、また宮崎という土地柄に精通したい意図もあって、解剖は原則として事件の現地でやっていました。それにしても宮崎県の広さは相当なもので、また事件の多いのにも驚かされました。死体解剖にまつわる思い出は、私ども法医学者の本務とも云える鑑定そのものですので、文字通り尽きませんが、例えば生前、どんな凶悪な犯罪者であったとしても、死体となればみな仏で、どのご遺体についてもどうか心安らかに旅だつようと念じつつ、一体毎に心をこめて丁寧に解剖しました。

ところで教室の研究の方は、最初の数年間は前任地の続きで中毒関係の仕事を続け、特に一酸化炭素中毒の研究を重点的にやっていましたが、中毒の研究にはどうしても機器分析が必要で、発足当初は講座は云うまでもなく、研究センターにも高価で重要な機器は殆ど無く、アイソトープを使った合成をやるうにも物も人もいないという状態で、足踏みせざるを得ませんでした。そうこうする内に、或る傷害事件の鑑定で胃腸管の特異蛋白を識別することが求められ、苦心の末、旨く識別できたのですが、それが本

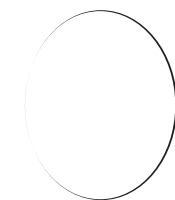
邦は云うまでもなく世界初の特異蛋白の業績だったせいで、法務大臣感謝状を貰うこととなり、これを契機に臓器特異蛋白の研究に邁進することになりました。

結局この仕事は私の云わばライフワークとなったわけで、この研究が旨く行った背景には二つの幸運がありました。その一つは、特異蛋白を追求する上で、最も重要な高感度検出法の世界の権威である石川栄治教授が、私の教室の隣の第一生化学講座に居られたことで、そのノウハウの伝授を直接受けて、世界で最も高感度なマレイミドヒンジ法を使い、臓器特異蛋白を次々と同定することができました。幸運の第二は実に有能な教室員が自ら次々と入局してくれたことでした。お陰で研究の方は、絞殺か扼殺か、或は縊頸かを末梢血で鑑別する方法など、世界で最初と云われる業績を次々と挙げることができました。

ところでこの26年を振り返りますと、宮崎県医師会の会員の諸先生方には公私にわたり、様々なご指導ご支援を戴きましたことを特筆せねばなりません。多様な鑑定実務にあたって臨床医学上のご教示を戴いたことも一再ならずあり、諸先生方のご支援なくしては私どもの研究もそして実務も成果は上り得なかったものとの場を借りて厚く御礼申し上げます。最後に、大学を去るに当たり一つ心配なことは、大学の内外を問わず医療事故関連の司法解剖が激増していることで、事故を無くすことはできないまでも医療事故を未然に防止し、減らすことは必ず可能な筈だとの強い信念のもとに、会員の皆様には是非、人とシステムの双方から事故防止に努められますよう心から念じて止みません。

## 宮崎医科大学教授新任挨拶

外科学第一講座教授 ^{ち ぢ い わ か ず お} 千々岩 一 男



宮崎医科大学外科学第一講座の教授に就任いたしました千々岩一男です。自己紹介と抱負を簡潔に述べさせていただきます。略歴を述べますと、1975年に九州大学医学部を卒業し、九州大学第一外科に入局、一般消化器

外科の臨床修練後研究生を送り、1981年4月から3年間米国ニューヨーク州立大学に留学、1985年九州大学医学部第一外科助手、1988年医局長、1990年から5年間病棟医長を経験しました。1992年講師、1997年医学部助教授、1999年組織改編により九州大学大学院臨床・腫瘍外科助教授(医学部助教授併任)を経て2002年2月1日宮崎医科大学外科学第一講座の教授に就任しました。卒後一般消化器外科を研鑽し、1989年に東京国立癌センター肝胆道外科(長谷川博先生、現東大の幕内雅敏教授)に内地臨床研修後は、大学で一貫して肝胆膵グループのチーフとして肝切除や膵頭十二指腸切除などの手術や鏡視下胆石手術を中心に外科臨床と研究に従事してまいりました。日本外科学会指導医、日本消化器外科学会と日本消化器病学会の指導医・評議員、日本胆道学会、日本肝胆膵外科学会、日本内視鏡外科学会、日本臨床外科学会などの評議員、日本胆道癌取り扱い規約委員、J. Gastroenterology の Editorial Board などを務め、Fellow of American College of Surgeon (FACS) や American Gastroenterological Association の member です。

宮崎医科大学第一外科における抱負として、1) 県内や地域の先生方と密接に連携し、臓器別専門医集団を育成し高度で安全確実な医療の提供、2) 学生教育と卒後研修システムの充実、3) 臨床外科学発展のための研究や開発の3つに重点をおいていきたいと考えています。1) に関しては外科臨床の充実に計ることが先ず重要と考え、卒後10年間の一般外科臨床および研

究後は臓器別グループの一員となってもらい先進医療を推進していくシステムにしました。臓器別グループとして、肝胆道グループ、胆膵臓グループ、上部消化管グループ、下部消化管グループ、乳腺・内分泌グループを立ち上げたばかりです。鏡視下手術を胆石だけでなく消化管手術にも導入し、肝移植も視野に入れた臨床グループ体制を早く作りたいと考えています。検査・処置としても食道静脈瘤や肝胆膵疾患に対するPTCD、ERCPの専門グループを作りました。もし、先生方でお困りの患者さんがいらっしゃいましたら、手術や検査・処置に関してご一報頂ければご協力させて頂きたいと思いますので、何なりとお申し付け下さい。臨床論文や学会発表は外科医にとって自分達の結果を見つめ向上させるためにも必要不可欠と考えます。また近い内に宮崎医科大学第一外科のホームページを作製しますので、ご参照頂ければ幸いです。2) に関しては宮崎医科大学での学生教育を重視し、卒業生に宮崎での医療に関心をもってもらって宮崎に留まって仕事をして頂きたいと考えます。そのためには私も教室の皆さんと益々研鑽しながら魅力ある外科臨床教室を作り、卒後の研修を充実させていきたいと計画しています。臨床修練も宮崎内だけでなく国内・外の施設と広く交流し絶えず最新の外科臨床を宮崎で実践できるようなシステムを考えていますので、なんとか多くの卒業生に宮崎医科大学第一外科に興味をもって入局して頂けるよう頑張っていきたいと考えています。3) では臨床研究を重視し外科学の発展に寄与できるような研究を行い、国内・国外へ情報を発信していきたいと考えています。

未だ着任後日も浅いのですが、宮崎の土地柄・人柄が好きになって参りました。私自身精進して参りますので、宮崎県医師会の先生方のご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げ簡単ではございますが新任のご挨拶に代えさせていただきます。

## 旅行記

## 避暑旅行

宮崎市 貴島小児科 ^き貴 ^{じま}島 ^{て る こ}テル子

## 1. 出 発

連日の酷暑をさける意味ではなく中国、北京、大連を計画した時には中国も暑いだろうし、初めて中国に行く甥の子と私の親友をつれて行くことだし、万里の長城や故宮も見せたいし、どちらも長い距離を歩かなければならないし、言葉も知らない彼らを1人で行かせる訳にもいかないし、私が行く自信もなく随分気にしながら日本をたった。ところが北京に着いたら何と26℃、小雨の高速を走るうち土砂降り、ホテルに着く頃にはカラリ、ホテルは昔蒋介石の別邸だった所で以前も来たことがあったホテルで、森住氏昵懇の職員が歓声を上げて迎えてくれた。今回の旅は汎亜細亜文化交流センター理事長森住氏のお世話で実現したものだが、森住氏はお仕事で私どもとは別行動になるので、私はガイドも頼まずに私自身が通訳、ガイド役をする事にしたので随分心配はしたが、タクシーは森住氏が頼むホテルのタクシーだったので、心配なく日本語を知らない彼と片言の中国語の私との北京案内をした。

## 2. 観 光

先ず万里の長城

ここも歩いて登るのは人も多いしケーブルカーで登ることにしたのがよかった。料金もいることだし人は少なく涼しい風に吹かれて快適な長城だった。徒歩で登るほうは長蛇の列で登っているのが見えた。帰途「明の十三陵」に寄ることにしたが以前来た時には、入り口のすぐ前に車を止めて地下宮殿に入った

のでそのつもりで歩き始めたが、以前とは全く違い歩いて歩いて入り口には到達せず坂道を歩くのに閉口して、もう駄目だと言うことは断念して「貴方1人で行きなさい。私どもはここで待っているから」と、親友と2人木陰に座りこんだ。

故 宮

此处も大変な人ごみで2人だけで中に入りイヤホーンの案内通りに歩けば出口に出るから、そこで私は待っているから2人で行ってらっしゃいと私は出口で待つことにした。

天 壇

此处も彼1人で行かせて私どもは車の中で待つことにした。

王府井

北京での最後の観光は王府井ブラをして薬房(薬局)でいつもの漢方薬を求めて帰った。王府井も大変な人出だった。

茅盾故居

或る夕方3人で付近を散歩したとき、このホテルのある地区は昔高級住宅地区で北京特有の四合院のあるところだと説明していたら、すぐ近くに茅盾故居と書かれた看板を見て覗くと受け付け午後4時までと書いてある。もう時間切れだと諦めて2、3歩歩いたところにドアがあり中で3人で食事しているのが見えた。覗いた私どもに女の人がお入りなさいと声をかけられた。でももう時間が過ぎたのでしょうと言うと彼女はかまいませんよ開けますのでお入りなさい5元ですけど、というので中に入るとそこに座って食事をしている

若い娘さんが「貴女日本人ですか？」と聞かれ「あら貴女も日本人？」「ハイ、静岡からこちらに留学しています。私も通りがかったら食べていけといわれて遠慮なくご馳走になっているところです」と、四合院の各部屋に茅盾の記録と写真と多くの原稿が残されて中庭には彼の銅像が据えられていた。この作家は私は知らないが説明を見ると1916年に文学活動を開始、魯迅とともに一致団結して活動し1930年に中国作家連盟に加入して共産主義を追求した作家だと書いてある。

此处で昔ながらの四合院も見せることができた。

#### 大 連

ここでは旅順に行こうと車を走らせた。山道をくねくねと小1時間走った時道端に桃を売っていた青年がいた。運転手は車を止めて桃を買い、其処に置いてある洗面器の水で洗って食べてくれと私どもに勧める。しかし蠅がたかり洗面器の水は黄色に濁っている。これで洗った桃はどうしても口に入れる気にはなれなかった。持って帰って冷蔵庫に入れてきれいに洗って食べたが実に美味しかった。器量は悪いが自然の桃の味がした。

#### 乃木將軍とステッセル將軍会見所

この会見所は粗末な農家を利用したとのことで床は土間で机は5 cm 厚さの自然木の荒削りのテーブル、戦時中は手術台として使って

いたと説明を受けた。棗の木は最早枯れていたが2代目の苗が育っていた。この棗の木につないだ馬を乃木將軍に贈ったと聞いたことがある。

そこで親友が歌い出した。

旅順開城約なりて

敵の將軍ステッセル

乃木大將と会見の

所はいずこ水師營

そう言えば聞き覚えのある歌だ、幼い頃手まり歌としてよく歌ったと彼女はほとんど全部おぼえていた。

二〇三高地は急な坂で駕籠かきが往復千円とやかましかったが塔があるだけとのことで行かずに下で待つことにした。

#### 3 . 食 事

今回の旅は公式の宴会はないので始めて中国を見る甥の子には、中国の一般の大衆が行くレストランを見せたい、一般の人がどんな



手前の板の粗末なテーブルは、  
会見時に使われたものだそうです



生活をしているかを見せたいので、食事はホテルや一流料亭の宴会形式の食事ではなく一般の人々が行くレストランで、同じ食事をするように頼んでおいたので北京到着の夜も道路脇の小さな餃子屋に入り餃子を頼んだ。日本では餃子と言えば油で焼いたものを指すが中国では水餃子が一般的で、油で焼いたものは鍋貼と言う。その時は餃子と注文したので水餃子がでてきた。これはあっさりしているのでもいくらかでも食べられる。

朝食はホテルでとったので私が注文したのは油条と豆乳、これは中国の一般的な朝食だから、油条でない時は粥。中国の粥はどうしてこんなに美味しいのか、いずれも副菜は食べきれないほどの漬け物と豆腐や野菜の料理が並べられる。

夕食は一般大衆が行く大きなレストランでとることにした。セルフサービスで盆に皿を乗せてガラスで囲った調理場で好みの料理を入れてテーブルにつく、いずれも美味しかった。

ある夜は山西省料理レストランに行った。此处はあちこちにガラスで囲った調理場がありいろんな料理を作っている。たとえば麺の調理場は20種類くらいの調味料の入った小井が並べてある。好みのものを言うとかけてくれる。粥も10個くらいの釜に各種の粥が入っている。麺も各種あり刀削麺は珍しかった。小刀でサッサと削り鍋にいれる。その隣では頭の上高く麺を振り上げている。これは焼いて食卓に出してくれたが塩味のパイのようなものだった。アチコチで好みの料理を言うとウェ이터が次々に出してくれたが実に美味しかった。15種類注文し合計183元(日本円約2,800円一人あたり550円)食べきれずに残りは弁当箱に入れて案内してくれた方に持って帰ってもらったが、今の日本ではできないこ

とだと思った。そして感心したのは弁当箱がプラスチックではなく紙を固めたような天然繊維だったことだ。

昼食は2度ほどホテルの日本料理屋で取ったがまずくて食べられなかった。特にワカメの酢の物はすっぱくて口に出来ずに残したら料金を引いてくれた。

連れてきた甥の子供が中国に行ったら北京ダック、炒醬麺と炒飯が食べたいということで、ダックは最近では電気やガスで焼くのはおいしくないなので、昔ながらの桜の木で焼く北京の通人の行く店に連れて行って頂いた。さすがに美味しかった。

炒飯と言えば我々日本人の感覚では彩り美しく大皿に盛られたものを想像するが、炒飯は何が良いかと聞かれたので卵と答えたらご飯茶碗に炒り卵の混じったご飯が出てきた。

ふり上げているのが麺です

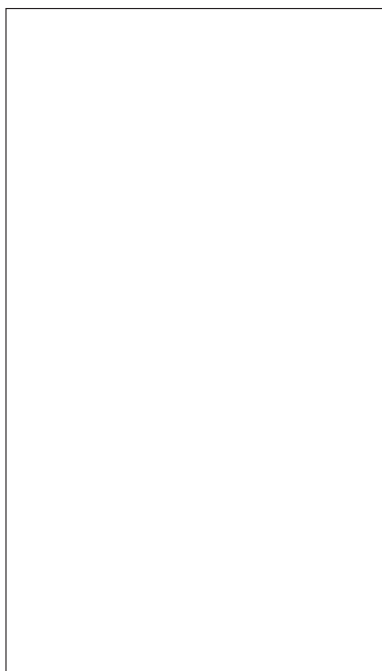
炒醬麵は各種の味噌だれを好みでかけてそれぞれの味で美味しかった。

食物については全く食は中国にありを実感した。

#### 4．広 場

大連では昔の大和ホテル、当時は軍人の佐官級以上でないと泊まれなかった高級ホテルで先達で行った時は改修中で泊まれなかったので、今回は特に注文して取って頂いたが町の中央の広場を前に、重厚な建築で昔の面影を残した懐かしいホテルだった。

その広場では老若男女が大勢集い夕方になると小さな椅子を持参、それに腰掛けてホテルの上にある大きなテレビの画面を見る者、おしゃべりをするもの、若者は脚蹴りの遊戯を楽しむもの、英語、日本語とサークルを作って友達とおしゃべりを楽しむものと様々に楽しんでいたが、甥の子も英語のサークルでガールフレンドを作り電話かけたり楽しんだようだった。TV 画面にサッカーが出ていたが彼ら



ホテル正面上にはTV画面がみえます

は一緒に一喜一憂してキャーキャー騒いでいたが、毎晩繰り上げられる井戸端会議ならぬ広場会議、これはすばらしい人間模様だと思った。日本では一寸考えられない光景だった。

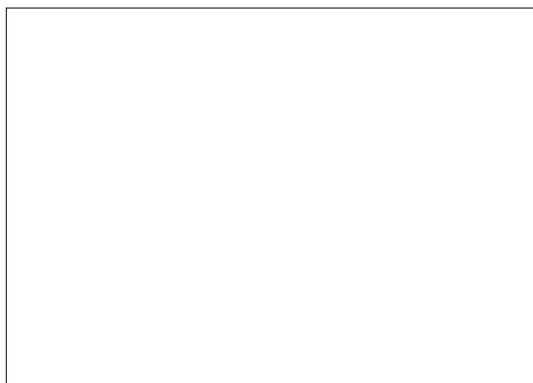
#### 5．診療所

今回の旅行は珍しい体験の連続だった。

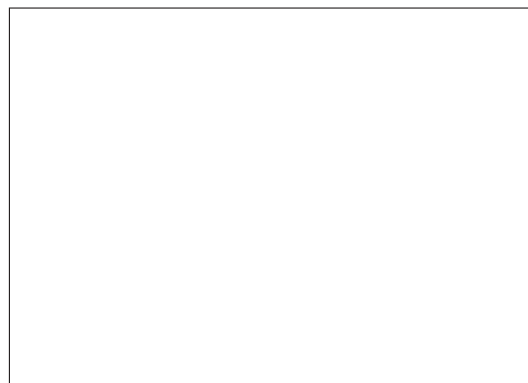
団体のツアーではなく3人の旅だから出来たことだと喜んだが北京では伝統医学の診療所に案内された。此処は文革の時漢方は潰されかけた時に、ときの厚生大臣が熱心に残してくれたとのことで、清朝の侍医の子孫の名医がいるとのことだったが、当日彼女は出かけていて留守だったが、当日の医師は骨に関する方だった。

ホテルの門を出た隣に普通の住宅のような玄関があり、入ると小さいテーブルに可愛い受付嬢が迎えてくれた。「ヤー！いらっしやい」と中年の事務長が、森住氏とは顔なじみか親しげに迎えてくれた。

待合室はスチールの家具などではなく重厚な紅木の高級住宅の応接間という感じで、飾ってある屏風も象嵌の見事なもの。待っている患者は1人か2人、これだけで病気は忘れてしまいそう。間もなく血液の検査をしましょうと言う。「え？今検査してどうするの？」検査成績を見る間もなく北京を離れる私どもなのと思いながら検査室に入ると、小指を注射針で一寸刺してプレパレートに1滴、もう1枚のプレパレートに止血するまで5～6滴チョンチョンと付けてそれを大きな顕微鏡で見ている。それ私にも見せてと言おうとしたらナント左側にあるモニターTVに流れる血液の間に細胞が見える。検査している彼女が「貴女の血流はサラサラでこの調子では100歳まで生きられますよ。心臓と腎臓に問題はありません」とのご託宣。心臓は食糧の乏しい時代に学生生活だっ



診療所待合室



診察室

たので脚気に罹患，当時は薬品もない時代，心臓をやられたのかその後国立公衆衛生院に入学時も身体検査で引っ掛かりだいたい時間を取られたことがあった。腎臓は14歳の時腎炎罹患しているが1滴の血液で既往症の部位までわかるのか，不思議だった。

「この機械はどこの製品？」と聞くと「つい最近アメリカから入れました」と，私はこんな機械見たことも聞いた事もないがどなたかご存知だったら教えていただきたいと思ったことでした。

同行の弟の孫は貴方は頸椎に問題があると彼はむち打ち経験者だし，森住氏は血流不良と彼は脳梗塞，糖尿病持ちで血液の流れはどろどろで動きはないに等しい。親友はちょうどその時私は診察室に入ったので聞くことは出来なかったが彼女こそ甲状腺機能低下，卵巣摘出，高血圧の病気持ちだが聞くことが出来なかったのは残念だった。

診察室は6畳くらいの部屋にベットと机があるだけの部屋で，入ると温顔の先生が笑顔で迎えられた。検査成績を見られて問われるままに左肩が痛いというと，矢庭に左手を持ってやっ！と引っ張ったかねじったか瞬間の痛さに悲鳴をあげた。「これは1日1回左手で右肩を20回叩きなさい。そして漢方薬を上げま

すのでそれに熱湯を注ぎそれにタオルを浸し温電法を毎日してください。20日で治りますよ」と言われ，会計で360元（約5,000円）を支払った。帰国してから按摩さんにマッサージしてもらったのが悪かったのか急に悪くなり全く使えない不自由な生活になり，これではとても20日では治りそうもないと漢方不信に陥っていて温電法も忘れていた。腫れていたもので取り敢えず冷湿布を1週間してから漢方を思い出した。そこで熱湯にタオルを浸し温電法を4日した時不思議なことにあの痛みは見事に消えていた。あの先生の言われたことは嘘ではなかった。改めて漢方を信じた一幕でした。

## 6．中国人気質

### バストラブル

望洋とした大陸に育った中国人は狭い島国に育った日本人とは大分性格的に違っている。北京のホテルに着き私と親友の2人は応接間つきの部屋に案内されホッと一息つき，入浴でもしようかとバスにお湯を入れようとしたが栓がうまくはまらない。その為お湯はたまらない上幾ら待っても水しか出ない。仕方がないので従業員に「お湯が出ないよ」と言いに行ったが「そのうち出ますよ」と見にも来ない。20分待っても水しか出ない，上栓がは

まらないので水もたまらない。お湯も出ないが水もたまらないよと言いにいったらやっと見にきてくれたが今日は出来ないけど明日専門の人にきてもらいますからと帰っていった。翌日男の人が見にきて部品を取り替えるので今日はほかの部屋のバスに入ってくれと言う。その翌日やっと直してくれたがその時初めて水色の印はお湯、赤は水と言うことがわかった。幾ら待っても出ないはずだ。日本のホテルでは考えられないことだと思った。つい先日東京の帝国ホテルでの事を思い出していた。それは部屋に入った時ゴキブリがいたのに気付くフロントに電話をしたら、掃除機を抱えたボーイさんと少し偉そうな方が飛んできて、よろしければグレードアップしてお部屋を替えさせていただきたいと良い部屋に移ったのを思い出していた。

#### タクシーの予約

出発の朝飛行機の時間が早いので6時にタクシーを予約していた。6時前に出て待っていたが運転手は来ない。イライラしていたら6時30分ごろ鼻歌交じりで彼は自転車でやってきた。「まだ時間はありますよ」と、確かに時間はゆっくり間に合う。遅れたことへの断りの一言もない、日本人だったら待たせたことを先ず断るだろうが彼は平気な顔をしてい

る。中国には慢慢的（ゆっくり）という言葉が良く使われる。日本人はイライラ、セカセカ、中国人気質とは大きな差があると思った。

#### 買い物

私が中国に行くたびに買う物の一つに印鑑がある。中国には日本にないいろんな印材があるし、篆刻が繊細で綺麗で行くたびに作っているが今回は行く前に予めFAXで銅印を注文してもらった。小さいけどずしりと重い銅印は珍しくお土産に差しあげた方からは非常に喜ばれた物の一つだった。

もう一つは苦い思い出になった御茶具、そして象嵌の飾りの茶具一揃え3万円にカードにサインしたのが誤りで、カード会社からの請求が117,000円になっていた。しかもレストランや友誼商店の請求で不審に思って、直ちに北京の御茶屋に手紙を出し銀行は支払い差し止めておいた。同時に北京の公安局の調査もお願いしたがいまだに何の音沙汰もない。

今回の旅行は普通のツアーとは違いガイドの掲げる旗を見失うまいとぞろぞろついて歩く旅とは違い、自分の意志で見たいところを見、食べたいものを食べ、珍しい体験をし、日本の酷暑を避け終始26度を歩いた避暑旅行だった。

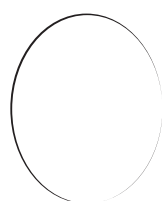
## エコー・リレー

( 321回 )

( 南から北へ北から南へ )

## 開 業 4 年 半

小林市 終山医院 碓 山 じょう 剌

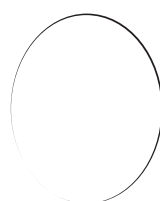


宮崎医科大学，県立日南および延岡病院などでお世話になり，その後親の後を継いで小林市に開業致しました。早いものでもう4年半になります。他科同様，テクノロジーの進歩に伴う近年の眼科診断および手術機器の発達や手術技術の進歩(特にレーザー近視矯正手術やガス注入硝子体手術など)は目を見張るものがあり，それについてゆくために未だに週に一度，大学で勉強させてもらっています。一から病院を立ち上げられた(る)先生方に怒られそうですが，親から継いだとはいえ，当院のような小さな診療所でも一人診療の忙しさ，経営の問題，対外交渉，従業員の問題，手術のストレスなど悩みの種はつきません。それに加え県眼科医会理事会広報の仕事(2か月に一度の理事会報の発行)，准看護学校の授業，それに子育てなど多忙な毎日です。勤務医時代と異なり土曜日も休めません。開業してよい面もありますが，勤務医時代には考えなくてよかった雇用者としての問題も多々あります。眼科医である母や耳鼻科医である妻のアドバイスも受けながらなんとかやっています。今回の診療報酬改定では眼科でも外来諸検査および白内障手術など大幅な点数削減が断行され，これらで主な生計を立てている開業医にとって経営は苦しくなりそうです。日本が今後本格的な高齢化社会を迎えるにあたり，行政の取り組みは介護保険や福祉などに重きを置くようになって来ているように思われます。眼科はこれらの知識に乏しくなりがちですが，西諸医師会の講習会やこちらの保健所での説明会，県医師会のテレビ会議システム同時放映などで勉強させていただいております。今後も眼科だけの狭い範囲だけではなく，せめて知識だけでもできるだけ広い範囲で医療を考えていきたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願い申し上げます。

〔次回は，都城市の鮫島浩文先生にお願いします〕

## 子供の将来が危惧される今日この頃

宮崎市 まえのクリニック まえ の まさ かず 前 野 正 和



日本体育協会は，1962年に青少年の健康な心と体を育てる組織としてスポーツ少年団を設立しました。その1962年に私も生まれました。自分の育った鹿児島県はこのスポーツ少年団の盛んな地域であり，団数と指導者数は全国で5本の指に入ります。しかし，宮崎県は30番目前後で，その意味では後進県になります。今年Jリーグ発足10年で，日本でワールドカップが開催されます。近頃は，宮崎にもより専門的，塾的なクラブチームも出てきております。一方では，市内の幾つかの少年団では団員数が減少し存続の危機にあります。非常に残念なことです。

自分も小学校から入団しておりました。先日その頃の事を親に話しても，両親はとっくに忘れておりました。30年前は仕事と生活に追われ，子供のスポーツ少年団活動に対する親の関心はまだまだ薄かったようです。近頃は，子供のスポーツ少年団活動に，親の協力や参加が必要なことも多く，私自身の幼少時代を我が子に重ね，ピッチの外から一緒に参加しております。皮膚癌が心配されるくらい，年間5～6回は日焼けで顔の皮が剥けています。4月からはゆとり教育で毎週週休2日が始まり，さらに塾通いの子供が増えることが予想されます。“小学校では，塾にやらず，体力と友達作り”を私の教育方針にしておりましたが，そうも言っていない時代が来たようです。

〔次回は，小林市の丸山賢幸先生にお願いします〕

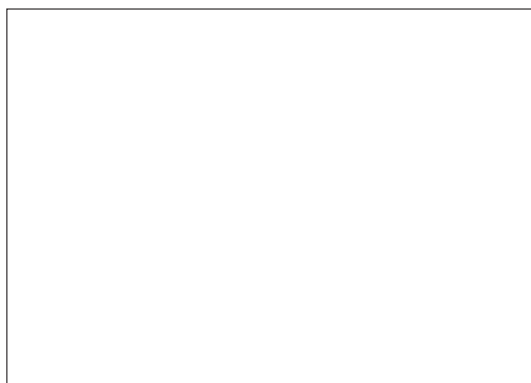
## お知らせ

## 第3回 宮崎県医師会 医家芸術展 作品募集！

宮崎県医師会医家芸術展は、今年度第3回目を迎えます。下記の要領で作品を募集いたしますので、多数の方々の御出品を期待いたしております。

昨年は展示会場が狭かったため（県立美術館県民ギャラリーのみ）、やむなく出品数を制限させていただきましたが、今回は県民ギャラリー 及び を確保し、十分なスペースがあります。

奮って御出品くださいますようお願いいたします。



第2回宮崎県医師会医家芸術展

### 記

展示期間：平成14年 8 月 7 日(水)～ 8 月11日(日)

場 所：宮崎県立美術館 2 F 県民ギャラリー ・

応募作品：写真・絵画・書

応募資格：宮崎県医師会会員及び家族（高校生以上）

応募方法：出品者名、出品部門、作品の点数・大きさ等、  
ご連絡先を下記宛お電話ください。

応募締切：平成14年 6 月10日

応 募 先：宮崎県医師会 学術課

TEL 0985 - 22 - 5118

## お 知 ら せ

## 諸 会 費 決 定 に つ い て

平成14年度の諸会費が下記のとおり決定しましたので通知致します。

区 分		A 会 員	B 会 員
県医会費	均 等 割	月額 7,000円	月額 3,000円 但し, 医大医師会会員は 月額 1,000円
	所 得 割	(前年同様)	—
県医会館 維持管理負担金		(前年同様)	—
県医連会費		年額 12,000円(5月に徴収) (@1,000円×12月)	年額 1,000円 (5月に徴収)
入 会 時 負 担 金		500,000円	5,000円
日 医 会 費		A 会 員 115,000円(年額) 第1期 39,000円(5月に徴収) 第2期 38,000円(8月に徴収) 第3期 38,000円(12月に徴収) 但し, A 会員は病院, 診療所の開設者, 管理者及びこれに準ずる会員です。	A 会 員 83,000円(年額) B 会員で医賠償保険適用会員です。 第1期 28,000円(5月に徴収) 第2期 28,000円(8月に徴収) 第3期 27,000円(12月に徴収)  B 会 員 28,000円(年額) 第1期 10,000円(5月に徴収) 第2期 9,000円(8月に徴収) 第3期 9,000円(12月に徴収)
日医連負担金		10,000円(5月に徴収) 10,000円(10月に徴収) 計 20,000円(年額)	—

## グリーンページ

## 社会保険医療担当者の個別指導の結果について

副会長 志 多 武 彦

日 時 平成13年12月20日(休)

場 所 宮崎厚生年金会館

指導方法 診療録とレセプトによる指導

対 象 6 医療機関

指導担当 宮崎社会保険事務局

## 指摘、指導事項

## 1. 傷病名

- 1) カルテに病名と診療年月日が記入されていないものが認められる。
- 2) 急性・慢性の区別、部位が記入されていないものが認められる。
- 3) 4月のレセプトでは記載のなかった「自律神経失調症」が4月4日の開始日で5、6及び7月のレセプトに出てくるのは不合理である。
- 4) 6月5日診療開始の「膀胱炎」が7月には「腎盂膀胱炎」となっている。カルテの病名記載を整理すること。
- 5) 湿疹の病名だけで、患側、部位、広がり等の記載が全くないため、投薬・軟膏の投与量の適否が困難なものが認められる。

## 2. 転 帰

- 1) 前月「治ゆ」となっている傷病名が当月も継続治療されているレセプトがあるので注意すること。

- 2) 急性、亜急性疾患で3か月以上経過したものが、なお病名が残され、転帰の記載のないものが認められる。

## 3. 指導管理

- 1) 薬剤情報を提供した旨をカルテに記載すること。
- 2) 診療情報提供書は、そのコピーをカルテに添付しておくこと。なお、診療情報提供料を算定する場合には、カルテ及びレセプトに(A)、又は(B)のいずれかを明記すること。
- 3) 特定療養疾患指導料で指導内容が全ての疾患、全ての患者に対して画一的同一的内容であるものが認められる。
- 4) 老人慢性疾患外来総合診療料の算定にあたっては、計画性に乏しいものが認められる(計画というには、内容が貧弱である)。
- 5) 入院と外来の混在のため、算定できない「慢性維持透析外来医学管理料」が算定してあった。
- 6) 老人慢性疾患生活指導料の記載内容が不十分である(ゴム印は不可)。

## 4. 投 薬

- 1) ゼフィックス(ラミブジン-B型肝炎抗ウイルス剤)錠を処方した時は、検査によりウイルスの増殖を確認した年月日及び検査結果をレセプトの摘要欄に記載すること。

- 2) ラミシール(抗真菌剤)錠投与に際しては、定期的な肝機能検査を行うこと。特に肝機能障害の病名のある患者には頻回に行うこと。
- 3) 処方及び使用した薬剤(内服・注射)は、必ずカルテに記載すること。
- 4) 院外処方の回数の多いものが散見された。

#### 5. 注 射

複合ビタミンB剤(ダイモン注)の使用にあたっては、適応を十分考慮すること。

#### 6. 処 置

- 1) 口内炎で算定された皮膚科軟膏処置(42点)は、口腔、咽頭処置(12点)で算定すること。
- 2) 手術(円錐切除術等)が行われていない6月の子宮頸癌(0期)の病名で、7月の1か月間で膣洗浄+ソルコセリル膣坐薬1個を20回は適応もなく過剰である。

#### 7. 検 査

- 1) 検査項目と点数に誤りがあるものが認められる(CPH:25点→正しくはLDH:16点である)。
- 2) HTLV-1抗体価精密測定(WB)は、スクリーニングテストとしては認められない。
- 3) 腫瘍マーカーの算定は、原則として悪性腫瘍(またはその疑い)の場合だけにしか適用できない。また3項目の検査はマルメで算定すること。
- 4) 梅毒脂質抗原検査(ガラス板法)で定性と定量の同時検査は過剰である。

#### 8. 入院診療計画

作成日付がもれている。また診療計画の作成にあたって、関係職種共同での記載が不十分な例が認められる(具体的には、看護婦等による記載がない)。

#### 9. 食 事

特別食の食事せんに主治医の記名、押印のないものが認められる。

## 規制改革推進 3 か年計画（改定）

政府は、3月29日、規制改革推進3か年計画（改定）を閣議決定した。計画では、保険者と医療機関の合意を前提に、レセプト審査、支払の多様化、診療報酬の割引契約を認める方針を打ち出している。レセプトの請求方法では、オンライン請求を可能とした上で電子請求を原則化としているが、オンライン請求しない医療機関からのコスト負担徴収については、時期尚早として見送られた。

日医坪井会長によると、電子カルテ普及費用は年間1.8兆円で、10年間で合計18兆円必要とのことである。

### 規制改革推進 3 か年計画（改定）— 医療関係（抜粋）

#### 医療関係

##### 1. 医療分野の基本方針

我が国は、国民皆保険制度により、全国民が平等に診療を受けられる制度を維持してきた。その一方、医療保険制度は、高齢化の進展に伴って医療費の増加に直面しており、医療費、特に延びが著しい老人医療費について、経済の動向と大きく乖離しないようにするとともに、国民が納得できる公平な医療費負担制度の再構築が大きな課題となっている。また、長い入院期間、過剰な投薬・検査など我が国の医療について無駄、非効率がないか、医療を提供する側、受ける側のコスト意識の喚起を含め、改めて見直していく必要がある。ほかにも、近年多発している医療事故を背景とした医療の安全の確保や、がん、糖尿病などの「生活習慣病」について、費用対効果の観点からも、未然防止のための予防活動を行うことが重要となっている。

医療の規制改革の目的は、患者本位の医療サービスを実現することである。そのためには、これらの状況にかんがみ、患者のプライバシーの保護や医師と患者の信頼関係が重要である。情報の非対称性が強いなどの医療の

持つ特性を踏まえた上で、医療の質の向上、安全の確保を図りつつ、国民皆保険体制と医療機関のフリーアクセスの下、医療サービス提供上の無駄を徹底的に排除し、効率的な医療サービスを実現することが必要である。また、患者にとっては、医療の透明性が確保され自らの選択が尊重されるようになることが必要である。このような基本的考え方に基づいて、医療に関する徹底的な情報開示・公開の促進、医療分野のIT化の推進、保険者の本来機能の発揮、診療報酬体系の見直し、医療機関相互の競争の促進、医療事故防止システムの確立等を積極的に実施する。

##### 2. 医療分野の重点事項

###### 1) 医療に関する徹底的な情報開示・公開

患者情報の開示、医療提供者に関する情報公開、医療機関の広告規制の見直し、第三者評価の充実、インフォームド・コンセントの普及・推進等により、医療に関する徹底的な情報開示・公開を行い、患者の選択が尊重される患者本位の医療を実現する。

###### 2) IT化の推進による医療事務の効率化と医療の標準化・質の向上

医療のIT化に関する戦略的グランドデザ

インの策定，レセプトのオンライン請求を中心とする電子的請求の原則化，電子レセプトの規格の充実・強化及び使用の普及促進，EBM の推進等の IT 化の推進により医療事務の効率化と医療の標準化・質の向上を推進する。

### 3) 保険者の本来機能の発揮

保険者によるレセプトの審査・支払，保険者と医療機関の協力関係の構築等により，保険者が被保険者のエージェントとしての負託に応じ，自主自立の意識の下，責任をもってその本来機能を発揮できるようにする。

### 4) 診療報酬体系の見直し

包括払い・定額払い制度の拡大，公的保険診療と保険外診療の併用による医療サービスの提供など公的医療保険の対象範囲の見直し等の診療報酬体系の見直しを行う。

### 5) 医療分野における経営の近代化・効率化

医療機関経営に関する規制や医療法人の理事長要件の見直しを行い，医療分野にお

ける経営の近代化・効率化を推進する。

### 6) 医療事故防止システムの確立

医療機関内の安全管理に関するインフラ整備や医療の安全確保に関する社会的なインフラ整備，医療専門職の養成過程の見直し，診療報酬上の対応の必要性の検討等により，医療事故防止システム確立のための総合的施策を講ずる。

### 7) 高度な救急医療体制の早急な確立と小児医療の充実

救急医療体制の充実として，24時間体制で上質な救急医療を提供できる体制を早急に整備する。また，小児医療の充実として，小児科医の確保策の積極的推進等を行う。

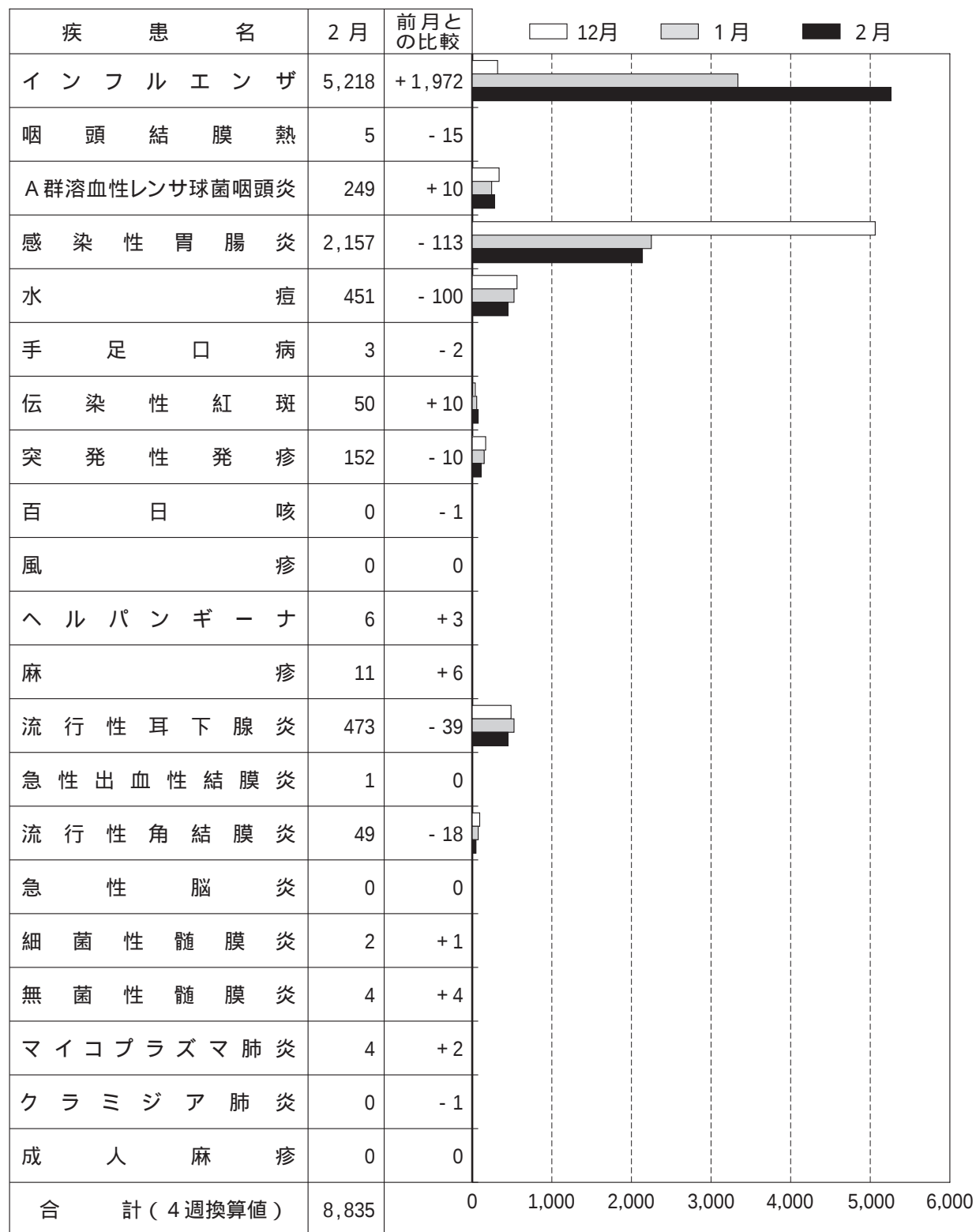
### 8) ゲノム医療の研究推進

将来のオーダーメイド医療，予防医療による医療システムの新たな発展のために，ゲノム医療に関する研究を積極的に推進する。

## 感 染 症 サ ー ベ イ ラ ン ス 情 報

宮崎県の発生動向（定点把握）

調査期間 14年 2 月 4 日～14年 3 月 3 日



## 各都市医師会だより

## 宮 崎 市 郡 医 師 会

会 長 あや 綾 べ 部 たか 隆 お 夫

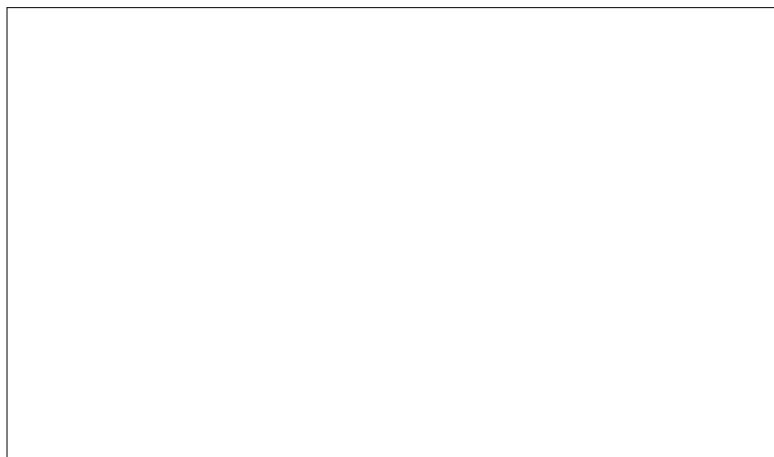
御挨拶を兼ねて宮崎市郡医師会の現況を御紹介いたしたいと存じます。

平成14年 4 月 1 日現在、本会は644名の会員（A 会員348名、B 会員296名）を擁し、その事業部門として、看護専門学校、臨床検査センター、成人病検診センター、医師会病院、在宅介護支援センター、訪問看護ステーションを運営しております。職員数は正職員383名、非常勤職員44名、委託職員12名の総数439名であります。このほかに、宮崎市からの委託事業として宮崎市夜間急病センターを運営しております。

平成13年秋に医師会病院新棟が完成いたしましたのを機に、急性期医療の充実をはかるとともに、開放型緩和ケア病棟を開設して新しい型の地域医療への取り組みを始めました。また、会員施設間に在宅緩和ケアネットワークを構築し、これまで以上に有機的な各施設間の連携をはかりつつあります。これらの事業遂行に必要な平成14年度各会計予算総額は65億1,400万円となっております。

診療報酬改定の影響は医師会立共同利用施設にとりましても大変厳しいものがあります。就中、臨床検査センターにつきましては、まさに危急存亡の秋といっても過言ではありません。業務内容の充実や経営のさらなる合理化に取り組んでまいります。臨床検査センターのみならず医師会立共同利用施設の運営にあたりましては、できる限りの努力そして工夫を重ね、会員の皆様にとり魅力ある施設になるようつとめてまいりたいと存じます。

会員の医業経営形態や勤務の様態が多様化する中であって、どのような医師会であるべきか今後も模索してまいりますので、会員諸先生の御指導、御鞭撻を切にお願い申し上げます。



宮崎市郡医師会理事会

## 役 員 名 簿（任期 平成14年 4 月 1 日～平成16年 3 月31日）

役 職 名	氏 名	年 齢	医 療 機 関 名	診 療 科	担 当 業 務
会 長	綾部 隆夫	60	綾部医院	内科・循環器科	総括
副 会 長	菊池 清文	60	菊池耳鼻咽喉科医院	耳鼻咽喉科	医師会病院，訪問介護ステーション，在宅介護支援センター，看護専門学校，労務，会員福祉，救急医療，産婦人科看護研修学院
"	早稲田芳男	60	早稲田内科神経科医院	内科・神経科・精神科	検査，検診センター，医師連盟，情報システム，会員広報，協同組合，医事紛争，産業医，地域保健，勤務医，交通安全，納税
"	川島謙一郎	58	川島眼科	眼科	会計，開業相談，慶弔，共済会，互助会，庶務，在宅医，学校保健，地域保健，社保，国保，しのめ，学術，健康教育
理 事	八尋 克三	57	南部病院	外科・内科・消化器科・胃腸科・肛門科	会員福祉，労務，庶務，在宅医，社保，国保
"	元村 祐三	55	元村胃腸科外科	外科・胃腸科・肛門科	医師会病院，訪問看護ステーション，在宅介護支援センター，医事紛争，協同組合，納税
"	永吉 洋次	57	永吉整形外科医院	整形外科・リハビリテーション科	救急医療，看護学校専門課程・高等課程，産業医，交通安全
"	佐藤 雄一	54	佐藤小児科	小児科	会計，開業相談，慶弔，共済会，互助会，学校保健，地域保健，学術，健康教育
"	皆内 康広	53	みなうち内科神経内科	神経内科・内科	医師連盟，会員広報，情報システム，地域保健，しのめ
"	日高 知昭	54	御殿下医院	胃腸科・内科	看護学校高等課程・専門課程，検診センター，しのめ，産業医，交通安全，検査センター，社保，国保，庶務，在宅医
"	中村 洋之	49	中村内科放射線科	内科・呼吸器科・胃腸科・循環器科	急病センター，救急医療，医師会病院，訪問看護ステーション，在宅介護支援センター，会計，開業相談，慶弔，共済会，互助会
"	下村 雅伯	60	下村産婦人科医院	産婦人科	産婦人科看護研修学院，会員福祉，労務，地域保健
"	福元 廣次	44	福元医院	外科・内科・胃腸科・循環器科・リハビリテーション科	医師連盟，会員広報，情報システム，医事紛争，協同組合，納税，地域保健
* 監 事	菊池 郁夫	49	県立宮崎病院	内科・消化器科	勤務医，学術，健康教育，学校保健
"	友清 義海	77	ともきよ内科	婦人科	
"	土居 博	74	土居内科医院	内科	
"	大西 雄二	54	大西医院	内科	
* 議 長	田爪 靖史	64	タツメクリニック	外科・胃腸科・整形外科・肛門科・麻酔科	
* 副 議 長	郡 征一郎	63	郡産婦人科・内科医院	産婦人科・内科	

*は新任

## 職 員 名 簿

職 名	氏 名	担 当 業 務
事 務 局 長	後藤 吉克	総括
医 師 会 病 院 事 務 長	後藤 秀臣	医師会病院全般の総括
医 師 会 地 域 医 療 連 携 室 長	鳥飼 政雄	地域医療連携全般，訪問看護ステーション・在宅介護支援センター・病院緩和ケアに関する全般の総括
検査センター事務長(兼)経理課長	守屋 徳明	検査センター全般の総括，経理全般の総括
看護専門学校事務長(兼)業務課長	内田 彰	看護専門学校全般の総括，業務課全般の総括
検 診 セ ン タ ー 事 務 長	細山 隆利	検査センター全般の総括
総 務 課 長	黒木 達郎	総務課全般の総括
総 務 課 主 任	井上 義規	総会，理事会，救急医療，健康教育，医師連盟他
総 務 課 事 務 員	榎本久美子	雇用保険全般，予防接種関係他
"	林 靖人	在宅医，学術，学校医，産業医他
経 理 課 係 長	山森 恵子	一般・訪問看護ステーション他の経理，会費の算定及び徴収他
"	前田 義彦	法人税・固定資産税及び税務申告，共済会，給与，社会保険関係他
経 理 課 事 務 員	田端 加奈	検査・検診センター予算決算経理及び庶務関係他
業 務 課 主 任	福田 豊志	看護専門学校・産科看護研修学院・学校検診全般他
業 務 課 事 務 員	椎 文芳	看護専門学校・産科看護研修学院・学校検診全般他

## 各都市医師会だより

## 都城市北諸県郡医師会

会 長 やなぎ た き み こ  
柳 田 喜美子

1月の総会において都城市北諸県郡医師会の皆様の総意を得て御推挙いただき、引き続き会長職を務めさせていただくことになりました。三役に小牧一磨、瀬ノ口頼久、石井芳満（総務理事兼務）先生の3名を副会長として起用し、選出された有能な理事の皆様の御支援のもと、決意新たに会務を全うしてまいる所存であります。会員各位の更なる御指導、御協力をお願い申し上げます。さて、我が国は未曾有の変革期にあるとはいえ、医療関係者の存在しない経済財政諮問会議等において、国の保険財政の収支のみを最優先にした医療保険制度改革の論議が横行し、医療費のマイナス改訂を始め、医療行為を商品化したに等しい施策が次々と提示されてきました。このことは、今だに弊害が続いている1980年代のイギリスの政策の迭を踏むことになりかねません。この度、日医代議員会から政府へ抗議文が出されたところではありますが、2002年中に見直すべく強力に関係当局に働きかけていくべきであります。医師会立の共同利用施設の事業展開もこれに連動して極めて厳しいことが予想されますが、医師会活動の拠点として「地域医療」に貢献する中心施設という視点から再認識し、その活性化をはかっていくことが重要であると思います。又、私ことこの度4月1日の第106回日医定例代議員会において日本医師会常任理事に就任することになりました。誠に光栄に存じますと同時に、その責任の重大さに身の引き締まる思いが致しております。担当分野は医療関係職種、共同利用施設、母子保健の三分野となりました。いずれも問題の山積する中でありますが、地方の声を発信し、日本の医療並びに日本医師会の発展の為、その重責を全うすべく努力していく所存であります。御支援いただきました秦 県医師会長始め皆様方に深謝し、今後共より一層の御指導、御鞭撻の程をお願い申し上げ、御報告と致します。

都城市北諸県郡医師会理事会

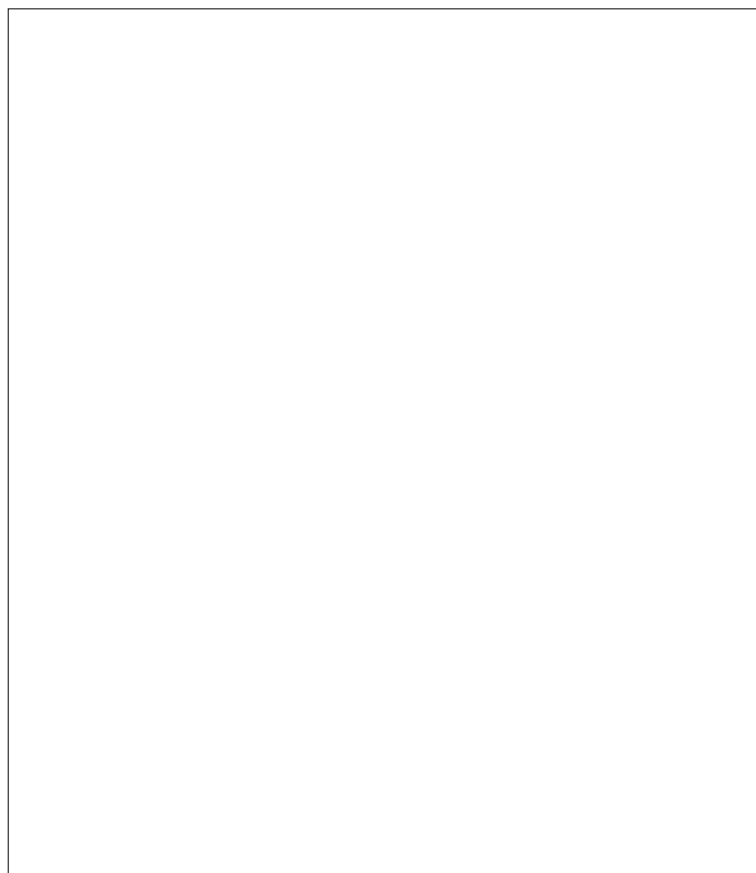
## 役 員 名 簿 (任期 平成14年 4 月 1 日 ~ 平成16年 3 月31日 )

役 職 名	氏 名	年 齢	医 療 機 関 名	診 療 科	担 当 業 務
会 長	柳田喜美子	65	柳田病院	小児科	会務総括, 全施設総括, 救急医療センター所長
副 会 長	小牧 一磨	63	小牧病院	整形外科・リハビリテーション	県医師会理事, 健康サービスセンター所長, 介護老人保健施設「すこやか苑」副施設長
"	瀬ノ口頼久	57	瀬ノ口内科放射線科医院	内科・放射線科・呼吸器科	医師会病院副院長, 健康サービスセンター副所長, 訪問看護ステーション所長
副 会 長 総務理事	石井 芳満	61	石井皮膚科医院	皮膚科	医師会病院長, 総務
理 事	吉井 理	56	吉井小児科医院	小児科	救急医療, 乳幼児保健
"	大窪 利隆	56	おおくぼクリニック	内科・循環器科	医師会病院(管理部門), 病診連携, 看護師対策
"	志々目栄一	50	志々目医院	内科・小児科	学術・生涯教育, 健康教育, スポーツ医学
"	児玉 實志	59	児玉小児科	小児科	学校保健(含む学童検診), 学校医部会
"	出水 善文	59	いづみ内科医院	内科・消化器科	健康サービスセンター(管理部門), 公衆衛生
"	河野 一成	55	都城新生病院	精神科・神経科・内科	看護専門学校校長, 病院部会
"	坂元 一久	51	坂元医院	胃腸科・内科・小児科	広報, 定款諸規定, 医事紛争, 開業相談, 医師連盟, 会計管理(全ての共同利用施設)
"	佐々木幸二	50	佐々木医院	循環器科・内科・消化器科	保険診療, 自賠, 会員福祉
"	中山 郁男	48	中山産婦人科医院	産婦人科	介護老人保健施設「すこやか苑」, 地域医療
*	"	濱田 義臣	たおか浜田医院	外科・循環器科・胃腸科・内科	訪問看護ステーション, へき地医療, 老人保健, 介護保険
*	"	仮屋 敏郎	仮屋外科胃腸科医院	外科・麻酔科・胃腸科	産業医部会, 労災部会, 地域産業保健センター, 勤務医部会
*	"	野辺 俊文	野辺医院	胃腸科・内科	看護専門学校副校長兼管理部長, 労務福祉
監 事	河村 邦彦	67	河村医院	内科・循環器科・小児科	
"	仮屋 純人	55	仮屋医院	内科・消化器科・循環器科	
*	"	速見 晴朗	速見泌尿器科医院	泌尿器科	
議 長	長倉 泰郎	79	長倉医院	内科・小児科	
副 議 長	井上 博水	59	恒心館クリニック	外科・胃腸科・リハビリテーション	

*は新任

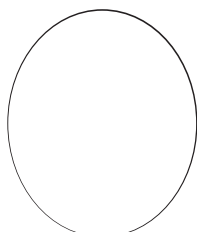
## 職 員 名 簿

職 名	氏 名	担当業務
事 務 局 長	山元 清久	事務局統括，看護学校事務統括，全施設事務統括，人事関係他
庶 務 課 長	吉山 政博	庶務・会計全般，医師連盟，休日在宅当番医編成事務他
庶 務 課 長 補 佐	村下 道子	労働保険事務組合，産科学院，レセプト受付，医師国保他
庶 務 主 任	川口たまえ	一般会計，福社会計，文書受付整理，会員数把握他
庶 務 主 事	藤田 学	庶務全般，産業医部会事務，会報作成編集他
臨 時 職 員	宮里 まや	レセプト受付，文書整理他
看 護 専 門 学 校 事 務 主 任	堀 竜二	医療高等課程庶務・会計全般，労務福祉委員会他
〃 事 務 主 事	中堂蘭和美	医療専門課程庶務・会計全般，学校運営委員会他



## 国公立病院だより

### 串間市国民健康保険病院



むれ ひろし  
牟禮 洋 院長

#### 1. 地域の概況

串間市は、宮崎県の最南端に位置し、温暖多雨な南国的気候に恵まれています。また、島々や岩礁が点在する延長77kmにおよぶ風光明媚な海岸線は起伏変化に富み、食物を洗って食べる文化猿の生息する幸島には亜熱帯植物が繁茂し、野生馬の生息する都井岬には蘇鉄の自生地が見られるなど、自然のみが持つ美観を天賦の資産とする観光田園都市です。

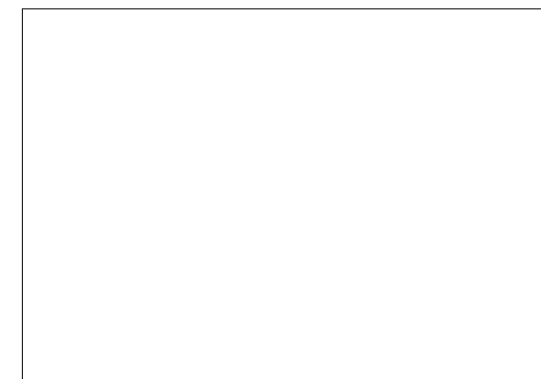
この自然を生かしたマリンレジャーも盛んで、6月から9月にかけての「飛び魚すくい」や、年中楽しめる海釣りなどに、県内外から多くの人が訪れています。また、都井岬地区の「恋ヶ浦」は、サーフィンのメッカとして全国に知られ、遠くは東京・大阪から訪れた多くの若者たちで連日賑わっております。他には、串間駅から車で10分ほど行った本城地区には、温泉「湯ったり館」があり、肌がすべすべになると好評です。

昭和29年に1町4か村が統合されて現在の串間市が誕生しました。主な産業は、農業・漁業・観光であります。

少子高齢化の波は急速に波及してきており前回公立病院便りに登場した平成8年に人口：2万4千8百人、65歳以上の高齢化率：24.6%であったものが、平成12年には人口：2万4千6百人、高齢化率：28.9%となっています。

#### 2. 沿革

昭和21年10月 福島町農業会代行国民健康保険組合直営診療所として開設



26年 4 月	現在地（西方4351番地）に移転
27年 4 月	第1病棟建設（後の管理棟）
27年 8 月	伝染病棟建設
29年11月	市制施行に伴い串間市国民健康保険病院に改組
31年12月	植村芳郎院長就任（第2代院長）
38年 4 月	附属准看護学校開設
39年 2 月	伊集院健院長就任（第3代院長）
39年 7 月	救急告示病院として指定を受ける
40年 6 月	准看護学校串間市直営となる
41年 7 月	附属本城診療所開設
44年12月	診療棟新築（鉄筋コンクリート3階）
48年	本城診療所廃止
48年 3 月	病棟全面改築（鉄筋コンクリート3階）
59年 2 月	13床増床（一般 80床）
59年	財政健全化計画策定（10年計画）
62年 3 月	池平博院長就任（第4代院長）
62年 4 月	10床増床（一般 90床）
平成2年 3 月	平成元年度をもって不良債務解消
4年 4 月	給食業務全面委託
7年 3 月	平成6年度で累積赤字解消
7年 4 月	牟禮 洋院長就任（第5代院長）
7年11月	薬局・医事・待合ホール改修

11年 4 月 伝染病棟（20床）廃止  
11年 7 月 産婦人科開設  
12年 9 月 15床増床（一般 120床）  
13年 3 月 透析室増築

### 3. 病院概要

○施設の規模：敷地面積13,239m²，建物面積  
6,388m² 鉄筋コンクリート造り，  
地上 3 階・地下 1 階

○許可病床数：一般病床120床

○診療科目：内科・外科・整形外科・小児科・  
眼科・泌尿器科・皮膚科・産婦  
人科・放射線科・麻酔科・リハ  
ビリテーション科

○職 員 数：医師15名，薬剤師 2 名，看護師  
72名，補助婦 9 名，臨床検査技  
師 3 名，放射線技師 2 名，理学  
療法士 2 名，栄養士 2 名，事務  
職員 7 名，その他 5 名

○患者の状況：平成13年度患者数

入院：32,021人（1 日平均 88人）

外来：84,034人（1 日平均 343人）

前回の平成 8 年以降の主な変化は，増床：30  
床，産婦人科開設，内科，整形外科を鹿大医局  
の派遣から，宮医大医局へ変更等です。

おわりに

平成 8 年の当病院の公立病院便りを読み返す  
と，今後の課題として，

1) 医療機器の整備の遅れとしてCT，X線テレビ，  
オートアナライザー等の早急な整備

2) 新築移転問題

3) 産婦人科が市内になく設置に対する要望が  
強いという問題

4) 病床が不足気味

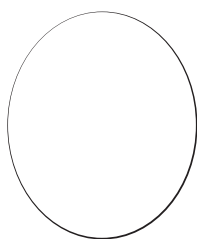
があげられていました。現在，新築移転問題に  
関しては平成17年度開院を目標に着々とプロジェ  
クトが進行しつつありますがまだ完成には至っ  
ておりません。その他ではクリアできていない  
課題はなく，医療機器はすべて新型に整備され  
ています。産婦人科も宮医大池ノ上教授のご協  
力のおかげで開設することができ，それと連動  
して増床も行われました。

これは，ひとえに，病院職員のがんばり，行  
政の協力，鹿児島大学，宮崎医科大学の各医局  
の協力，住民のみなさんのご支援などがすべて  
合わさった結果であろうと思います。

現在の課題は，患者の安全管理が第 1 のテー  
マと考えています。それと平行して，病院建設  
問題，さらに，医療情勢の変化がめまぐるしい  
現在において，安定した医師確保ができるか，  
安定した病院経営のための事務部門の人材確保  
の問題などが当病院のこれからの課題と考えて  
います。次回の公立病院便りの時には，これら  
課題が達成されているよう努力していきたいと  
思います。（牟禮 洋）

## 宮崎医科大学だより

### — 微生物学講座 —



はやし てつ や  
林 哲也 教授

この1年半の間に、微生物学教室の構成メンバーが大きく変化し、それにともない研究内容も変わってきておりますので、これらの点を中心に当教室の紹介をさせていただきます。

教室員に関しては平成12年10月に南嶋前教授の後任として林哲也が赴任し、続いて大西真助教授と中山恵介助手が教室に、さらに、この3月から竹下由美子が実験補助員として、4月からは小椋義俊と大谷郁がともに日本学術振興会流動研究員として研究スタッフに加わりました。以上の新メンバーに以前からのスタッフである峰松俊夫兼任講師と藤井伸子事務官を加えた8名が現時点での微生物学教室のスタッフです。また、部門長を林が兼任する実験実習機器センター感染部門の吉田朱美技官も、センター業務以外の時間には当教室で仕事をしてもらっています。そのほか、皮膚科の立山直助手と麻酔科の松岡博史助手が当教室で研究に励んでおり、夏・春休みなどには学部学生が実験をするために教室を訪れ、かなりにぎやかな状況ですが、大学院生がいない点が大きな課題です。

研究面では、細菌の病原性解析、特に全ゲノムレベルでの細菌病原性の解明が中心テーマとなっています。我々のグループは病原性大腸菌 O-157 のゲノム解析にこの数年間取り組んできましたが、昨年3月に全配列を発表することができました。O-157 のゲノム解析からは、多数の病原遺伝子を新たに見出すことができたばかりでなく、細菌ゲノムの驚くべき多様性の実態やダイナミックな変化など、生物学的にも重要な数々の新知見が得られ、その解析作業はまさ

に興奮の連続でした。次は、決定した O-157 の配列を利用して、様々なタイプの大腸菌の病原性の分子機構をゲノムレベルで明らかにしていきたいと考えています。また、新規プロジェクトとしてツツガムシ病リケッチアのゲノム解析が昨年からスタートしています。この細菌は日本で発見された数少ない病原菌の一つでもあり、なんとしても我々の手で全ゲノムを解読したいと考えています。これらのゲノム生物学的な研究に加えて、当教室の以前からの研究テーマであるサイトメガロウイルスに関しても、先天性感染に関する研究が峰松講師と周産母子センターとの共同研究として行われており、アエロモナスという「人喰いバクテリア」の病原性に関する研究も立山・松岡先生が中心となって進められています。

現時点での微生物学教室の研究体制は以上のような形になっておりますが、ご存じのように、様々な新興・再興感染症の出現や多剤耐性菌の増加といった大きな課題を抱え、病原微生物あるいは感染症教育の重要性が再認識されつつあります。学部教育等の重要性は以前に増して高くなっており、学生たちが病原体や感染症に関する興味をもって医療現場に飛び出していってもらえるよう務めることが我々の責務と考えています。また、コンサルテーションや共同研究などの形で、臨床や地域の医療と密接に結びついた活動を行うことも、我々の重要な使命の一つであろうかと思えます。この点については、既に一部の先生方とは院内感染に関する勉強会を開くなどしておりますが、今後より多くの臨床医の先生と密接なコミュニケーションをとりながら、感染症に関連した様々な問題に取り組んでいきたいと考えていますので、どうかよろしくお願いいたします。

なお 教室の活動内容や近況などは教室のホームページでも紹介しています。

<http://micro.miyazaki-med.ac.jp> に是非一度アクセスしてみてください。

( 林 哲也 )

## — 各 種 委 員 会 —

## 第 3 回 会 館 建 設 検 討 委 員 会

と き 平成13年 3 月22日(金)

ところ 県医師会館

## 報 告

## 会館耐震診断経過について

志多組（志多一級建築士事務所）の担当者から，県医師会館耐震診断判定会が，第 1 回目が平成13年12月26日(水)，第 2 回目が平成14年 2 月22日(金)・23日(土)，第 3 回目が平成14年 3 月11日(月)に，いずれも県建築住宅センターにおいて開催されたことが報告された。

判定結果の第 1 回目は，二次耐震診断でなく，高次の三次耐震診断を行うように指導があった。第 2 回目は，三次耐震診断をコンピュータでなく，手計算で行うように指導があった。第 3 回目は，耐震壁，柱の耐力計算方法について指導を受けた旨，資料により説明が行われた。なお，第 4 回目は，4 月27日(土)開催予定である。

更に，九電工の担当者から，県医師会館建築設備耐震診断について，事務室・会議室・廊下等の天井内に設置してある空調機・照明器具は

吊りボルトにて固定してあり問題はないが，ダクト・配管の落下防止のために支持固定を増やす必要がある。電気室・機械室・屋上・パイプシャフトに設置してある機器・配管については，転倒・横ずれ防止のための建物との固定の補強が必要であり，また機器と配管との接続に可動性のある伸縮継手を増やす必要があると説明があった。

## 協 議

県駐車場（県医師会館西側）購入について種々意見が述べられたが，平成13年 6 月18日に開催された第 2 回委員会において出された，早急に購入をとの答申書を尊重するようとの意見であった。

出席者 - 伊東委員長，菊池副委員長，川島・野田・三ヶ尻・崎濱・富田・河野・上田・玉置・志多委員

県 医 - 秦 会長，大坪副会長，西村・稲倉常任理事

事務局 - 小橋川・鳥井元課長，杉田係長

## 告 知

## 第131回宮崎県医師会定例代議員会開催

- と き 平成14年 6 月18日(火) 18 : 50  
ところ 県医師会館 4 階研修室  
次 第
- |                  |                         |
|------------------|-------------------------|
| 1 . 議長開会宣言       | 5 . 議 事                 |
| 2 . 議事録署名人選出     | 議案第 1 号 平成13年度宮崎県医師会各会計 |
| 3 . 県医師会長挨拶      | 収入支出決算に関する件             |
| 4 . 報 告          | (1) 一般会計                |
| (1) 平成14年度事業現況報告 | (2) 福祉特別会計              |
| (2) その他          | (3) 会館管理特別会計            |
|                  | ( 監査報告 )                |
|                  | 6 . 協 議                 |
|                  | 7 . 議長閉会宣言              |

## 宮崎県医師連盟執行委員会開催

- と き 平成14年 6 月18日(火) 19 : 30  
ところ 県医師会館 4 階研修室  
次 第
- |                  |                         |
|------------------|-------------------------|
| 1 . 開 会          | (2) その他                 |
| 2 . 委員長挨拶        | 4 . 議事                  |
| 3 . 報 告          | 議案第 1 号 平成13年度宮崎県医師連盟収入 |
| (1) 平成14年度事業現況報告 | 支出決算に関する件               |
|                  | ( 監査報告 )                |
|                  | 5 . 協 議                 |
|                  | 6 . 閉 会                 |

## 第17回宮崎県医師協同組合通常総代会開催

- と き 平成14年 6 月18日(火) 18 : 00  
ところ 県医師会館 4 階研修室  
次 第
- |                |                           |
|----------------|---------------------------|
| 1 . 開会の辞       | 6 . 議 事                   |
| 2 . 議長選出       | 議案第 1 号 平成13年度事業報告, 決算及び剰 |
| 3 . 理事長挨拶      | 余金処分案の承認を求める件             |
| 4 . 出席者報告      | 議案第 2 号 平成14年度事業計画及び収支予   |
| 5 . 通常総代会の成立宣言 | 算案の承認を求める件                |
|                | 議案第 3 号 借入金残高最高限度額決定の件    |
|                | 議案第 4 号 役員 ( 理事・監事 ) 改選の件 |
|                | 議案第 5 号 役員報酬決定の件          |
|                | 7 . 協 議                   |
|                | 8 . 閉会の辞                  |

## 各 郡 市 医 師 会 長 協 議 会

と き 平成14年 3 月 5 日(火)

ところ 宮崎観光ホテル

### 報 告

#### 1 . 2 /12(火) (日医) 第 4 回都道府県医師会長協議会について (秦会長)

当日は、(1)医療制度改革大綱等及び総合規制改革会議の「規制改革の推進に関する第 1 次答申」について、(2)沖縄、岡山、兵庫、茨城、愛知各県から提出された質問事項について説明が行われた。政府側から次々と出される提案に対して、日医が去年の 6 月から12月にかけて、凄まじい攻防戦を行った解説であった。

結局、経済財政諮問会議と総合規制改革会議という、医療を全然知らないところから大枠をどんどん決めて閣議決定されて厚生労働省に下ろされてくるという、今までにないやり方であるので、厚生労働大臣と話し合いをしてもなかなかうまくいかない。しかし、いろいろな手を尽くしてやっておりますということであった。次は、政府与党の社保協議会の提出した医療制度改革大綱について、日医が反撃した為に今のところ途中で止まっているという説明であった。

提出されてくるいろいろな案を日医はがんばって食い止めているとのことであるが、例えば自己負担を平成15年度に 7 割給付に移行することを阻止したとしていたものが、実際には阻止されていない。坪井会長は、患者の 3 割負担もさることながら、株式会社が医療に参入してくるとか、保険者と医療機関が直接取引をするとか、医療費の総枠管理・老人医療費の伸び率管理の問題が大事だと言う訳です。

しかし、診療報酬の引き下げをされ、更に患者の 3 割負担をされますと、それで大丈夫かなというのが各県医師会長の感想でありました。3 割負担容認には取り引きがあるのではないかと。若し取り引きがないのであれば、3 割負担の凍結運動を起こせばよいのではないかと考えます。

糸氏副会長からは、3 割負担阻止も大事だが、国民皆保険制度を守ることがもっと大事であり、小泉首相が一生懸命そういう方針であるならば、3 割負担制度は認めても、老人医療費の伸び率管理等は認めさせないという発言があった。

また、総合規制改革会議の方からも責められてきている訳である。とにかく、医療関係者若しくは厚生労働大臣のいないところで社会保障関係、医療関係のことが決められているのである。

こういういろいろな矢が飛んで来ている訳で、その一番の矢は、支払基金を解体して保険者と医療機関が直接交渉できるように規制改革することである。そこで保険者は、大きな医療機関に医療費の値引きを交渉できるようにすることが、規制改革会議の狙いということであった。

非常に厳しい状態に来ている。特に医療制度改革大綱について説明をされたが、宮崎県医師会ではもっと詳しいものを全会員に配付している。都道府県医師会長協議会のまとめが日医ニュース(第971号)であるのでご覧いただきたい。

2. 3 / 2 (土)・3 (日) (福岡)九州医師会連合会常任委員・九州各県医師会次期会長合同会議等について (秦会長)

鹿児島県医師会長の鮫島耕一郎先生は、6期12年間の会長職をもって今度、退任ということになった。大分県医師会長の吉川暉先生、沖縄県医師会長の比嘉国郎先生も退任される。福岡県医師会長の関原敬次郎先生は4期目を続投される。

3 (日)日医各種委員会状況報告があり、本県の志多副会長に社会保険研究委員会、稲倉常任理事に社会保険診療報酬検討委員会について報告していただいた (日州医事 4 月号に掲載)。

九州医師会連合会は、坪井栄孝会長の推薦を正式に決定し、日医代議員会議長候補に福岡県医師会長の関原敬次郎先生を推薦することに決定した。

その次に、名誉なことであるが、日本医師会常任理事候補として、福岡県医師会の現西島日医常任理事に加えて、宮崎県医師会元常任理事の都城市北諸県郡医師会長の柳田喜美子先生を女性として初めて推薦することに決定した。

第26回日本医学会総会が、平成15年 4 月 4 日(金)～ 6 日(日)福岡市において開催されるが、是非成功させていただきたいということで、登録をお願いしたいということであった。宮崎県も全員登録は無理としても、出来るだけの協力をしたいと考えている。登録第1号は坪井日医会長であり、日本医師会としても意義ある医学会総会であるので、是非成功させたいということであった。

その他として、先日、会員の先生へ「宮崎県医 FAX ニュース」により、「平成14年度診療報酬改定について」お知らせしているが、どうしてこういう診療報酬改定がされたのか。

2.7%以上のマイナスである。整形外科医会、日本病院協会等、各方面から反発の声がある。日医診療報酬検討委員会において、2年間検討されているので、それがどう反映されているか、稲倉常任理事に後ほど補足していただく。

3 月 9 日(土)ホテル神田橋において、菅谷日医常任理事を招き「診療報酬改定について」の講演を行うが、全国で初めてではないかと思う。どういう講演をされるか注目している。

3 月13日(水)は、日医において都道府県医師会社保担当理事連絡協議会が開催され、診療報酬改定の説明会が行われる。それを受けて、3 月15日(金)県医師会において各都市医師会社保担当理事連絡協議会を開催し、説明会を行う予定である。

稲倉常任理事

日医診療報酬検討委員会に出席しているが、委員会では、現在の診療報酬の不合理点、矛盾点を指摘し、更に要望事項も纏めて冊子にして、日医会長へ提出している。日医からは厚生労働省に提出するということになっている。

委員会には次期の診療報酬改定内容の情報は全く知らされなかったのが実状である。今回の診療報酬改定は実質が1.3%減ということであるが、それ以上のマイナスになるのではないかと考えている。

再診料・外来診療料及び入院基本料等の見直し、長期入院に係る保険給付の見直し、医療安全対策等の評価など、医療機関は厳しい対応を求められている。小児医療については、十分ではないが、ある程度評価できるのではないかと考えている。現在問題になっている小児救急医療については、急性期の小児入院医療提供体制を評価する観点から小児入院医療管理料 1・2 が新設されている。しかし、小児救急の現場では不十分との声が強い。また、児童・思春期精

神医療が評価されている。

特に混乱を来たすのは、本年10月に予定されている外総診の廃止、画像診断でMRIの大幅な減額等がある。リハビリテーション関係については、急性期は優遇するが、慢性期は厳しくなっている。薬剤使用の適正化と薬剤関連技術料の見直しが行われている。

その後、日医常任理事候補である柳田喜美子先生から決意表明の挨拶があった。

（出席者）

本会顧問 - 黒水啓一先生、竹内三郎先生

各都市医師会 - 綾部・柳田・市原・山口・大塚・  
岩田・前原・植松・住吉会長、鮫島副  
会長

県医師会 - 秦 会長、大坪・志多副会長、稲倉・  
西村・早稻田・河野・濱砂・夏田常任  
理事、和田・浜田・長田・小玉・吉田  
理事、高崎前理事

事務局 - 日高局長、小橋川・鳥井元・島原課長

## 各 郡 市 医 師 会 役 員 連 絡 協 議 会

秦 会長挨拶（要旨）

非常に診療でお忙しいところ，土曜日の時間を割いてご出席いただきまして誠に有り難うございます。日医の菅谷先生は診療報酬改定の細部の詰めを通達・通知を3月半ばまでにやってしまうということで，非常にご多忙のところご出席いただき有り難うございます。これは一重に菅谷先生が日医で担当しておられる社会保険診療報酬検討委員会に稲倉常任理事が参画しておりますので，ご無理を申し上げて本日来て頂きました。今日は講演が終わりましたら，すぐお帰りになるという，非常にお忙しい中に，ご出席いただいております。

おそらく，診療報酬改定が表に出て，先生がご講演されるのは宮崎が初めてではないかと考えています。

- 1.3%の改定が本当に1.3%の値下げかなという話をあちこちで聞きます。整形外科，皮膚科の先生からお話がありまして，「再診料の月内逓減がとられたら，非常に困ります。半額になりますから大変な事になります。次の改定を待たずに，1年，半年様子をみてやり直すというくらいのことを日本医師会に具申していただきたい」と言われています。中小規模病院の先生からは，「長期の逓減制がなくなったのに，6か月の特定療養費払は地方では非常に困ります。その上，CT，MRIの点数が下がっています」そのような苦情が寄せられています。これもあるべく早い機会に是正をお願いしたいと考えております。

また，10月に老人医療1割の定率制が導入されますとこれもまた患者の受診の低下につなが

と き 平成14年 3 月 9 日(土)

ところ ホテル神田橋

ります。更に来年度4月から3割負担ということになりますと，地域の医療機関（地域医療）は崩壊するのではないかと考えています。これを何とか日本医師会が全力を挙げて，凍結してしまえば簡単なことでありますので，このことに反対する国会議員は次回の衆参議院の選挙で落とすよというようなことまで必要ではないと考えています。菅谷先生のお話を聞いて県医師会として対応を考えていく必要があると考えています。宮崎県内では倒産する医療機関がないように頑張って参りますので，よろしくお願い申し上げます。

特別講演

演 題 「診療報酬改定について」

講 師 日本医師会常任理事

菅 谷 忍 先生

診療報酬改定の中味については，来週3月13日(水)日本医師会において都道府県医師会社保担当理事連絡協議会を開催して説明会を行いますので，それを待って，県医師会において説明会があることと存じますので，その時に充分にご理解をしていただきたい。

本日は今回の診療報酬改定の対応について，概略的にお話を申し上げてみたい。

今回の診療報酬改定は，ご承知のとおり過去に例のないマイナス改定を強要された訳であります。これは誠に遺憾なことである。

いかに社会情勢，社会経済が低迷を続け，国家財政が逼迫しているにせよ，社会保障，医療政策に財政主義の論理を持ち込み，医療費の削減，国民の負担増を図るということは，国家的

暴挙といっても過言ではない。

また 昨年末の厚生労働省の予算編成過程で、診療報酬引き下げが一人歩きし、経済低迷のなかで、医療費を上げる訳にはいかないという世論作りをされ、引き上げが不可能になった。医療機関の窮状を訴えたものの、結果としてマイナス改定をのまざるを得なかった。厳しい折衝過程のなかで苦渋の選択であった。

今回の診療報酬改定作業について、今の診療報酬体系は一本の体系で、医療機関の種別、規模、診療科に関係なく対応しており、個々の医療機関にとっては矛盾が多い。少なくとも医療費の伸びが大きい部分、折角診療報酬をつけても利用しないものを見直すという方針のもと、メリハリの効いた対応をするため、個々の診療行為をいろいろ検討して、今回の改定作業を行った。

結果は諮問書のとおり答申することになった。

診療報酬体系は、個々の医療機関について点数配分している訳ではなく、全体を見て平均的な対応として、点数配分を行っている。数字的に言うと、-1.3%である。

再診料の月内逓減制について、診療報酬本体のマイナス改定と厳しい状況の中で支払側、保険者側が、目に見える形として、初診料の引き下げを要求してきたことから、再診料に手をつけざるを得なかった。そのうえで、無床診療所の1件あたり外来日数をもとに、再診料見直し

の影響は少ないのではないかと見通し、平均的な外来日数に対応した。

具体的には再診料の月内逓減制について 2000年4月から2001年7月の無床診療所の1件あたり外来日数を診療科ごとに見ると 整形外科4.31日、外科3.00日、内科2.18日、眼科1.37日、診療所平均2.21日となることから 逓減はこのデータに基づき平均的に対応せざるを得なかった。

関連して200床以上の外来診療料が2回目から逓減制となることには、大病院は外来を慎んで欲しい、地域の医療機関に患者を帰して欲しいという考え方で、医療連携を促進する意味がある。ただ、この場合の200床以上は、従来の許可病床から一般病床に変更を行った。入院基本料の特定療養費化については、患者がどうしても入院させて欲しいといった場合には、特定療養費となるが、医療的に入院が必要な場合は特定療養費の対象とはならない。患者側の都合による長期入院に対して、支払側が患者負担を求めてきたため、やむを得なかった。プラス改定の時に見直す考えである。医薬品の長期投与制限の撤廃に関しては、医師の裁量でやってもらうために廃止した。患者の状態に応じて日数を決めて欲しい。適正投与をお願いしたい。

以上の要旨内容で講演が行われた。

なお、出席者は、各都市医師会役員・代議員及び本会役員の74名であった。

## 各 専 門 分 科 医 会 長 会

### 報 告

宮崎医学会各専門分科医会長(平成14年4月～)について

各専門分科医会長は別表のとおり。

新任は、小児科医会長が千阪治夫先生、産婦人科医会長が西村篤乃先生である。その他は留任であり、整形外科医会長は松田弘彦先生(5月の総会で選任予定)である。

### 協 議

1. 県医学会副会長1名の推薦について(医学会会則第7条により)

王丸鴻一先生(泌尿器科医会長)(新任)を推薦することが決定した。

2. 県医学会幹事を各専門分科医会よりそれぞれ1名推薦することについて(医学会会則第7条により)

各分科医会からの幹事は別表のとおり。

3. 県医師連盟副委員長1名の推薦について(県医師連盟規約第7条により)

県医学会副会長の王丸鴻一先生(泌尿器科医会長)を推薦することが決定した。

4. 平成14年度春期医学会(総会の際)及び秋期医学会の開催について

春期医学会は6月29日(土)及び秋期医学会は9月7日(土)に開催予定されているが、今後、医学会役員会(幹事会)において内容を検討することになった。

5. 平成14年4月診療報酬改定について

稲倉常任理事から配付資料により

本年4月1日実施された診療報酬減額改定について、会員から大きな不満・不安の声があがっている。そこで、診療科別に今回の診療報酬改定で、どの位の減額になるのかを調べて、そのデータに基づいて日本医師会及び

と き 平成14年4月5日(金)

ところ 県医師会館

厚生労働省に早期の是正を要求する必要がある。できれば本年度中に、遅くとも来年に予定されている介護保険報酬改定に合わせて是正を要求したい。

については、3月分の診療報酬でシュミレーションして正確なデータを把握したい。協力していただける医療機関の3月分の診療報酬請求書(社保及び国保)をコピーして県医師会まで送っていただき、分析する予定であり、各専門分科医会長の協力をお願いしたい旨の説明が行われ、各会長から種々の意見があった。実施については、了承された。

### 各専門分科医会長・幹事名簿

分科医会名	会 長 名	幹 事 名
内 科	志 多 武 彦	栗 林 忠 信
小 児 科	千 阪 治 夫	佐 藤 雄 一
外 科	増 田 好 治	田 爪 靖 史
整 形 外 科	松 田 弘 彦*	小 林 邦 雄
皮 膚 科	田 崎 高 伸	外 山 望
泌 尿 器 科	王 丸 鴻 一	中 山 健
産 婦 人 科	西 村 篤 乃	下 村 雅 伯
眼 科	稲 原 明 肆	柴 田 博
耳 鼻 咽 喉 科	菊 池 清 文	大 野 政 一
精 神 科	後 藤 勇	早 稲 田 芳 男
放 射 線 科	渡 邊 克 司	楠 元 志 都 生
東 洋 医 会	木 下 恒 雄	長 井 章
県 医 師 会	—	高 崎 眞 弓

* 5月の総会で選任予定

(出席者)

各分科医会長 - 志多武彦, 千阪治夫, 増田好治, 田崎高伸, 王丸鴻一, 西村篤乃, 稲原明肆, 菊池清文, 後藤 勇, 木下恒雄  
 県医師会 - 秦 会長, 大坪・志多副会長, 稲倉・西村常任理事, 高崎理事  
 事務局 - 鳥井元課長, 杉田係長

## 九州医師会連合会第246回常任委員会

と き 平成14年 4 月13日(土)

ところ 鹿児島市・城山観光ホテル

鹿児島県医師会が、平成14年度の九州医師会連合会の業務を担当して、最初の常任委員会。

### 1. 挨拶

#### 1) 関原前九州医師会連合会長

平成13年度 1 年間、九州医師会連合会の業務を担当させていただき、大過なく責務を果たすことができた。九州各県の先生をはじめ、役職員の方々には、いろいろとご指導、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げる。

#### 2) 米盛開催県医師会長

福岡県医師会の関原会長先生や役職員の皆様にはこの 1 年間、本当にお世話になった。厚く御礼申し上げる。

これから 1 年間、鹿児島県医師会が担当させていただくことになった。私ども福岡県医師会の万事周到な、すばらしい運営を勉強させていただいたが、そのように出来るか不安に思っている。

九州各県の皆様方のご指導をいただきながら、担当させていただく所存であり、なにとぞ、よろしくお願い申し上げます。

### 2. 協議

#### 1) 九州医師会連合会会長・同副会長の互選について

会長には鹿児島県の米盛会長が、副会長には佐賀県の凌会長が選出された。

#### 2) 九州医師会連合会監事の選定について

監事 2 名は、宮崎・沖縄の両県から、それぞれ 1 名を推薦することに決定した。

#### 3) 第247回常任委員会並びに第83回定例委員

総会の開催について

次のとおり開催することに決まった。

日時：平成14年 5 月18日(土) 午後 4 時～

場所：鹿児島市・城山観光ホテル

#### (1) 常任委員会（午後 4 時～ 4 時50分）

平成13年度決算、平成14年度事業計画・予算等の 8 議案についての審議と、協議が行われる。

#### (2) 定例委員総会（午後 5 時～ 6 時20分）

常任委員会で審議された議案のうち 7 議案を諮る。

来賓については、日本医師会長の出席と西島・柳田両常任理事の派遣方を依頼すること、国会議員については、武見敬三・宮崎秀樹両参議院議員に出席方の案内を出すことが了承された。

### 3. 報告

平成14年度九州医師会連合会行事予定について

平成14年 4 月13日現在で取りまとめられた九州医師会連合会と各種関連行事予定表が配布され、第102回九州医師会総会・医学会等を来る11月15日(金)から17日(日)にかけて開催する予定との説明があり、了承された。正式には定例委員総会で決定される。

### 4. その他

日医代議員会の改革、日医代議員の選出について、熱心に意見の交換があった。

出席者 - 秦会長、日高局長

## 日医 FAX ニュースから

### 非医師の理事長就任 都道府県知事の裁量に — 厚労省が要件緩和を通知 —

厚生労働省医政局は 4 月10日までに、医療法人の理事長要件の緩和などに関する局長通知を都道府県知事に送付した。特定医療法人や特別医療法人など 4 法人を除く医療法人の理事長要件について、都道府県が理事長候補者の経歴や理事会構成を審査し、都道府県知事が認可する方式に改める。原則医師・歯科医師でなければ医療法人理事長に就任できないとする現行制度を維持したまま運用面の基準を緩和する方向を示したもので、今後は都道府県の裁量によって、医師・歯科医師以外の者の医療法人理事長への就任が判断される。

そのほか通知は、特定医療法人や特別医療法人のほか、国・県から運営費補助を受けている医療法人に対し、決算概要の広報などを行うべきとする努力規定も盛り込んだ。

医療法人の理事長要件の緩和などに関する局長通知は、今年 3 月29日に閣議決定された「規制改革推進 3 か年計画（改訂）」と厚労省の「これからの医業経営の在り方に関する検討会中間報告書」を踏まえたもの。

同通知によると、理事長要件が緩和される医療法人は特定医療法人、特別医療法人、地域医療支援病院を営んでいる医療法人、財団法人日本医療機能評価機構が行う病院機能評価の認定を受けた医療機関を営んでいる医療法人—の 4 法人を除く法人が対象になる。

（平成14年 4 月16日）

### マイナス改定に関する医療現場の意見を把握

— 診療側が中医協での検証要求 —

中医協（星野進保会長）は 4 月17日、4 月 1

日の診療報酬改定後初めての総会を開いた。診療側の青柳俊委員（日医副会長）は、診療報酬本体に切り込んだ今回のマイナス改定が予想以上に医療現場に混乱をもたらしている状況から、

今回の改定内容で厚生労働省に寄せられた意見・要求・抗議の内容、手術に係る必要症例数等施設基準の根拠—を中医協に示すよう要請した。これに対し星野会長は、厚労省に対する意見や抗議は次回の中医協までに事務局に整理させると言明。今回の診療報酬マイナス改定の影響にかかわるものについては、レセプトが出揃った段階で事務局から中医協に説明させることはあり得るとの見方を示した。支払側の下村健委員（健保連副会長）も、「診療報酬改定を決定した際に、各側に事務局が説明したものであるが、われわれの知らない新しい事実があるのであれば中医協で議論したい」との考えを示した。

青柳委員は冒頭、今回の診療報酬マイナス改定に対して、医療現場から予想以上の反響があることを指摘し、「スタートラインの問題として、中医協としても現場からの意見などを把握・整理しなければならない」と強調した。櫻井秀也委員（日医常任理事）も、年間症例数などの施設基準が一定目標に達していない場合に手術料の 30%を削減するとした今回の改定内容について、「先週末の外科学会に出席した外科医から、この点数設定は非常に疑問だ」との意見が出され、「なぜ日医が決めたのか」との指摘を受けていることを紹介。そのうえで、「これは中医協で決めたもので、中医協として答えるべきだ」と強調し、説明責任の必要性を説いた。

これに対し支払側の下村委員も、各側への説明は改定時に行われたとの認識を示しながらも、「必要があれば、医師会に対し十分な説明をしてほしい」と応じた。いずれにしても改定の内容については中医協で再検証が求められることになりそうだ。（平成14年 4 月23日）

## 中医協委員に青柳・日医副会長

中医協は4月17日に総会を開き、総会・各種小委員会、専門部会の委員名簿を公表した。診療側委員の新任は、青柳俊（日医副会長）、青井禮子（同常任理事）、佐々英達（日医、全日本病院協会会長）の3氏。公益委員として、土田武史早稲田大学商学部教授が加わった。なお、診療側委員の糸氏英吉日医副会長、横倉義武福岡県医師会専務理事、木村佑介東京都医師会理事の3氏と、公益委員の森脇昭夫地球環境戦略機関理事長は退任した。

【中医協委員名簿】（4月16日現在）

【支払側委員】富岡悟（社会保険庁運営部長）  
▷下村健（健保連副会長）▷加藤勝敏（日本化学産業労働組合連盟中央執行委員長）▷吉高弘（日本化学・サービス・一般労働組合連合副会長）▷若杉史夫（日本経営者団体連盟社会保障特別委員会副委員長）▷大内教正（全日本海員組合中央執行委員）▷今井恒嘉（日本郵船顧問）▷富塚陽一（山形県国保連合会理事）

【診療側委員】青柳俊（日医副会長）▷櫻井秀也（日医常任理事）▷菅谷忍（日医常任理事）▷青井禮子（日医常任理事）▷佐々英達（日医、全日本病院協会会長）▷平井泰行（日本歯科医師会常務理事）▷響田雄一郎（福島県歯科医師会会長）▷漆畑稔（日本薬剤師会常務理事）

【公益委員】飯野靖四（慶応義塾大学経済学部教授）▷星野進保（総合研究開発機構特別研究員）▷村田幸子（日本放送協会解説委員）▷土田武史（早稲田大学商学部教授）

【専門委員】関根重男（岩手県種市町町長）▷上田慶二（東京都多摩老人医療センター名誉院長）▷八代光夫（武田薬品工業常務取締役）▷奥田秀毅（塩野義製薬取締役業務部長）▷内匠屋理（クラヤ三省堂取締役副社長）▷渡辺悦男（旭メディカル顧問）▷田中凡實（田中三誠堂代表取締役社長）▷廣瀬光雄（ジョンソンエン

ドジョンソンデベロップメントコーポレーション日本代表）は会長

（平成14年4月23日）

## 病院・有床診に医療事故の

### 「院内報告制度」

#### — 厚労省が10月1日から義務化 —

厚生労働省の医療安全対策検討会議（座長＝森亘・日本医学会会長）は4月17日、国や医療機関、製薬企業などが講じるべき医療事故予防策を総合的に盛り込んだ、初の「医療安全推進総合対策」をまとめた。すべての病院と有床診療所に医療事故の院内報告制度や安全管理委員会の設置を義務づけるとともに、特定機能病院や臨床研修病院には「医療安全管理者」や患者相談窓口の設置も義務づける。2次医療圏と都道府県ごとに苦情相談体制を整える方針も打ち出した。厚労省はこれを受け、院内報告制度などの義務化は10月1日、特定機能病院・臨床研修病院関連は来年4月1日から実施する方針で、今後、必要な省令改正を行う。

国によるヒヤリ・ハット事例の収集・分析については、対象を現在の特定機能病院と国立病院・療養所から全医療機関に拡充する方向性を示した。公的な苦情相談体制としては、2次医療圏ごとの相談窓口のほか、医師や法律家など第3者を含めた「医療安全相談センター（仮称）」を全都道府県に整備する方針を示した。教育・研修の問題では医療関係職種の国家試験で医療安全の項目を拡充するとともに、必修化する医師・歯科医師の卒後研修プログラムにも医療安全の研修目標を設定するよう促した。名称・外観の似た医薬品への対応では、製薬企業の安全確保の責務を明記するとともに、国としても類似性のある医薬品のデータベース開発などに乗り出す方向を提示。医療機関にも使用薬剤数を絞り込む必要性を説いた。

（平成14年4月23日）

## 医 事 紛 争 情 報

— メディファクスより転載 —

### ■ 帝王切開時のガーゼ置き忘れて賠償命令

帝王切開手術の際に医師が体内にガーゼを置き忘れたため再手術を余儀なくされたなどとして、福岡県行橋市の女性（34）が同市の産婦人科医院に約1700万円の損害賠償を求めた訴訟の判決で、福岡地裁行橋支部の森岡孝介裁判官は21日までに、病院側の過失を認め約450万円の支払いを命じた。

判決によると、女性は1999年7月に同医院で帝王切開により出産。腹痛が続くなどし、同年10月に北九州市の病院で開腹手術を受けたところ、手術用のガーゼが残っていることが判明、除去された。腹部に約20cmの手術痕が残ったうえ、体調が優れない状況が続き、女性側は「担当医師として当然要求される注意義務を怠った初歩的な過失」と主張していた。

### ■ 胆のう摘出術後の止血処置の判断ミスとして3400万円の賠償

熊本大病院で、胆のうの摘出手術を受けた熊本県矢部町の女性（当時66）が、術後に死亡したのは病院の判断ミスが原因として、遺族4人が国に対し計約5300万円の損害賠償を求めた訴訟の判決で、熊本地裁は21日、国に約3400万円の賠償を命じた。判決理由で、永松健幹裁判長は手術後の出血に対する処置について、「早急に開腹して止血手術を実施すべきだった」などとして、医師の注意義務違反を認定した。

女性は1998年5月、同病院で胆のうの摘出手術を受けた。その後、腹部内で出血がみられたため、3回にわたり止血手術を受けたが、同月17日に出血性ショックで死亡した。

同病院の生塩之敬病院長は判決について「主張が認められず残念だ。判決内容を検討し、関係機関と協議したうえで対応したい」としている。

### ■ 術後管理が不十分として3100万円で和解

神奈川県大和市の市立病院で手術を受けた直後、意識不明になったのは、術後管理が不十分だったのが原因として、同市内の女性患者（当時67）の遺族が大和市に損害賠償を求めた訴訟で、大和市は25日、遺族に和解金3100万円を支払うことを決めた。記者会見した大宮東生院長は「女性には神経系疾患があり、手術前から呼吸が不安定だった。手術に問題があったとは思わないが、術後管理が完べきだったとは言えない」と話した。

訴えによると、女性は1996年5月、自宅で転倒し右大腿骨を骨折。病院側は全身麻酔をかけて手術した。ところがその翌日、心臓が停止しているのを巡回した看護婦が発見、蘇生措置で一命を取り留めたが、意識は戻らなかった。遺族は99年12月、横浜地裁に提訴。その後の2000年7月、女性は転院先の病院で死亡した。

### ■ 食道静脈瘤の検査を怠ったとして賠償命令

兵庫県西宮市の建設業の男性（当時59）が食道静脈瘤が進行して死亡したのは、通院時に検査を怠った県立西宮病院の医師の検査義務違反などが原因だとして、男性の妻（58）らが県に約6100万円の慰謝料などを求めた訴訟の判決が2月28日、神戸地裁尼崎支部であり、高山浩平裁判長は訴えを一部認め、計約780万円の支払いを命じた。

判決理由で、高山裁判長は「男性は受診回数が少なかったが、通院時に食道静脈瘤の内視鏡検査は可能だった」と訴えを認めたが、「病状は進行しており、検査をしても、余命は半年ぐらいだったと推定される」とした。判決によると、男性は1994年4月、同病院の検査で食道静脈瘤が認められ、98年3月、肝不全で亡くなった。

## ■ 子宮筋腫術後の肺梗塞に治療ミスを認め9000万円で和解

広島通信病院（広島市）で子宮筋腫の手術を受けた後、植物状態になったのは手術後の治療ミスが原因として、広島市安佐南区の看護婦（55）と息子2人が、病院を経営する国を相手に医療費や慰謝料など計1億4500万円の支払いを求めた訴訟は13日までに、国側が9000万円を支払うことなどを条件に、広島地裁（矢延正平裁判長）で和解した。

訴状によると、この女性は1993年3月、同病院の産婦人科で子宮筋腫の手術を受けた。翌日以降、せきや背中に痛みなどが続き、7日目の朝、肺に血が詰まる肺梗塞を起こし呼吸が停止、そのまま植物状態になった。現在も他の病院に入院しているが、回復の見込みはないという。女性側は、出血予防のため手術後に投与された薬剤が女性には不適切な処方だったほか、肺梗塞特有の症状が見られたのに必要な措置を取らなかったのは重大な過失、と主張していた。

同病院の湊武院長は「裁判所から和解勧告を受け、現時点では双方とも和解による解決が望ましいと判断した。原告の現状に対しては大変気の毒に思っている」と話した。

## ■ 急性喉頭蓋炎の診断・治療ミスとして2億円の支払い命令

国立成育医療センター（旧国立大蔵病院、東京都世田谷区）の診断ミスで寝たきりになったとして、京葉銀行（千葉市）行員の森尾陽二さん（55）と家族が国に損害賠償を求めた訴訟の判決で、東京地裁は13日、ほぼ請求通り約2億500万円の支払いを命じた。

判決理由で井上哲男裁判長は「医師は生命に危険を及ぼす急性喉頭蓋炎だと診断できたはずなのに適切な措置を取らず、経過観察もしなかった過失があった」と述べた。

判決によると、森尾さんは1997年8月、のどの痛みを感じて近くの病院を訪ねたが、症状が改善しないため翌日に大蔵病院で診察を受けた。医師は「のどが少し炎症を起こしているが大したことはない」と消炎剤を塗り、飲み薬を処方しただけだった。

帰宅後にのどの痛みはさらに激しくなり、呼吸困難で救急病院に運ばれた。一命は取り留めたが、寝たきりの状態となり、現在も続いている。

判決について国立成育医療センターは「判決内容を検討し、関係機関と協議して控訴するかどうか決めたい」としている。

## ■ 排卵誘発剤投与後の脳血栓に対し説明義務違反

不妊治療で排卵誘発剤を使った結果、脳血栓で左半身まひの後遺症になったとして、秋田県鹿角市の女性（40）が、秋田大付属病院を管理する国に計約9600万円の損害賠償を求めた訴訟で、秋田地裁（菊池章裁判長）は15日、国に330万円の支払いを命じる判決を言い渡した。菊池裁判長は「誘発剤の副作用で血液が凝固し、脳血栓が起こった」と因果関係を認定。そのうえで「誘発剤の使用を自分の意思で決めるため、脳血栓発症の可能性などを説明すべきだった」として、病院側の説明義務違反などで精神的苦痛を受けたとして慰謝料を認めた。

判決によると、女性は1992年6月、体外受精をするため同病院で数回、排卵誘発剤を使用し、腹水がたまり、吐き気などを訴えた。その後、脳血栓と診断され手術をしたが、まひが残った。

判決では、病院側に脳血栓を予測し、予防する義務があったとする原告側の訴えについて「症状が一時落ち着き、腹水による痛みも副作用の症状として予想できる範囲内で、脳血栓は予測できなかった」として退けた。

## 薬事情報センターだより (181)

### 分子標的治療薬

最近、分子標的治療薬と呼ばれる一群の薬剤が抗がん剤開発の主流となり、注目されています。これは近年の分子生物学の急速な進歩により、がん増殖メカニズムの遺伝子レベルでの解明が進み、がん細胞の増殖、浸潤、転移などに関連する因子が明らかになってきたためです。これらの因子に的を絞って攻撃をする薬物が分子標的治療薬です。

これまでの抗がん剤の多くは細胞内の様々な代謝経路を攻撃することで細胞毒性を発揮し、抗がん作用を発揮していました。しかし、これらはがん細胞だけを選択的に攻撃するわけではなく、正常細胞をも攻撃するため、さまざまな副作用が発現しました。そのため、抗がん剤の用量は副作用が容認できる上限近くに設定されていることが多く、治療域と中毒域が接近していました。この点、分子標的治療薬はがん細胞に特有の部分に的を絞って攻撃をするため、正常細胞に与える影響が少なく、副作用も少なくできるのではないかと期待されています。また、作用方法も細胞毒性よりも腫瘍拡大抑止効果が主であるという特徴があります。さらに、これまでの抗がん剤が様々な物質をランダムに検索し、抗がん作用が認められる物質を医薬品として開発していたのに対して、分子標的治療薬は開発当初から特定の因子に作用するように設計・開発されるもので、開発効率の向上も期待されています。

昨年、わが国において初めての分子標的タイプの抗がん剤として発売されたのが、乳がん治療薬であるトラスツズマブ（ハーセプチン）で

す。これは、HER 受容体に対するモノクローナル抗体で、HER 受容体に結合することで効果を発揮します。したがって、乳がんの中でも HER2 というたんぱく質を過剰に発現させる転移性乳がんに対してのみ使用できるものです。次に、発売されたのが慢性骨髄性白血病治療薬であるイマニチブ（グリベック）です。これは、慢性骨髄性白血病患者の約90%にみられる異常遺伝子である bcr-abl のチロシンキナーゼを阻害することにより効果を発揮します。また、EGF 受容体に結合することで、抗腫瘍作用を発揮する非小細胞肺癌治療薬であるイレッサの発売が近いといわれています。その後も分子標的タイプの抗がん剤の発売が続くものと考えられています。

まだ、現状では、これらの薬が期待通りの効果が高く、副作用の少ない治療薬としての地位を確立しているわけではありませんが、今後、このタイプの抗がん剤に対する多くの治験や市販後の使用を通じて、従来の抗がん剤と分子標的治療薬との対比だけでなく、分子標的治療薬同士での対比も可能となり、より効果が高く、副作用の少ない抗がん剤が開発され、使用できるようになる日が早期に現実のものとなることが期待されます。

参考) ハーセプチン注射用 150インタビュー  
フォーム

グリベックカプセル100mg インタビ  
ューフォーム

肺癌治療薬 医療ジャーナル38(S - 1),  
245-249.2002

## 医師協同組合だより

### 医師賠償責任保険改定（平成14年 4 月 1 日実施）

新しく療養病床（今までは一般病床）が新設されました。

宮崎県医師会の実施時期は 8 月 1 日（保険始期）からとなります。

	医 賠 契 約 区 分	現行保険料	改定保険料
1	日医 A 会員の一人医師医療法人診療所( 医師賠償100万円までと施設賠償1億円まで)	6,896円	6,896円
	日医 A 会員の一人医師医療法人診療所で保険未加入の先生も担保する場合（医師・施設賠償とも 1 億円まで）	41,544円	61,872円
2	日医 A 会員の個人診療所の契約( 医師賠償100万円までと施設賠償 1 億円まで)	6,896円	6,896円
3	医療法人の病院の契約（医師・施設賠償とも1億円まで） 99床以下		
	一 般 病 床（12,712×ベッド数）	12,712円	12,712円
	（新設）療 養 病 床（10,248×ベッド数）	12,712円	10,248円
	精 神 病 床（ 645×ベッド数）	645円	645円
	結核伝染病床（ 259×ベッド数）	259円	259円
	100床以上		
	一 般 病 床（15,792×ベッド数）	12,712円	15,792円
	（新設）療 養 病 床（10,248×ベッド数）	12,712円	10,248円
4	日医 A 会員の個人病院の契約( 医師賠償100万円までと施設賠償 1 億円まで) 99床以下		
	一 般 病 床（2,208×ベッド数）	2,208円	2,208円
	（新設）療 養 病 床（1,848×ベッド数）	2,208円	1,848円
	精 神 病 床（ 573×ベッド数）	573円	573円
	結核伝染病床（ 148×ベッド数）	148円	148円
	100床以上		
	一 般 病 床（2,664×ベッド数）	2,208円	2,664円
	（新設）療 養 病 床（1,848×ベッド数）	2,208円	1,848円
5	日医 B 会員の勤務医契約（医師賠償 1 億円まで）	40,664円	40,664円
	日医 A 会員の勤務医契約（医師賠償100万円まで）	6,016円	6,016円
7	老人保健施設の契約（医師・施設賠償とも 1 億円まで） （ 259×ベッド数）	259円	259円

## 医師国保組合だより

平成13年度宮崎県医師国民健康保険組合  
第86回通常組合会議事録

## (公 示)

宮崎県医師国民健康保険組合は、平成14年 3 月12日第86回通常組合会を開催し、下記議事録のとおり平成14年度事業計画・予算等承認され、3 月20日宮崎県知事宛に提出しましたのでここに公示します。

## 1. 開催日時 平成14年 3 月12日(火)

18:30~19:10

## 2. 開催場所 宮崎県医師会館 4 階研修室

## 3. 出席議員

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 1. 猪島 康公  | 14. 瀧田 義次 |
| 3. 下村 雅伯  | 16. 石井 芳満 |
| 4. 川島謙一郎  | 17. 甲斐 允雄 |
| 5. 永吉 洋次  | 19. 赤須 正道 |
| 6. 内田 攻   | 20. 日高 隆徳 |
| 7. 元村 祐三  | 22. 黒木 俊男 |
| 8. 日高 知昭  | 26. 堀 英晴  |
| 9. 佐藤 雄一  | 27. 宮崎 裕三 |
| 10. 皆内 康広 | 29. 後藤 幸一 |
| 11. 福永 隆幸 | 30. 上山征史郎 |

議員定数 30名

出席議員 20名

## 4. 出席理事 7 名

- |       |         |
|-------|---------|
| 理 事 長 | 秦 喜八郎   |
| 副理事長  | 大 坪 睦 郎 |
| 副理事長  | 志 多 武 彦 |
| 理 事   | 西 村 篤 乃 |
| "     | 早稲田 芳 男 |
| "     | 河 野 雅 行 |
| "     | 小 玉 徳 信 |

## 5. 出席監事 2 名

監 事 井ノ口 寛

" 柳 田 琢 也

## 6. 次 第

## (1) 議長開会宣言

## (2) 理事長挨拶

## (3) 議 事

議案第 1 号 平成14年度事業計画(案)につ  
いて

提案理由 平成14年度の事業は、別紙の事業  
計画案により実施したいので組合会の認定  
を求めます。

議案第 2 号 平成14年度歳入歳出予算(案)  
について

提案理由 国民健康保険法第27条第 1 項第 3  
号の規定に基づき組合会の議決を求めます。

## (4) 役員改選 理事及び監事

## (5) 次期理事長挨拶

## (6) 協議・その他

## (7) 理事長謝辞

## (8) 議長閉会宣言

## 議事の状況

## 開 会

事務長 ご案内申し上げます。定刻になりました

たので、第86回通常組合会を開会させていただきます。なお、本日は議長の瀬ノ口先生が都合によりご欠席のために副議長の猪島先生に議長を務めていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

#### 1. 議長開会宣言

議長 皆様、今晚は。

組合会議員の先生方には、ご多忙の中ご出席いただきありがとうございます。

本日は瀬ノ口先生が都合により欠席とのことでございますので私（猪島）が務めますのでご協力の程よろしくお願いいたします。

組合会議員の定数は30名、現在の出席議員数は20名で法定数の二分の一以上ですから、国民健康保険法施行令第13条の規定に基づき組合会は成立いたしましたので、只今から第86回通常組合会を開会いたします。

#### 2. 理事長挨拶

議長 それでは、ここで理事長のご挨拶をお願いいたします。

理事長 診療でお疲れのところお集まりいただきありがとうございます。先生方のお手元には社会保険診療報酬の改定案が届いたことと思います。中医協においては、2月20日に諮問を受け、即日答申という異例な形で決着されております。その中で、入院は長期入院患者は特定療養費払いとなり、外来では再診療の月内逓減制の採用（2～3回74点・4回目以降37点）になるなど最悪の結果であります。

そこで、日本医師会の菅谷常任理事に3月9日宮崎までおいでいただき今回の診療報酬について解説していただきましたが、「平均的な診療を行えば1.3%しか報酬は下らない」という説明でありました。

次に、10月からの高齢者医療制度の改正であります。70歳以上の医療費1割負担ですが、夫婦2人世帯、630万円程度以上の所得にな

れば2割負担となり、これも受診抑制につながるようになります。

又、平成15年度から政管健保の3割負担が実施されますがこれも受診抑制につながるわけであります。いずれにしましても医療機関にとっては、益々厳しい状況になるわけです。私共といたしましては、医療費について日医に対し氣勢をもっとあげて行くべきだと考えております。

本日はよろしくお願いいたします。

議長 理事長のご挨拶が終わりました。

それでは、会次第に従って組合会を進めさせていただきます。

#### 3. 報告

議長 まず、3の報告の会務報告と業務報告について、併せて理事者から報告してください。

志多副理事長 資料に基づき詳細に説明。

議長 続いて監査報告を監事をお願いいたします。

柳田監事 監査報告。

議長 それでは報告について質問はありませんか。

質問がないようですから、次の議事にはいます。

#### 4. 議事

議長 それでは議案第1号を上程いたします。

議案第1号を事務長に朗読させます。

事務長 議案第1号 平成14年度事業報告について提案理由も朗読。

議長 執行部の説明をお願いします。

志多副理事長 議案書を詳細に説明。

議長 本案についてご質問はありませんか。

議員一同 質問なし

議長 質問がないようですから、採決いたします。

議案第1号「平成14年度事業計画について」

を承認することに賛成の方は、挙手をお願いします。

議員一同 全員挙手

議長 挙手全員。よって本案は可決承認されました。

次に、議案第 2 号を事務長に朗読させます。

事務長 議案第 2 号 平成14年度歳入歳出予算について提案理由も朗読。

議長 執行部の説明をお願いします。

志多副理事長 議案書を詳細に説明。

議長 本案についてご質問はありませんか。

議員一同 質問なし

議長 質問がないようですから、採決いたします。

議案第 2 号「平成14年度歳入歳出予算について」を承認することに賛成の方は挙手をお願いします。

議員一同 全員挙手

議長 挙手全員。よって議案第 2 号は可決承認されました。

#### 5. 役員選挙

議長 次は役員選挙であります。組合会議員の任期は 2 年であります。この 3 月末で任期が満了いたしますので、選任する必要がありますが、役員について、事務長から関係条文を朗読させます。

事務長 組合規約第15条 組合に理事15名・監事 2 名を置き、その任期は 2 箇年とし、組合会に於いて組合員中よりこれを選任する。理事の中 1 名を理事長、2 名を副理事長、1 名を常務理事とする。理事長、副理事長及び常務理事は理事会に於いて互選する。

議長 只今事務長が朗読いたしましたように、この組合会において理事及び監事を選任しなければなりません、その方法は、如何いたしましょうか。

従来からの慣例によれば、組合員である宮

崎県医師会の理事が当組合の理事となっており、又監事は関係医師会から推薦を得ているようではありますが、今回もそのように取り計らって差し支えありませんか。

ご異議がないようですから、事務局に理事及び監事の候補者氏名を掲示させます。

(事務局 氏名掲示)

理事長 秦 喜八郎

理事 大坪 睦郎

〃 志多 武彦

〃 高橋 政見

〃 小玉 徳信

〃 早稲田 芳男

〃 西村 篤乃

〃 河野 雅行

監事 井ノ口 寛

〃 柳田 琢也

只今掲示いたしました 8 名の先生を理事に、2 名の先生を監事にそれぞれ選任することに賛成の方は挙手をお願いいたします。

議員一同 全員挙手

議長 賛成全員。よって理事及び監事は、掲示氏名のとおり決定いたしました。

なお、理事長には県医師会長が、2 名の副理事長には副会長がそれぞれ就任される予定となっております。又、常務理事は後日理事会において互選されることになっております。

#### 6. 次期理事長挨拶

議長 次は次期理事長挨拶となっておりますが、協議・その他が終わった後に理事長の謝辞と一緒にお受けしたいと思います。

#### 7. 協議・その他

議長 次は協議・その他となっておりますが、理事者側から何かありますか。組合会議員の先生方もございませんか。

19番議員 資料の17ページですが、生活習慣病の予防健診の目標値を30%にするとあります

が具体的にはどんなやり方をされるんでしょうか。

議 長 執行部から答弁をお願いします。

志多副理事長 昨年度の生活習慣病，いわゆる健康診断の受診率は15%程度であり非常に低い数字だと思っております。

組合の本来の目的である被保険者の健康管理について考えた場合，理事長の意向もありますが，努力目標として受診率30%を掲げたわけであります。なお，組合員の利便性を考え，たとえば，宮崎市郡医師会の成人病検診センターでは，年6回日曜日に健診できる体制をとっていただいております。更に，この健診だけは，自家診療も，更にはご近所での医療機関の利用も可能ですので，是非健診をお受けいただきたいと思います。

議 長 19番議員よろしいでしょうか。

その他ご質問はありませんか。

議員一同 質問なし

#### 8．理事長謝辞

議 長 それでは理事長の謝辞をお願いいたします。

理事長 平成14年度の問題として二つの点をお願いいたしておきます。まず，一つ目は赤須議員のご質問にありましたが，乳がん検診，子宮がん検診でも受診率が30%を超えると死

亡率が下がると言われております。健診だけは，自家診療を認めているわけでありますので是非とも受診され請求していただきたい。もう一つは，本組合での平成14年度予算の中で，保険料が約3億円，国庫補助金が9千万円ですが10割給付，9割給付の組合には国からの補助金はやらないという方針であります。であれば，最低2割負担を考えねばなりません。

現在，老健拠出金が約1億円，国庫補助金9千万円を得るためにはやはり2割負担にした方がいいのではなかろうかと思っております。今後，組合会議員の先生を交え，委員会を作り検討していただきたいと考えております。

本日はどうもありがとうございました。

#### 9．議長閉会宣言

議 長 以上で本日の組合会の日程は全部終了しました。

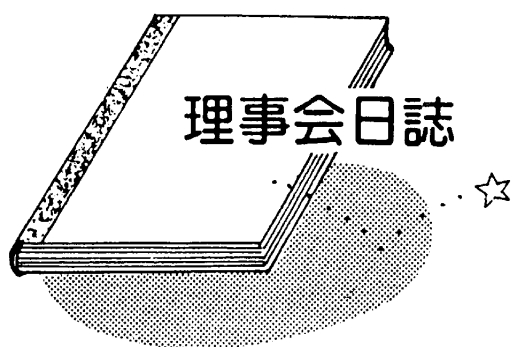
これをもって閉会といたします。

みなさんご苦労さまでした。

以 上

平成14年 3 月12日

組合会議長 猪 島 康 公



平成14年 3 月26日(火) 第23回全理事会

医師会関係

( 議決事項 )

- 1 . 社会保険診療報酬の所得計算の特別措置  
(いわゆる四段階制)の利用状況の調査依頼について

今後の税制要望の資料とするため調査が行われる。

協力することに決定した。

- 2 . 県社会福祉事業団評議員の推薦について  
平成14年度から評議員会が設置される。  
河野常任理事の推薦が決定した。
- 3 . 平成14年度「看護の日」記念宮崎県知事表彰の推薦依頼について  
各郡市医師会から推薦のあった候補者  
4 名を推薦することに決定した。
- 4 . 宮崎県社会福祉協議会ホームページ「高齢  
者介護・福祉サービス情報」における情報  
公開及びこれからの取り組みについて  
協力していくことが承認された。  
情報は、平成14年 3 月29日から一般に公  
開される。

- 5 . 乳幼児すこやか健康管理事業について  
協力することが承認された。  
許可外保育施設において、入所児童の健  
康診断を行う際に要する経費が助成される。  
実施主体は市町村。

( 報告事項 )

- 1 . 週間報告について

- 2 . 3 /22(金) ( 清武町文化会館 ) 平成13年度宮崎  
医科大学卒業証書・学位記授与式について
- 3 . 3 /25(月) ( ホテルプラザ宮崎 ) 県リハビリテー  
ション協議会について
- 4 . 3 /26(火) ( 県福祉総合センター ) 県社会福祉  
協議会理事会について
- 5 . 3 /26(火) ( 県総合保健センター ) 県腎臓バン  
ク理事会について
- 6 . 3 /26(火) ( 県総合保健センター ) 県健康づく  
り協会理事会について
- 7 . 3 /20(水) ( 国保連合会 ) 県介護保険苦情処理  
協議会について
- 8 . 3 /25(月) ( 県総合保健センター ) 平成13年度  
第 2 回県健康づくり協会評議員会について
- 9 . 3 /20(水) ( 宮崎市郡医師会館 ) 宮崎中部地域  
産業保健センター運営協議会について
- 10 . 3 /22(金) ( 県企業局 ) 県医療審議会医療法人  
等部会について
- 11 . 3 /23(土) ( 県医 ) 第 4 回勤務医部会理事会に  
ついて
- 12 . 3 /23(土) ( 県医 ) 勤務医部会講演会について
- 13 . 3 /22(金) ( 県企業局 ) 県感染症対策審議会に  
ついて
- 14 . 3 /22(金) ( 県医 ) 会館建設検討委員会につ  
いて  
35ページ参照
- 15 . 異状死届け出に関するアンケート調査協力  
のお願いについて
- 16 . 3 /22(金) ( 県医 ) 平成13年度第 2 回ホスピス  
マインド育成・普及事業 末期医療対策研  
修会について
- 17 . 3 /25(月) ( 県企業局 ) 宮崎県における臓器搬  
送マニュアル会議について
- 18 . 3 /25(月) ( 県医 ) 広域災害・救急医療情報シ  
ステム現地調査について
- 19 . 3 /25(月) ( 自治会館 ) 平成13年度第 3 回県環  
境審議会について
- 20 . 3 /25(月) ( 県医 ) 健康スポーツ医学委員会答  
申について
- 21 . 3 /26(火) ( ホテルプラザ宮崎 ) 県身体拘束ゼ

## 口作戦推進会議について

## 医師国保組合関係

## (報告事項)

## 1. 3/12(火)(県医)第86回通常組合会について

## 医師協同組合・エムエムエスシー関係

## (協議事項)

## 1. 組合員新規加入承認について

申請のあった1件について承認された。

## (報告事項)

## 1. 3/26(火) 医協運営委員会について

平成14年 4 月 8 日(月) 第1回全理事会

## 医師会関係

## (議決事項)

## 1. 平成14年 4 月診療報酬改定に伴う減額調査について

本年 4 月 1 日実施された診療報酬減額改定について、会員から大きな不満・不安の声があがっている。そこで、診療科別に今回の診療報酬改定で、どの位の減額になるのかを調べて、そのデータに基づいて日本医師会及び厚生労働省に早期の是正を要求する必要がある。できれば本年度中に、遅くとも来年に予定されている介護保険報酬改定に合わせて是正を要求したい。

については、3 月分の診療報酬でシュミレーションして正確なデータを把握したい。協力していただける医療機関の 3 月分の診療報酬請求書(社保、及び国保)をコピーして県医師会まで送っていただき、分析することを決定した。

## 2. 平成14年度本会事業計画及び予算について

事業計画及び予算(一般会計・福祉特別会計・会館管理特別会計等)について検討された。

平成14年 4 月 9 日(火) 第2回全理事会

## 医師会関係

## (議決事項)

## 1. 4/27(土)(県医)第130回本会定例代議員会

## の開催について

次第及び役員の役割分担が決定した。

## 2. 日本医師会予備代議員補欠選挙について

本会の日医予備代議員に選出された柳田喜美子先生(都城市北諸県郡医師会長)が日医常任理事に就任の為、同予備代議員を辞任。

4 月27日(土)県医師会館において開催する第130回本会定例代議員会の際に、標記選挙を実施することと、各都市医師会長及び各代議員へ通知することが承認された。

## 3. 平成14年度 本会事業計画・予算について

標記事業計画・予算(一般会計・福祉特別会計・会館管理特別会計)が承認された。

なお、各種委員会については、小委員会を開催し、検討することになった。

## 4. 5/14(火)(宮崎観光ホテル)宮崎医科大学教授と宮崎県医師会役員等との懇談会開催について

標記懇談会の開催と役員の役割分担が決定した。

## 5. 九州医師会連合会常任委員並びに委員について

九医連会則により、常任委員1名(会長)及び委員7名(日医代議員、議長、理事3名)を選任した。

## 6. 社保審査委員の代表区分変更について

専任審査員1名の増員に伴い、学識経験者と診療担当者代表の区分変更について、承認された。

## 7. 5/8(水)(宮崎医科大学)新研修医のオリエンテーションの実施に伴う講師派遣依頼について

志多副会長の派遣を承認。

## 8. 宮崎県重症難病患者入院施設確保事業における難病医療連絡協議会委員の推薦依頼について

標記委員(2名)については、本人の意向を確認のうえ推薦することに決定した。

## 9. 九州保健福祉大学 薬学部の実習施設の協

力依頼について

学外実習について協力することが承認された。

なお、九州保健福祉大学から関係医療機関へ依頼がある。

#### 10. 理事室補助テーブルについて

補助テーブルの新設について、承認された。

#### 11. 互助会定期預金について

満期更新 4 件が承認された。

#### 12. その他

宮崎健康福祉ネットワーク協議会（はにわネット協議会）（仮称）の参加について承認された。

5 月行事予定について

5 月行事について検討された。

備品（ロッカー・カギ付き）購入について

購入について承認。

（報告事項）

##### 1. 週間報告について

##### 2. 宮崎県産婦人科医会役員の変更について

##### 3. 宮崎県小児科医会長交代について

##### 4. 3/28(木)（みやざき厚生年金会館）社会保険集团的個別指導について

##### 5. 4/5(金)（県医）各専門分科医会長会について

42ページ参照

##### 6. 3/27(水)（支払基金）支払基金幹事会について

##### 7. 3/28(木)（産業保健推進センター）産業保健推進センター運営協議会について

##### 8. 3/29(金)（県医）県アイバンク協会理事会について

##### 9. 4/4(木)（宮観ホテル）宮崎医科大学 高濱教授の定年退官祝賀会について

#### 10. 4/5(金)（県庁）胃検診車贈呈式について

#### 11. 3/27(水)（県庁）県広域災害救急医療情報システム運営委員会について

#### 12. 3/27(水)（県医）広報委員会について

#### 13. 3/27(水)（県医）労災診療指導員委員会について

#### 14. 3/29(金)（県福祉総合センター）県社会福祉協議会運営適正化委員会運営監視部会について

#### 15. 4/1(月)～2(火)（日医）第106回日本医師会定例代議員会・第60回同定例総会について

#### 16. 3/28(木)（ホテルプラザ宮崎）県健康づくり対策推進協議会について

#### 17. 日医総研「医療安全推進者ネットワーク」役員等について

#### 18. 3/28(木)（県福祉総合センター）県地域福祉権利擁護事業契約締結審査会について

#### 19. 3/28(木)（メリージュ）臨床検査精度管理調査報告会について

#### 20. 3/29(金)（ホテルプラザ宮崎）県高齢者サービス総合調整推進会議・寝たきり予防推進本部会議について

#### 21. 3/29(金)（県医）地域リハビリテーション研修会について

医師連盟関係

（協議事項）

#### 1. 4/27(土)（県医）本連盟執行委員会の開催について

次第及び役員の役割分担が決定した。

#### 2. 日本医師連盟執行委員の推薦について 秦委員長、志多副委員長の2名の推薦を決定した。

医師国保組合関係

（協議事項）

#### 1. 保険料減免申請（更新）について 更新の1件について、承認された。

#### 2. 傷病手当金支給申請について 申請1件について、承認された。

平成14年4月16日(火) 第3回全理事会

医師会関係

（議決事項）

#### 1. 5/14(火)（東京）日本医師会役員就任披露パーティー開催案内について

秦会長は本会主催行事のため代理として、志多副会長及び早稲田常任理事の出席が決定した。

2. 5/28(火)(日医)平成14年度第1回都道府県医師会長協議会について

秦会長が出席。この協議会を受けて、平成14年度第1回県内各都市医師会長協議会を6月4日(火)に開催することに決定した。

3. 6/6(木)(日医)日本医学会百周年記念式典・シンポジウム並びにレセプションの案内について

秦会長の出席を決定した。

4. 宮崎県小児慢性特定疾患対策協議会委員の推薦依頼について

前委員(2名)を、本人の意向を確認のうえ、推薦することに決定した。

5. 宮崎県准看護師試験委員の推薦依頼について

委員として、3名の推薦を決定した。

6. 第52回“社会を明るくする運動”宮崎県実施委員会委員就任及び同実施委員会出席依頼について

秦会長の委員就任推薦を決定。

7. 日本体育・学校健康センター宮崎県支部業務運営委員会委員の推薦依頼について

前委員(4名)について、本人の意向を確認のうえ、推薦することに決定した。

8. 平成14年度県立学校職員の定期健康診断に係る検診業務の契約について

委託契約の締結が、承認された。

9. 「九州医師会連合会学校医会・評議員」の選出方について

秦会長、大坪副会長、浜田理事の選出を決定。

10. 九州医師会連合会監事候補者の推薦について

志多副会長の推薦を決定した。

11. 日本医師会各種委員会委員の推薦について  
委員として、3名を順位をつけて推薦を

決定した。

12. 5/18(土)(県医)ドライケミストリーに関する勉強会開催について

昨年実した本会精度管理調査を踏まえて、標記勉強会を開催することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 宮崎県医師会会員数(平成14年4月1日現在)について

3. 日本医師会予備代議員の補欠選挙委託について

4. 4/10(水)(清武町文化会館)宮崎医科大学入学式について

5. 4/13(土)(鹿児島)第246回九医連常任委員会について

43ページ参照

6. 4/15(月)(宮観ホテル)県献血運動推進全国大会実行委員会について

7. 4/10(水)(県医)第3回本会医家芸術展第1回世話人会について

8. 優良看護職員の厚生労働大臣表彰について

9. 4/15(月)(県医)広報委員会について

10. 4/16(火)(宮観ホテル)内外情勢調査会支部懇談会について

11. 2002年度自賠責保険に係る研修会の実施について

12. 4/16(火)(ホテルメリージュ)県介護支援専門員連絡協議会理事会について

医師連盟関係

(協議事項)

1. 5/11(土)(宮崎市民文化ホール)2002大原一三代議士を囲む女性の集い開催について

秦委員長に一任された。

2. 5/14(火)(東京)日本医師連盟執行委員会並びに日本医師会役員就任披露パーティーと衆・参推薦議員との懇談会開催について

志多副委員長、早稲田常任執行委員の出席が決定した

## 県 医 の 動 き

( 4 月 )

- 1 本県選出国会議員との懇談会 ( 東京 )  
( 会長他 )  
県産婦人科医会新旧役員事務引継ぎ会  
( 西村常任理事 )
- 1 ~ 2 日医定例代議員会・定例総会 ( 日医 )  
( 会長他 )
- 4 高濱教授の定年退官祝賀会 ( 会長 )
- 5 胃検診車贈呈式 ( 会長 )  
各専門分科医会長会 ( 会長他 )
- 6 産業医研修会 ( 日向 )
- 7 全医協連広報部会 ( 東京 ) ( 西村常任理事 )
- 8 介護保険委員会答申 ( 会長他 )  
第 1 回全理事会 ( 会長他 )
- 9 役職員懇談会 ( 会長他 )  
第 2 回全理事会 ( 会長他 )
- 10 宮医大入学式 ( 会長 )  
医家芸術展世話人会 ( 会長他 )
- 11 宮崎政経懇話会 ( 稲倉常任理事 )
- 12 労働安全衛生コンサルタント会宮崎支部  
総会
- 13 九医連常任委員会 ( 鹿児島 ) ( 会長 )
- 15 県献血運動推進全国大会実行委員会 ( 会長 )  
県外科医会理事会 ( 大坪副会長 )  
広報委員会 ( 富田常任理事他 )
- 16 内外情勢調査会支部懇談会  
( 早稲田常任理事 )  
県介護支援専門員連絡協議会理事会  
( 河野常任理事 )

県医連常任執行委員会 ( 会長他 )

第 3 回全理事会 ( 会長他 )

- 18 産業医研修会
- 19 N H K 宮崎放送局開局65周年のつどい  
( 濱砂常任理事 )
- 20 県産婦人科医会全理事会 ( 西村常任理事 )
- 21 全医協連理事会 ( 東京 ) ( 志多副会長 )
- 22 支払基金本部理事会 ( 東京 )  
県内科医会会計監査 ( 志多副会長 )  
県産婦人科医会常任理事会 ( 西村常任理事 )
- 23 地域保健医療計画についての話し合い  
医協運営委員会 ( 会長他 )  
第 4 回全理事会 ( 会長他 )
- 24 宮崎政策懇話会 ( 早稲田常任理事 )  
労災診療指導委員会 ( 河野常任理事 )  
支払基金幹事会 ( 会長 )  
地域福祉権利擁護事業契約締結審査会  
( 早稲田常任理事 )  
労災部会会計監査  
県産婦人科医会社保委員会  
( 西村常任理事他 )  
医学会誌編集委員会 ( 大坪副会長他 )
- 25 全国医師国保組合連合会代表者会 ( 東京 )  
( 高橋理事 )
- 26 県社会福祉協議会運営適正化委員会苦情解  
決部会 ( 大坪副会長 )  
病院部会・医療法人部会合同理事会  
( 濱砂常任理事他 )  
広報委員会 ( 富田常任理事 )
- 27 県医定例代議員会 ( 会長他 )  
県医連執行委員会 ( 会長他 )
- 30 はにわネット幹事会 ( 富田常任理事 )

## 追 悼 の こ と ば

都城市北諸県郡医師会

おお ぎ よし かず  
大 岐 良 一 先生

(大正13年 3 月 9 日生 79歳)

## 弔 辞

本日ここに、今は亡き故 大岐良一先生のご葬儀が執り行われるにあたり、都城市北諸県郡医師会を代表致しまして、先生の御霊に謹んでお別れの言葉を申し上げます。

先生は、一昨年の11月に開催されました恒例の軍医会の席で身体の不調を訴えられ、医師会病院に1か月ほどご入院された後ご自宅で療養生活を送っていらっしゃいました。

私共医師会会員は、それまで非常にお元気でいらっしゃただけに、必ずや病魔を克服され、今年の春がおとずれるころには、ふたたびあの頑健にして駑蕩たるお姿に接することができるものと確信しておりましただけに、卒然たるご逝去にはただ驚愕し、声を呑んで嗚咽するばかりであります。ましてや後に残されました奥様、照彦先生を始めご家族ご親族のお悲しみは如何ばかりかお慰めの言葉もなく 私共医師会会員一同心から哀悼の意を表するしだいであります。

先生は、大正13年の奇しくもご逝去された日と同じ3月9日にお生まれになりました。長じて昭和16年2月に旧制都城中学校をご卒業になられますと医学の道を志され、現在の中国山東省にあった青島医学専門学校予科にご入学されました。翌年には、本科へと進まれ医学の専門的知識を修得されたのでありましたが、太平洋戦争の激化に伴い卒業試験を受けると卒業式も待たずに、昭和19年12月神奈川県戸塚海軍衛生学校に入学を余儀なくされたのでありました。同校において約3か月の軍人教育を受けられた後、青島医学専門学校に復学と同時にご卒業となられました。しかし時代は個人の意志などないものがごとく、間もなくして招集により海軍軍医として入隊されました。その頃は、太平洋戦争も最終局面にさしかかっており毎晩のようにB29、B51といった米軍の爆撃機が飛来するといった有様でした。凄まじいまでの戦乱をご経験され、ようやく終戦となった昭和20年9月に無事復員されたのでありました。復員後は、しばらくの休養の後、昭和21年3月現在のえびの市加久藤の池田病院に奉職、翌22年9月北諸県郡山之口町の宮田医院に奉職され、昭和22年11月に山之口町の現在の地に大岐医院を開業されたのでありました。当時は、産婦人科の専門医は非常に少なく、国立都城病院から患者が紹介される状況だったとお聞きしております。また食料事

情も悪く殆

どの住民が栄養失調の状態であったようで、先生のお人柄ゆえに1件目の往診先で診療代の足しにでもとらった卵を次の往診先では、患者のあまりに粗末な食事にみかねて、置いて帰るのはしばしばだったと後にお話していらっしゃいます。それから病に倒れる今日まで約半世紀の永きにわたり同時期に開業されました志々目医院の志々目亨先生共々住民の公衆衛生の向上と健康管理の為に昼夜の別なく診療に従事されてこられました。また学校医としても同町内の小学校、中学校の児童生徒の健康増進と保健指導にご尽力されました。先生のこのような貢献に対しまして、昭和56年11月学校保健功勞として宮崎県教育長表彰を、そして平成8年11月には、日本医師会長表彰をお受けになられました。また平成10年12月には、同町の国民健康保険運営協議会委員を永年にわたり務められた功勞によりまして、厚生大臣表彰をお受けになられるという榮譽に浴されました。私共医師会におきましては、昭和38年4月から昭和42年3月までの4年間と昭和47年4月から昭和57年3月までの10年、都合14年間にわたり理事として、現在の都城健康サービスセンターの前身にあたります都城地区総合保健センターにおきまして、管理部長並びに健康相談部長の要職を歴任していただきました。また昭和59年4月から平成10年3月までの14年間は、宮崎県医師会の監事として、適切なるご指導とご助言をいただき県医師会の発展の為にご尽力をいただきました。

現在日本は、戦後に形成されたあらゆる制度や機構が時代の急激な変革に対応出来ずに制度疲労を起こしている状態であるといわれます。これまで日本が世界に誇れる医療保険制度としてきた国民皆保険制度もここにきてその存続を危ぶむ声もあり、医療を取り巻く状況は、益々その先行きが不安なものになりつつあります。しかし私共は、先哲の先生方がそうであったようにこの苦境に屈することなく、更なる地域医療の発展の為に、会員一丸となって邁進していく所存であります。

大岐先生、先生のご逝去は、私共会員にとりまして、惜しみてもなお余りあるものがありますが、ご子息の照彦先生が先生のご意志を立派に受け継がれ、更なる地域医療の発展の為にご尽力されるものと確信致しております。私共医師会会員は、いつまでも先生を慕い、先生を語り、永く心の奥底に留めるところでありましょう。

大岐先生、お名残りはつきませんが、医師会を代表してここに謹んで哀悼の意を表し、合わせて衷心より先生の生前の地域医療活動における多数の業績に対しまして、あらためて深甚なる敬意と感謝の誠を捧げまして、心よりご冥福をお祈り申し上げお別れの言葉と致します。

先生どうか安らかに眠りください。

平成14年 3 月11日

都城市北諸県郡医師会

会長 柳 田 喜美子

## 追 悼 の こ と ば

宮 崎 市 郡 医 師 会

たか やま まさ み  
高 山 正 己 先生

(大正11年 7 月24日生 79歳)

## 弔 辞

故 高山正己先生の御霊前に宮崎市郡医師会を代表して、謹んでお別れの言葉を申し上げます。

一昨日、先生の御訃報に接し会員一同深い悲しみに包まれております。

先生におかれましては、昨年 8 月にお身体の不調を訴えられ御入院の後、ご自宅で御療養中とお聞きいたしておりましたが、4 月 9 日、午後11時46分、79歳の御生涯を静かに閉じられました。

奥様を始め御家族皆様のお嘆きはいかばかりとお察し申し上げ、衷心より哀悼の意を捧げる次第でございます。

先生は、昭和22年 3 月に大阪帝国大学医学部を御卒業になり、昭和24年 1 月から同附属病院第三内科学教室に御入局なさいました。その後、昭和25年 2 月から国立愛媛療養所に御勤務、同年 8 月から再び附属病院第三内科学教室にお戻りになり御研鑽を積まれました。昭和26年12月には国立療養所延寿浜園に御勤務になりましたが、昭和41年 5 月、お父上高山虎太郎先生の佐土原病院で、お父上と御一緒に診療なさるため佐土原にお帰りになりました。先生は、昭和42年 6 月、お父上から院長職を受け継がれ、平成11年 6 月に院長を御退任されるまで、30年余の永きにわたり地域医療の第一線で、ひたすら地域住民の医療・保健の向上のために御尽力下

さいました。その優しく真面目なお人柄は地域の皆様の尊敬と信頼を集めておられました。

先生は御多忙な診療の傍ら、昭和37年 4 月に宮崎市郡医師会の理事に御就任になり、医師会の運営発展、地域医療の向上充実のため、献身的に御尽力いただきました。

また、先生は御多忙なお仕事の傍ら、昭和33年 4 月から佐土原保育園、明照保育園、佐土原幼稚園、佐土原小学校などの園医、校医として永年にわたり園児、児童の健康管理と健康増進に積極的に取り組まれ、学校保健の向上に多大の御貢献をいただきました。

これらの先生の御功績に対し、昭和56年宮崎郡学校保健会長表彰、昭和62年宮崎県教育長表彰をお受けになりました。

先生は多種多才な方であり、御多忙なお仕事の合間にご趣味として、俳句をたしなまれ、また英語、ドイツ語の勉学をなさっておられました。

高山家におかれましては、先生と奥様の御薫陶をお受けになられました一男一女の御子様がおりますが、御長男の和久先生はこの佐土原の地で、また、御長女は埼玉県で医師として御活躍中であり、後顧の憂いなきものと存じます。

今ここに先生をお送りするにあたり、先生の永年にわたる地域医療・保健活動への御功績に深甚の敬意を表し、心から御冥福をお祈りいたしましてお別れの言葉といたします。

高山先生、どうぞ安らかに眠りください。

平成14年 4 月12日

宮 崎 市 郡 医 師 会

会長 綾 部 隆 夫

## お知らせ

平成14年 4 月から医療機関の

**広告規制が緩和**されました

医療機関が広告できる事項として下記が追加されます

1. 医療の内容に関する情報
  - 専門医の認定
  - 分娩件数
  - 治療方法
  - 平均在院日数
  - 手術件数
  - 疾患別患者数
2. 医療機関の構造設備・人員配置に関する情報
  - 医師・看護婦等の患者数に対する配置割合
  - 売店、食堂、一時保育サービス等
3. 医療機関の体制整備に関する情報
  - セカンドオピニオンの実施
  - 症例検討会の開催
  - 電子カルテの導入
  - 入院診療計画の導入
  - 患者相談窓口の設置
  - 医療安全のための院内管理体制
4. 医療機関に対する評価
  - (財)日本医療機能評価機構の個別評価結果
5. 医療機関の運営に関する情報
  - 病床利用率
  - 外部監査
  - 理事長の略歴
  - 患者サービスの提供体制に係る評価 (ISO 9000 s)
6. その他
  - 医療機関のホームページアドレス
  - 次に掲げる医療機関である旨
    - 公害健康被害の補償等に関する法律の公害医療機関
    - 小児救急医療拠点病院
    - エイズ治療拠点病院
    - 特定疾患治療研究事業を行っている病院 等

掲載内容について条件が付いているものがあります。

詳細は、厚労省ホームページ

<http://www.mhlw.go.jp/topics/2002/04/tp0401-1.html>

## 会 員 消 息

平成14年 4 月末現在 会 員 数 1,601名

( A 会 員 805 名 , B 会 員 796 名 )

( 男 性 1,464 名 , 女 性 137 名 )

## — 入 会 —

B ^{A2}	速水 聡 (宮崎)	H14.3.1	宮崎市郡 医師会病院	宮崎市新別府町船戸738-1 ☎0985-24-9119
B	廣田 和英 (日向)	H14.3.1	東郷町 国民健康保険病院	東臼杵郡東郷町大字山陰丙1413 ☎0982-69-2013
B	川越 靖之 (宮医大)	H14.3.1	宮崎医科大学 産婦人科	宮崎郡清武町大字木原5200 ☎0985-85-0988
B	川野 彰裕 (宮医大)	H14.3.1	宮崎医科大学 整形外科	宮崎郡清武町大字木原5200 ☎0985-85-0986
B ^{A2}	青木 敏浩 (宮崎)	H14.3.16	(財)弘潤会 野崎東病院	宮崎市村角町高尊2105 ☎0985-28-8555
B ^{A2}	安藤 徹 (宮崎)	H14.4.1	宮崎市郡 医師会病院	宮崎市新別府町船戸738-1 ☎0985-24-9119
B	関 良二 (宮崎)	H14.4.1	宮崎医療生活協同組合 宮崎生協病院	宮崎市大島町天神前1171 ☎0985-24-6877
B	鶴田 ときみ(宮崎)	H14.4.1		宮崎市神宮西2-86 ☎0985-31-2581
B ^{A2}	藤原 まゆみ(宮崎)	H14.4.1	宮崎市郡 医師会病院	宮崎市新別府町船戸738-1 ☎0985-24-9119
B	旭吉 雅秀 (都城)	H14.4.1	(医)魁成会 宮永病院	都城市松元町15-10 ☎0986-22-2015
B	市原 厚佳 (延岡)	H14.4.1	(医)康仁会 谷村病院	延岡市北小路10-2 ☎0982-33-3024
B	中元寺 義昭(延岡)	H14.4.1	県立延岡病院	延岡市新小路2-1-10 ☎0982-32-6181
B	日高 淑晶 (延岡)	H14.4.1	(医)健寿会 黒木病院	延岡市祇園町2-3-10 ☎0982-21-6381
B	弓削 麻里子(延岡)	H14.4.1	〃	〃
B ^{A2}	武田 龍一郎(宮医大)	H14.4.1	宮崎医科大学 精神科	宮崎郡清武町大字木原5200 ☎0985-85-2969

## — 異 動 —

B ^{A2}	小佐井 和子(宮崎)	H14.3.1	こさい胃腸科外科 (会 員 区 分 変 更 : B → B ^{A2} )	宮崎市大字島之内字野入6725-4 ☎0985-30-2255
-----------------	------------	---------	--------------------------------------------------	------------------------------------

B	松岡 春明 (延岡) (勤務先等変更)	H14.3.6	(医) 久康会 トトロみのる園	延岡市鯛名町422-9 ☎0982-37-3336
B	金子 里春 (延岡) (自宅住所等変更)	H14.3.12	(医) 昭和会 黒瀬病院	延岡市構口町2-123 ☎0982-21-2558
A	金田 礼子 (宮崎) (施設住所変更)	H14.3.20	(医) 金田クリニック 金田礼子ひふ科医院	宮崎市大橋1-97-2 ☎0985-29-3922
A	黒木 透 (西諸) (会員区分等変更: B ^{A2} →A)	H14.3.25	(医) 黎明会 えびの共立病院	えびの市大字向江506 ☎0984-37-1313
B ^{A2}	黒木 達 (西諸) (会員区分等変更: A→B ^{A2} )	H14.3.25	"	"
B	植野 茂美 (宮崎) (勤務先等変更)	H14.4.1	宮崎医療生活協同組合 宮崎生協病院	宮崎市大島町天神前1171 ☎0985-24-6877
B	上野 満 (宮崎) (施設住所変更)	H14.4.1	"	"
B	遠藤 豊 (宮崎) (施設住所変更)	H14.4.1	"	"
B ^{A2}	佐野 浩一郎 (宮崎) (勤務先等変更: B→B ^{A2} ・延岡→宮崎)	H14.4.1	(財) 弘潤会 野崎東病院	宮崎市村角町高尊2105 ☎0985-28-8555
B	末岡 常昌 (宮崎) (施設住所変更)	H14.4.1	宮崎医療生活協同組合 宮崎生協病院	宮崎市大島町天神前1171 ☎0985-24-6877
B	立山 浩道 (宮崎) (会員区分変更: B ^{A2} →B)	H14.4.1	県立宮崎病院	宮崎市北高松町5-30 ☎0985-24-4181
A	中村 育夫 (宮崎) (施設等変更)	H14.4.1	宮崎医療生活協同組合 和知川原生協クリニック	宮崎市和知川原2-25-1 ☎0985-23-0050
A	比嘉 昭彦 (宮崎) (新規開業: B→A)	H14.4.1	ひが内科胃腸科	宮崎市大塚町1976-1 ☎0985-50-0533
A	日高 明義 (宮崎) (施設住所変更)	H14.4.1	宮崎医療生活協同組合 宮崎生協病院	宮崎市大島町天神前1171 ☎0985-24-6877
B	細見 潤 (宮崎) (勤務先等変更)	H14.4.1	(財) 弘潤会 野崎病院	宮崎市大字恒久5567 ☎0985-51-3111
A	安田 博 (宮崎) (有床→無床へ変更)	H14.4.1	安田医院	宮崎郡佐土原町大字下田島20293-12 ☎0985-51-3111
B ^{A2}	高橋 誉 (都城) (勤務先等変更: B→B ^{A2} )	H14.4.1	都城市郡 医師会病院	都城市大岩田町5822-3 ☎0986-39-1100
A	永田 昌彦 (児湯) (新規開業: B→A・延岡→児湯)	H14.4.1	吉田クリニック	児湯郡木城町大字高城3848 ☎0983-32-3322
B	吉田 隆 (児湯) (自宅会員等へ変更: A→B)	H14.4.1		児湯郡木城町大字高城3849 ☎0983-32-2061

## — 退 会 —

B ^{A2}	小林 由紀子(宮崎)	H14.2.28	宮崎市郡 医師会病院	宮崎市新別府町船戸738-1 ☎0985-24-9119
B	堀之藺 瑞恵(宮崎)	H14.3.12	日本生命保険 相互会社宮崎支社	宮崎市高千穂通1-7-32 ☎0985-24-7111
B ^{A2}	浅見 尚規 (宮崎)	H14.3.31	(医)同心会 古賀総合病院	宮崎市池内町数太木1749-1 ☎0985-39-8888
B	池田 拓人 (宮崎)	H14.3.31	(財)弘潤会 野崎東病院	宮崎市村角町高尊2105 ☎0985-28-8555
B	岩田 鉦司 (宮崎)	H14.3.31	(医)陽明会 増田病院	宮崎市大瀬町2176-1 ☎0985-41-1234
B	上田 孝 (宮崎)	H14.3.31	宮崎社会保険病院	宮崎市大坪西1-2-1 ☎0985-51-7575
B ^{A2}	金丸 幹郎 (宮崎)	H14.3.31	宮崎市郡 医師会病院	宮崎市新別府町船戸738-1 ☎0985-24-9119
B ^{A2}	佐々木 真弓(宮崎)	H14.3.31	〃	〃
B ^{A2}	塩月 康弘 (宮崎)	H14.3.31	〃	〃
B	谷口 裕 (宮崎)	H14.3.31	宮崎社会保険病院	宮崎市大坪西1-2-1 ☎0985-51-7575
B ^{A2}	菅井 健治 (延岡)	H14.3.31	延岡市立 島浦診療所	延岡市島浦町745-2 ☎0982-43-0771
B	田中 隆 (延岡)	H14.3.31	(医)健寿会 黒木病院	延岡市祇園町2-3-10 ☎0982-21-6381
B	永友 武郎 (延岡)	H14.3.31	林田眼科医院	延岡市平原町1-1010 ☎0982-22-3500
B	山崎 和代 (西諸)	H14.3.31	小林市立 市民病院	小林市大字細野2235-3 ☎0984-23-4711
B	吉田 隆充 (西諸)	H14.3.31	(医)相愛会 介護老人保健施設 相愛宛	小林市大字北西方66-3 ☎0984-22-7020
B ^{A2}	陣之内 正史(宮医大)	H14.3.31	宮崎医科大学 放射線科	宮崎郡清武町大字木原5200 ☎0985-85-2807
B	松倉 茂 (宮医大)	H14.3.31	宮崎医科大学 第3内科	宮崎郡清武町大字木原5200 ☎0985-85-2965

宮崎郡佐土原町大字上田島8176  
☎0985-74-3666

トップページでは、オリンピック情報も楽しめます。



## 4月のベストセラー

1	ベラベラブック vol.1 (青版)				ぴ あ (株)
2	常識として知っておきたい日本語	柴 田	武	幻 冬 舎	
3	生きかた上手	日 野 原	重 明	ユーリーグ(株)	
4	男の子ってどうしてこうなの？	S ・ ビ	ダ ル	フ	草 思 社
		菅 靖	彦 ・	訳	
5	ビッグ・ファット・キャットの 世界一簡単な英語の本	向 山	淳 子	幻 冬 舎	
		向 山	貴 彦		
6	声に出して読みたい日本語	斎 藤	孝	草 思 社	
7	本当の学力をつける本	陰 山	英 男	文 藝 春 秋	
8	世界がもし100人の村だったら	ダ グ ラ ス ・	ラ ミ ス	マガジンハウス	
		池 田	香 代 子		
9	却尽童女	恩 田	陸	光 文 社	
10	三色ボールペンで読む日本語	斎 藤	孝	角 川 書 店	

宮脇書店本店調べ

提供：宮崎店(宮崎市青葉町)

☎ (0985) 23-7077

## ドクターバンク情報

(H14.5.1 現在)

求 人：88件(常勤 109人)， 求 職：8件 8人， 賃 貸：4件

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク(求人・求職等の情報提供)を設置しております。現在、上記のとおり情報が寄せられております。

情報の閲覧ご希望の方は、県医師会事務局に直接お越しになり、ご覧になってください。なお、求人、求職の申し込みをご希望の方は、所定の用紙をお送りしますので、ご連絡下さい。

担当理事 和 田 徹 也

事務局 福 元 優 美

T E L 0985-22-5118

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成14年 4 月24日現在

5 月			
1	水		18 土
2	木	19:00 母体保護指定医事前講習	14:00 (福岡) 九医協連次期幹事組合検討委員会 16:00 (鹿児島) 九医連常任委員会 16:00 ドライケミストリーに関する勉強会 17:00 (鹿児島) 九医連定例委員総会
3	金	(憲法記念日)	
4	土	(国民の休日)	
5	日	(こどもの日)	19 日
6	月	(振替休日)	20 月
7	火	18:00 医協理事会 19:00 第1回常任理事会	18:30 日本臨床細胞学会理事会 19:00 県内科医会理事会
8	水	14:00 医員(研修医)オリエンテーション	21 火
9	木		18:00 県健康づくり協会監査 19:00 第2回常任理事会
10	金	19:00 看護の心のメッセージ選考会	22 水
11	土		15:00 支払基金幹事会 16:30 医協会計監査
12	日		23 木
13	月	18:30 県外科医会理事会 19:00 県外科医会評議員会	19:00 産業医部会理事会
14	火	14:00 (東京) 日医連執行委員会 15:00 (東京) 日医役員就任披露パーティ及び衆・参推薦議員との懇談会 18:30 第5回全理事会 19:00 宮崎医科大学教授と県医師会役員との懇談会	24 金
15	水	13:30 県個人情報保護懇話会 15:30 県リハビリテーション協議会 19:00 県内科医会学術委員会 19:00 広報委員会	13:30 県暴力追放県民会議理事会
16	木	みやざきナース Today2002第3回担当者会議 19:00 県健康づくり協会幹部会	25 土
17	金	16:00 地域福祉権利擁護事業契約締結審査会 19:00 外国人患者対応研修会	15:30 県外科医会・県整形外科医会・労災部会総会・合同学会 12:30 みやざきナース Today2002
			26 日
			27 月
			13:30 (東京) 支払基金本部理事会 19:00 県産婦人科医会常任理事会 19:00 県内科医会評議員会 19:00 広報委員会
			28 火
			14:00 (日医) 都道府県医師会長協議会 19:00 第6回全理事会
			29 水
			15:00 労災診療指導委員会 15:30 腎臓バンク理事会 17:00 県健康づくり協会理事会 18:30 南那珂医師会総会
			30 木
			16:30 県医諸会計監査
			31 金
			(大阪) 日本臨床細胞学会総会 16:00 (神戸) 日本プライマリ・ケア学会理事会 19:00 (神戸) 日本プライマリ・ケア支部懇談会

都合により、変更になることがあります。

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成14年 4 月24日現在

6 月			
1	土	(大阪)日本臨床細胞学会総会 11:00 (神戸)日本プライマリ・ケア学 会総会 14:00 産業医部会総会 14:30 産業医研修会	15 土 (東京)全医協連理事会 16 日 (東京)全医協連理事会 17 月 19:00 広報委員会
2	日	9:00 (神戸)日本プライマリ・ケア学 会	18 火 17:30 第9回全理事会 18:00 医協総代会 18:50 県医定例代議員会 19:30 県医連執行委員会
3	月		
4	火	18:00 第7回全理事会 19:00 各都市医師会長協議会	19 水
5	水		20 木
6	木	13:00 (日医)日本医学会百周年記念式 典・シンポジウム 15:00 産業医研修会	21 金
7	金		22 土 14:30 産業医研修会
8	土	県内科医会総会学術講演会	23 日
9	日	10:30 (東京)全医協連購買部会	24 月 13:30 (東京)支払基金本部理事会 19:00 県産婦人科医会常任理事会
10	月		25 火 18:00 第10回全理事会 18:30 新研修医保険診療説明会・ 祝賀会
11	火	17:00 医協運営委員会 17:30 第8回全理事会 18:00 県福祉保健部と県医師会との懇 談会	26 水 15:00 労災診療指導委員会 15:00 支払基金幹事会
12	水		27 木 19:00 広報委員会
13	木	19:00 互助会定時評議員会	28 金 16:00 地域福祉権利擁護事業契約締結 審査会
14	金	西諸医師会通常総会 15:00 (福岡)全国国保組合協会通常総 会	29 土 16:00 県医定例総会・特別講演会 30 日

都合により、変更になることがあります。

## 医 学 会 ・ 講 演 会

### 日本医師会生涯教育講座認定学会

注：数字は日本医師会生涯教育制度認定単位。当日，参加証を交付。

がん検診 = 各種がん検診登録・指定による研修会      太字 = 医師会主催・共催  
アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名 称	日 時	場 所 会 費	演 題	そ の 他
第 9 回宮崎消化器 病研究会 ( 3 単位 )	5 月10日(金) 18 : 45 ~ 21 : 00	宮崎観光ホ テル 1,000円	超音波検査における肝腫瘍の血流評価 - カラー Doppler 法及び造影エコー法 における検討 - 久留米大学医学部第 2 内科講師 小野 尚文 粘膜免疫機構の特殊性応用による大 腸疾患治療戦略 東京医科歯科大学大学院消化・ 代謝内科・消化器内科教授 渡辺 守	共催 宮崎消化器病研究会 第一製薬(株)
第17回宮崎直腸肛 門疾患懇話会 ( 3 単位 )	5 月11日(土) 15 : 00 ~	県医師会館	直腸癌に対する外科治療の工夫 藤田保健衛生大学外科助教授 前田 耕太郎	主催 宮崎直腸肛門疾患懇 話会
臨床医のための循 環器疾患研究会 ( 5 単位 )	5 月17日(金) 18 : 30 ~	宮崎観光ホ テル	プレコンディショニングの臨床 広島市民病院循環器科部長 石原 正治 胆汁排泄型 ACE 阻害薬をどう使うのか 埼玉医科大学腎臓内科教授 鈴木 洋通	共催 臨床医のための循環 器疾患研究会 宮崎県医師会 宮崎県内科医会 中外製薬(株)
延岡医学会学術講 演会 ( 5 単位 )	5 月17日(金) 18 : 30 ~ 20 : 30	サンレー松 柏園	COPD の診断と治療 熊本中央病院呼吸器科医長 吉永 健	共催 延岡医学会 三菱ウェルファーマ(株) 後援 延岡内科医会
西諸医師会・西諸 内科医会合同学術 講演会 ( 5 単位 )	5 月17日(金) 18 : 30 ~ 21 : 00	ガーデンベ ルズ小林	気管支喘息治療の基本と応用 久留米大学医学部第 1 内科教授 相澤 久道	主催 西諸医師会 西諸内科医会
平成14年度外国人 患者対応研修会 ( 5 単位 )	5 月17日(金) 19 : 00 ~	県医師会館	ヨーロッパ(文化と地域特性)につ いて - ワールド・カップ本邦開催を前に - 外務省大臣官房海外広報課海外 広報官 鈴木 優梨子	主催 宮崎県医師会

名 称	日 時	場 会 所 費	演 題	そ の 他
学術講演会 ( 3 単位 )	5 月17日(金) 19 : 00 ~ 20 : 30	ホテルプラ ザ宮崎	Prader-Willi 症候群の診断と治療 独協医科大学越谷病院小児科 教授 永井 敏郎	共催 宮崎県小児科医会 宮崎市郡小児科医会 ファルマシア(株)
第 2 回宮崎急性血 液浄化研究会 ( 3 単位 )	5 月18日(土) 16 : 00 ~ 18 : 30	宮崎観光ホ テル	急性肝不全の病態と最新の治療 昭和大学藤が丘病院消化器内科 教授 与芝 真彰	主催 宮崎急性血液浄化研 究会 共催 鳥居薬品(株)
宮崎市郡外科医会 5 月例会 ( 3 単位 )	5 月20日(月) 19 : 00 ~ 20 : 00	宮崎観光ホ テル	日常診療における緩和医療の実践 宮崎市郡医師会病院内科医長 黒岩 ゆかり	主催 宮崎市郡外科医会
宮崎県臨床整形外 科医会学術講演会 ( 3 単位 )	5 月21日(火) 18 : 30 ~ 20 : 00	宮崎観光ホ テル	骨粗鬆症 - 薬物治療の現状と未来 - 大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科学教授 高岡 邦夫	共催 宮崎県臨床整形外科 医会 武田薬品工業(株) アベンティスファ ーマ(株)
宮崎市郡小児科医 会学術講演会 ( 3 単位 )	5 月23日(木) 18 : 45 ~ 20 : 10	宮崎観光ホ テル	小児気管支喘息の薬物療法 - ロイコ トリエン受容体拮抗薬の有用性 - 北九州アレルギークリニック 院長 古庄 巻史	共催 宮崎市郡小児科医会 小野薬品工業(株) 後援 宮崎県医師会
みやざきナース Today 2002	5 月25日(土) 12 : 30 ~ 15 : 00	県立看護大 学	妻の介護は私がやる - 寝たきり夫人の介護体験記 - 前・高槻市長 江村 利雄	主催 宮崎県 宮崎県看護協会 宮崎県医師会 宮崎県歯科医師会 日本精神科看護技術 協会宮崎県支部 後援 厚生労働省 日本看護協会他
宮崎県外科医会・ 整形外科医会・宮 崎県医師会労災部 会合同学会 ( 5 単位 )	5 月25日(土) 17 : 00 ~ 18 : 00	県医師会館	薬剤アレルギー - 薬疹のとらえ方と対応 - 宮崎医科大学皮膚科助教授 緒方 克己	共催 宮崎県医師会労災部会 宮崎県外科医会 宮崎県整形外科医会
都城市北諸郡郡医 師会学術講演会 ( 5 単位 )	5 月25日(土) 19 : 00 ~ 20 : 00	ホテル中山 荘	オープンシステムの現状と将来像 - 新たな病診連携の試み - 県西部浜松医療センター周産期 センター副所長 前田 真	主催 都城市北諸郡郡医師 会 都城市北諸郡郡母性 保護産婦人科医会 共催 明治乳業(株)
臨床医のための喘 息座談会 ( 3 単位 )	5 月30日(木) 19 : 00 ~ 21 : 30	宮崎観光ホ テル	軽症喘息の新しいアプローチ (仮) 近畿大学呼吸器アレルギー科 教授 東田 有智	共催 宮崎県内科医会 万有製薬(株)

名 称	日 時	場 所 費	演 題	そ の 他
延岡医学会学術講演会 ( 5 単位 )	5 月 31 日(金) 18 : 30 ~ 20 : 00	ホテルメリージュ延岡	頸動脈エコーから診る動脈硬化の進展 - 高齢者の高血圧や心不全との関連 - 県立宮崎病院内科医長 中川 進	共催 延岡医学会 ノバルティスファーマ(株) 後援 延岡内科医会
第23回宮崎でんかん懇話会 ( 3 単位 )	5 月 31 日(金) 18 : 30 ~ 20 : 30	宮崎観光ホテル 1,000円	小児てんかんの臨床 福岡市立こども病院・感染症 センター小児神経科部長 花井 敏男	主催 宮崎でんかん懇話会 協和発酵工業(株)
宮崎県皮膚科医会学術講演会 ( 3 単位 )	5 月 31 日(金) 19 : 00 ~ 20 : 30	宮崎観光ホテル	新しい創傷治療の考え方 - 傷は消毒してはいけない - 山形市立病院済生館形成外科 科長 夏井 睦	共催 宮崎県皮膚科医会 ブリストル・マイヤーズスクイブ(株)コンパテック事業部
宮崎県医師会産業医部会総会・研修会 ( 5 単位 )	6 月 1 日(土) 14 : 00 ~ 18 : 30	県医師会館	健康管理「健康管理」 宮崎産業医保健推進センター 所長 常俊 義三 総論「産業医の倫理ガイダンス」 産業医科大学長 大久保 利晃	主催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業医研修会 ( 5 単位 )	6 月 6 日(木) 15 : 00 ~	宮崎産業医保健推進センター	過労死と突然死 産業医保健相談員 大西 雄二	主催 宮崎県医師会
宮崎アレルギー疾患研究会 ( 3 単位 )	6 月 6 日(木) 18 : 30 ~	宮崎観光ホテル	耳鼻科からみた 型アレルギーと抗原認識 鹿児島大学医学部耳鼻咽喉科 助教授 松根 彰志 好酸球増多を伴う疾病 - hypereosinophilia - associated disease(HEAD) - 都立駒込病院アレルギー膠原 病科部長 猪熊 茂子	共催 宮崎アレルギー疾患 研究会 宮崎県内科医会 宮崎県皮膚科医会 宮崎県耳鼻咽喉科医会 宮崎県小児科医会 日本ペーリンガーイ ンゲルハイム(株)
「運動器(骨と関節)の10年」県民 フォーラム	6 月 7 日(金) 14 : 30 ~ 17 : 00	シェラトン・グランデ・オーシャンリゾートワールドコンベンションセンターサミット	腰痛 そのさまざまな原因と診断・ 治療 和歌山県立医科大学教授 玉置 哲也 関節リウマチと日常生活 大分医科大学教授 鳥巢 岳彦 エアロビックススポーツと運動器の障害 札幌医科大学教授 石井 清一	共催 日本脊椎椎病学会 エーザイ(株) 後援 宮崎県 宮崎県医師会 朝日新聞社 毎日新聞社 読売新聞社 宮崎日日新聞社 NHK 宮崎放送局 MRT 宮崎放送 UMK テレビ宮崎

名 称	日 時	場 会 所 費	演 題	そ の 他
高脂血症学術講演会 ( 3 単位 )	6 月 7 日(金) 19 : 00 ~ 21 : 30	宮崎観光ホテル	冠動脈動脈疾患と高脂血症 ( 仮 ) 県立日南病院内科 生島 一平 LDL 低下療法の意識 帝京大学内科学教授 寺本 民生	共催 宮崎県内科医会 万有製薬(株)
第18回宮崎県腹部超音波懇話会 ( 3 単位 )	6 月 8 日(土) 18 : 00 ~	宮崎観光ホテル	腹部疾患でのカラードプラ法の有用性と注意点 自治医科大学臨床検査医学講座 助教授 谷口 信行	主催 宮崎県腹部超音波懇話会
宮崎県内科医会総会並びに学術講演会 ( 5 単位 )	6 月 8 日(土) 16 : 00 ~	宮崎観光ホテル	癌治療における支持療法 福岡大学第 1 内科教授 田村 和夫 糖尿病の外来診療 - 経口糖尿病薬の選択 - 順天堂大学医学部内科学教授 河盛 隆造	共催 宮崎県医師会 宮崎県内科医会 武田薬品工業(株)
臨床医のための循環器疾患研究会 ( 5 単位 )	6 月19日(水) 18 : 30 ~ 21 : 00	宮崎観光ホテル	糖尿病性早期腎症に対するアンジオテンシン 受容体拮抗剤の効果 県立宮崎病院内科医長 石川 恵美 アンジオテンシン 受容体拮抗剤の新しい展開 千葉大学大学院医学研究院循環器病態医学教授 小室 一成	共催 臨床医のための循環器疾患研究会 宮崎県医師会 宮崎県内科医会 武田薬品工業(株)
宮崎木曜会創立記念講演会 ( 3 単位 )	6 月20日(木) 19 : 00 ~	宮崎観光ホテル	胆道癌に対する外科治療 - 現状と対策 - 宮崎医科大学第 1 外科教授 千々岩 一男	主催 宮崎木曜会
宮崎県医師会産業医研修会 ( 前期 ) ( 5 単位 )	6 月22日(土) 14 : 30 ~ 17 : 30	県医師会館	メンタルヘルスケア概論 宮崎医科大学公衆衛生学助手 黒田 嘉紀 有害業務管理 宮崎医科大学公衆衛生学教授 加藤 貴彦	主催 宮崎県医師会
第 7 回宮崎県呼吸ケア研究会 ( 3 単位 )	6 月22日(土) 15 : 00 ~ 18 : 30	JA-AZM ホール	在宅ケアでの看護師の役割 ( 仮 ) 都立保険科学大学看護学科 川村 佐和子	主催 宮崎県呼吸ケア研究会 後援 宮崎県医師会

名 称	日 時	場 会 所 費	演 題	そ の 他
宮崎県医師会勤務 医部会講演会 ( 5 単位 )	7 月 6 日(土) 16 : 00 ~ 18 : 00	県医師会館	未定 宮崎医科大学医療情報部教授 荒木 賢二 未定 関西医科大学第 2 内科助教授 松原 弘明	主催 宮崎県医師会勤務医 部会
宮崎県医師会産業 医研修会 ( 5 単位 )	7 月10日(水) 15 : 00 ~	宮崎産業保 健推進セン ター	職場における腰痛対策 産業保健相談員 獅子目 賢一郎	主催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 ( 5 単位 )	7 月13日(土) 13 : 45 ~ 18 : 15	JA-AZM ホール	健康保持増進 宮崎医科大学公衆衛生学講師 今井 博久 作業環境管理 産業医科大学衛生学 川本 俊弘 三菱ビーシーエル(株) 陰山 信二 宮崎沖電気(株)健康推進室長 小宮 康裕 有害業務管理 千葉大学大学院医学研究院環境・ 高齢健康科学研究部門教授 森 千里	主催 宮崎県医師会
第21回宮崎県臨床 整形外科医会学術 講演会 ( 3 単位 )	7 月19日(金) 18 : 00 ~ 20 : 30	宮崎観光ホ テル 2,000円	RA の外科的治療について 国立都城病院整形外科医長 税所 幸一郎 股関節外科の合併症とその対策 福岡大学医学部整形外科教授 内藤 正俊	共催 宮崎県臨床整形外科 医会 三共(株)
第27回宮崎木曜会 消化器疾患夏季セ ミナー ( 5 単位 )	7 月20日(土) 13 : 30 ~ 17 : 30	宮崎観光ホ テル 開業医 16,000円 勤務医 8,000円	食道がんと鑑別を要する非がん性病変 都立駒込病院外科部長 吉田 操 胃がんと間違われやすい炎症性病変・ その他の病変 社会保険中央病院(東京) 消化器部長 浜田 勉	主催 宮崎木曜会 共催 宮崎県医師会 宮崎県内科医会
	7 月21日(日) 9 : 00 ~ 12 : 10	宮崎観光ホ テル 開業医 16,000円 勤務医 8,000円	小腸腫瘍との鑑別を要する炎症性病 変・その他の病変 九州大学大学院病態機能内科学 教授 飯田 三雄 大腸腫瘍と間違われやすい炎症性病 変・その他の病変 国立病院九州がんセンター 副院長 牛尾 恭輔	

**お知らせ****県ドクターズテニスクラブ  
春の大会の開催について**

日 時 平成14年 6 月 2 日(日)

8 時30分受付 9 時開始

場 所 シーガイアテニスコート

宮崎市山崎町浜山 ☎0985-21-1311

参加費 5,000円(昼食・コート・ボール代含む)

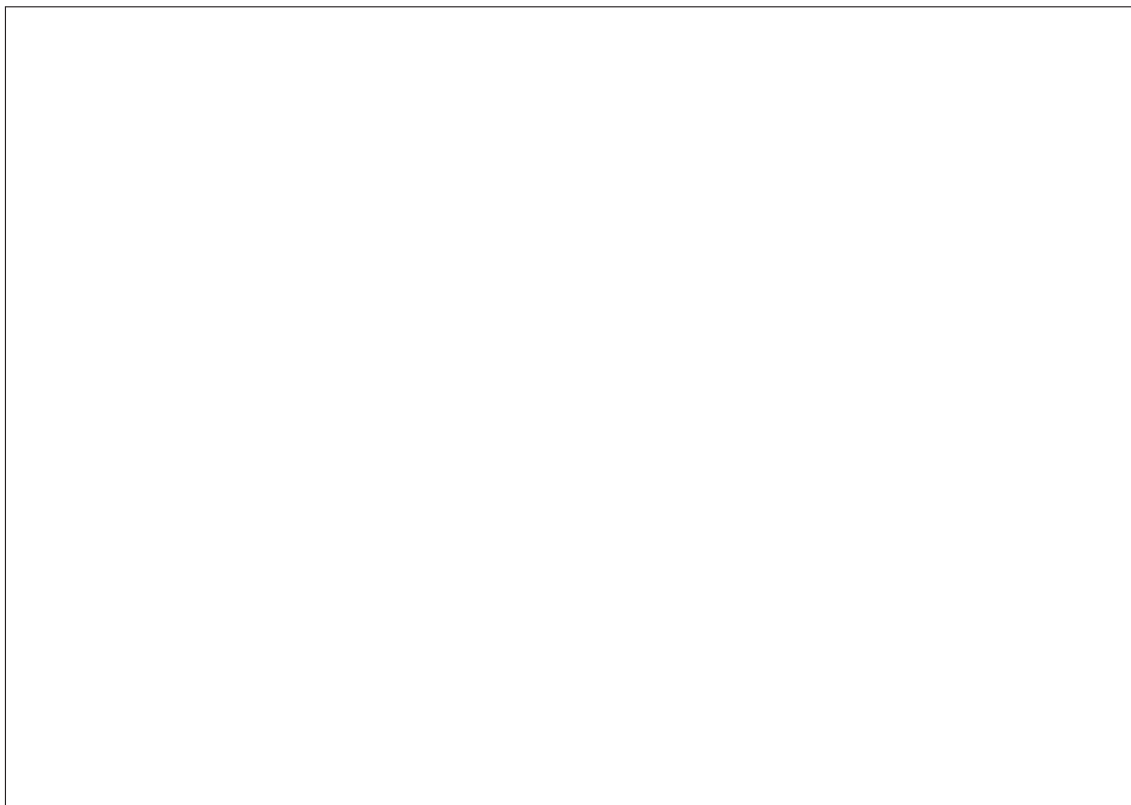
連絡先 宮 永 省 三(古賀総合病院)

〒880-0041 宮崎市池内町数太木1749-1

☎0985-39-8888

初心者,女性,医師に限らず職員も歓迎します。

会長 近 間 悟



## 診療メモ

宮崎医科大学附属病院  
診療受付時間及び休診日

平成14年 5 月 1 日現在

初診・再診 午前 8 時30分～午前11時

休 診 日 土曜・日曜・祝日・年末年始(12月29日から 1 月 3 日)

診療開始 午前 9 時

宮崎医科大学医学部附属病院

☎ 0985 - 85 - 1510

地域医療連携推進センター

☎ 0985 - 85 - 1892

## 外 来 診 療 日

(平成 14 年 5 月現在)

診療科	曜 日	月	火	水	木	金	時間内電話番号
							時間外電話番号
第 一 内 科							0985 - 85 - 9224 0985 - 85 - 1747
第 二 内 科							0985 - 85 - 9224 0985 - 85 - 1789
第 三 内 科							0985 - 85 - 9244 0985 - 85 - 1229
(注1) 精 神 科							0985 - 85 - 9249 0985 - 85 - 1744
(注2) 小 児 科			○		○		0985 - 85 - 9257 0985 - 85 - 1776
第 一 外 科							0985 - 85 - 9274 0985 - 85 - 1745
第 二 外 科							0985 - 85 - 9290 0985 - 85 - 1769
整 形 外 科							0985 - 85 - 9299 0985 - 85 - 1743
(注3) 皮 膚 科		▲					0985 - 85 - 9312 0985 - 85 - 1899
泌 尿 器 科			○	▲	○		0985 - 85 - 9317 0985 - 85 - 1898
眼 科							0985 - 85 - 9320 0985 - 85 - 1797
(注4) 耳 鼻 咽 喉 科						▲	0985 - 85 - 9327 0985 - 85 - 1042
産 科 婦 人 科			○		○		0985 - 85 - 9332 0985 - 85 - 1746
放 射 線 科							0985 - 85 - 9347 0985 - 85 - 1742
麻 酔 科							0985 - 85 - 9355 0985 - 85 - 1742
脳 神 經 外 科						○	0985 - 85 - 9351 0985 - 85 - 1797
(注5) 歯 科 口 腔 外 科							0985 - 85 - 9385 0985 - 85 - 1743

初診・再診日 ○初診日

再診日 ▲特殊診察日

(注1) 精神科(要予約制)

(注2) 小児科(火・木の初診は循環器のみ)

(注3) 皮膚科(原則として紹介状が必要)

(注4) 耳鼻咽喉科(予約が必要)

(注5) 歯科口腔外科(予約又は紹介状が必要)

## 内 科 ・ 外 科 の お も な 診 療 内 容

一内科	循環器,腎臓,消化管,一般内科
二内科	消化器(胃腸,肝臓),血液,感染症,膠原病,一般内科
三内科	内分泌,代謝(糖尿病を含む),神経内科,呼吸器,一般内科
一外科	消化器,一般外科(乳腺,甲状腺,ヘルニア,肛門を含む)
二外科	心臓・血管,呼吸器,消化器,内分泌,一般外科

## お知らせ

## 基本健康診査時のC型肝炎ウイルス検診 についてのお願い（県保健薬務課）

平成14年度から本県でも基本健康診査を実施する際に、国の肝炎ウイルス検診等実施要領に基づき、節目検診対象者等のC型肝炎ウイルス（HCV）抗体検査を実施することになりました。

C型肝炎ウイルス検診を推進するに際しては、HCV 抗体陽性例の中には、HCV キャリアの他に、一過性の感染経過後ウイルスが体内から排除され、HCV 抗体のみが検出される例（感染既往例）も混在すること、及び新たな感染による HCV キャリアの発生は極めて低率に止まることから、1 回の検査で正しく判定する検査体制の整備が必要であると考えられます。

このことから、1 次スクリーニング検査として HCV 抗体価を測定する際、高力価群、中力価群、低力価群の 3 段階に適切に分類することのできる測定系（定性検査は不可）を用い、中力価群については、核酸増幅検査（NAT）により HCV RNA の検出を行い「HCV に感染している可能性が極めて高い」群と「HCV に感染していない可能性が極めて高い」群に分ける方法を実施するようお願いいたします。

詳しくは、県医師会のご協力のもと作成いたしました「C型肝炎ウイルス抗体陽性者対応マニュアル」をご参照下さい。

なお、不明な点がありましたら市町村の基本健診窓口及び、県庁保健薬務課までお問い合わせ下さい。

（問い合わせ先 県庁保健薬務課 0985-26-7078・7079）

### *** 注 意 ***

基本健康診査によるC型肝炎ウイルス検査については、予算措置などの関係から、市町村によって実施時期および対象者が異なります。

実施要項につきましては、各都市医師会からの通知に従って下さい。

お知らせ

## 宮崎県医師会「互助会融資契約」 によるボーナス資金等融資のご案内

宮崎県医師会互助会

TEL 0985 - 22 - 5118

### 「互助会基金引当融資」

1. 融資対象条件：互助会加入歴2年以上の会員
2. 融 資 金 額：3,000万円以内
3. 資 金 用 途：設備・学資・運転資金，その他県医師会融資審議委員会で必要と認めた資金
4. 融 資 期 間： 運転資金 原則として1年以内  
設備資金 20年以内
5. 取 扱 銀 行：宮崎銀行・宮崎太陽銀行・西日本銀行
6. 利 率：1.875%～2.425%（期間に応じて）
7. 事 務 手 続

各都市医師会又は県医師会に備えている「融資申込書」に必要事項を記入して，所属都市医師会へ提出

都市医師会は支部長の推薦書を付けて県医師会（融資審議委員会）に提出  
県医師会（融資審議委員会）で審議し，承認後「融資申込書」を会員へ交付  
会員は「融資申込書」を銀行に提出し，融資を申し込む

互助会融資には枠がありますので，早急にお申し込み下さい

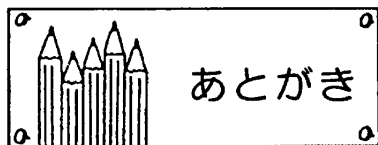
みずほ銀行には既に融資枠が無いので，ご了承ください

## お 知 ら せ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内いたします。  
詳細につきましては、所属郡市医師会へお問い合わせください。

送付日	文 書 名	備 考
	・感染症・食中毒情報（№1100，1101）	
3月22日	・医療用具の保険適用について ・介護報酬の請求に係る消滅時効の起算日について	
3月23日	・第9回「医療従事者のための緊急被ばく医療セミナー」参加者募集について（通知） ・第47回緊急被ばく救護訓練課程研修生募集について ・感染症・食中毒情報（№1102）	
3月27日	・社会保険診療報酬の所得計算の特例措置（いわゆる四段階制）の利用状況の調査について（依頼） ・肝炎ウイルス検診等実施要領（案），及び肝炎ウイルス検診に関するQ & A等の送付について ・医薬品・医療用具等安全性情報第175号の速報について	
3月28日	・「生活習慣病指導管理料」ポスター配布について（依頼） ・職域における屋内空気中のホルムアルデヒド濃度低減のためのガイドラインについて ・感染症・食中毒情報（№1103，1104）	医大を除く
4月1日	・「病原微生物検出情報」，「病原微生物検出情報（普及版）」の送付について ・医薬品再評価結果 平成13年度（その7）について ・新医薬品等の再審査結果 平成13年度（その2）について ・日本医師会認定健康スポーツ医制度における健康スポーツ医学講習会及び健康スポーツ医学再研修会の承認について ・感染症・食中毒情報（№1105）	
4月2日	・職域における屋内空気中のホルムアルデヒド濃度低減のためのガイドラインについて ・C型肝炎ウイルス抗体の検出を目的とする体外診断用医薬品の使用上の注意事項の変更等について ・「救急蘇生法の指針 - 医師用 - 」について	
4月3日	・刑務共済組合員証の無効通知について ・感染症・食中毒情報（№1106）	

送付日	文 書 名	備 考
4 月 4 日	・ 安全な予防接種の推進について ・ 感染症・食中毒情報（№1107，1108）	
4 月 8 日	・ 第16回地域医療情報システムネットワーク研究会（COMINES）定例研究会開催について	
4 月 9 日	・ 感染症・食中毒情報（№1110）	
4 月10日	・ 坪井会長テレビ出演の件 ・ 感染症・食中毒情報（№1111，1112）	
4 月11日	・ 介護保険等利用被爆者助成事業の実施について（通知）	
4 月12日	・ 予防接種法施行令等の一部を改正する政令の施行について ・ 医療法施行規則の一部を改正する省令の施行について（通知） ・ 医業若しくは歯科医業又は病院若しくは診療所に関して広告し得る事項等について（通知） ・ 感染症・食中毒情報（№1113）	
4 月13日	・ 医療法施行規則の一部を改正する省令の施行について	
4 月15日	・ 医療に関する広告規制の緩和について ・ 内服薬及び外用薬の投与量等について ・ 再診料等の取扱いについて ・ 診療報酬請求書等の記載要領等の一部改正に伴うQ & Aの送付等について ・ 再診料と慢性疼痛疾患管理料との関係等について ・ 平成14年度診療報酬改定関連通知の一部訂正等について ・ 医療法人の理事長要件等について ・ 感染症・食中毒情報（№1114）	
4 月16日	・ 米寿会員並びに白寿会員調査方依頼について ・ 在任10年都道府県医師会長 調査依頼について	
4 月17日	・ 日本医師会最高優功賞受賞候補者の推薦方依頼について ・ 看護師等国家試験について ・ 医療用具の保険適用について ・ 感染症・食中毒情報（№1115）	
4 月18日	・ 診療録等の保存を行う場所について（通知） ・ 感染症・食中毒情報（№1117）	



診療報酬のマイナス改定から1か月が過ぎました。実感としては、マイナス1.3%とは程遠く、かなりの減という感じです。レセプトを改定前の点数でやり直してみれば、きちんとした数字が出るはず。正確なデータを集めて、これだけの減収だ、と主張しなければいけないのではないのでしょうか。もう一つ気になるのは、医療者側はマイナスと思っていますが、患者側はそう思っていないのではないかと思います。なぜなら、再診の一回目

が高いからです。4月初めには、「えっ？」という顔をして窓口で支払いをしている患者さんが多かったようです。いちいち受付が説明をしていました。第一印象は大切です。医療者側は大変なマイナスにもかかわらず、患者側は医療費の値上げと勘違いするということ、おかしな状態になった可能性もあるようです。しっかり広報をしないと感覚の違いが大きくなってしまいます。大変なことです。

ところで、今月号から郡市医師会だよりが変わりました。これまでの寄せ書き型から独立型になりました。内容が濃くなりました。如何でしょうか。感染症サーベイランスも一部変わりました。前号とは少し違います。違いがお分かりでしょうか。分かった人はかなりの日州医事通？です。また、日州医談では、院内感染を取り上げてもらっています。具体的な対策方法などとても役に立つ情報です。宮崎県福祉保健部の会計予算については、県のこれからの医療行政への取り組みが推察され考えさせられました。グリーンページでは医療機関の個別指導の内容が書かれています。医療を取り巻く環境は重苦しくなる一方です。気晴らしに中国へグルメ旅行にでも行きたいものです。貴島先生の旅行記はそんな気にさせてくれました。

今年から広報委員長を務める事になりました。医療を取り巻く環境が激変し、正念場とも言える時期に、大変な仕事をまかされたと思っております。微力ですが2年間しっかり務めたいと思っております。これからもこれまで同様、本誌を宜しくお願いいたします。（井上）

NHKテレビに「挑戦への勇気をテーマにした『プロジェクトX』」という番組があります。無名の極普通の日本人が持つポテンシャル、底力の大きさに驚かされるとともに、華やかな成功の裏に隠された艱難辛苦、報われる保証のない努力に毎回胸が熱くなります。番組の最後に、中島みゆきの歌うエンディング曲が、「語り継ぐ、人もなく〜」と流れてくると、家内や子供に気付かれないように目尻を拭く火曜日の夜です。（川名）

初夏の陽気から朝冷えの日へと、やはり季節の変わり目は不安定です。体調を崩されている方も多いのではないのでしょうか？毎日、診療報酬の変更に振り回され、「ま、これでいっか」と取りあえずの日々です。さて、先日、ある知り合いの先生の奥様にお会いした際、「あとがき、いつも見えていますよ」と励ましの言葉をいただきました。会員の先生方のみならず、ご家族やそれ以外の方々にも読んでいただいていることをうれしく思いました。広報委員会として、そういった方々にも医師会の情報を発信できるように頑張りたいと思っています。今期も委員をさせていただきますことになりました。よろしくご指導をお願いします。（大藤）

我が医院は内科、外科、胃腸科を標榜している。先代が小児科を挙げていた為、有り難い事に爺ちゃん婆ちゃん達が孫である乳児を連れてくることも多い。そんな中に、2人だけで子供7人を立派に育てている感心な若夫婦がいる。叱る時はきちんと叱

り、町中を子供の手をひいて楽しそうに歩いていく姿をよく目にする。決して甘やかしている様子もない。過保護すぎる年配の親御さんを見ることも多いのに、なんと清々しい子育てを実践しているのかと嬉しくなる。実は6番目の男の子は、うちの生まれたての子犬に似ていたのだ。小さい頃はよく喘息発作を起こしていたが、今は末っ子の面倒を見たくてたまらないらしく、元気一杯な様子にホッとしている。でも、子犬に似ていたことなどは口が裂けても言えない。（小村）

成田先生と交代で広報委員を拝命いたしました。本書は今まで漠然と読んでいましたが、先日初めて編集会議に出席したところ、本書の編集は結構大変な仕事のようなようです。校正のような細かい作業は苦手ですが、文章を読んだり書いたりするのは得意ですので、やる以上は楽しんでやりたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。（田尻）

最近では、会内広報としてホームページやメーリングリストを多用しています。即時性、コスト、双方向性とメリットが多いのですが、一番の悩みはコンピュータウイルス対策です。先日は、医師会発のウイルス騒動を起こしてしまい、大変ご迷惑をおかけしました。

医師協同組合からのFAX等の案内にありますように、ウイルスソフトの格安販売を企画しましたので、できましたらご利用をお願いいたします。（富田）

## はまゆう随筆原稿募集

7・8月号に夏の恒例になりました「はまゆう随筆」欄を企画致しますので奮って御投稿をお願い致します。毎年みなさまに大変好評のようです。

題 材 = 診療閑話, 私の趣味, 旅行記, スポーツ談義, 詩, 短歌, 俳句など何でも結構です。本文に関連した写真・イラスト等も掲載できます。

字 数 = 800字以内

締 切 = 6月30日

宛 先 = 宮崎県医師会広報委員会

掲載については, 広報委員会にご一任下さいますようお願い致します。

原則として, 原稿はお返しいたしません。返戻を希望される方はその旨ご指示下さい。

原稿は, FAX, 電子媒体にても受け付けております。テキスト形式で保存し, ディスクまたはメールにて下記へお届けください。(投稿項目, タイトル, ご氏名を先頭に付記してください)

宛先: 〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101

FAX 0985-27-6550

E-mail: genko@miyazaki.med.or.jp

日 州 医 事 第633号 (平成14年 5 月号)

(毎月1回10日発行)

発行人 社団法人 宮 崎 県 医 師 会  
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地  
TEL 0985-22-5118(代) FAX 27-6550  
<http://www.miyazaki.med.or.jp/>  
E-mail: office@miyazaki.med.or.jp  
代表者 秦 喜 八 郎

編 集 宮崎県医師会広報委員会  
委 員 長 井上 久  
副 委 員 長 川名 隆司  
委 員 大藤 雪路, 加藤 民哉, 小村 幹夫  
佐々木 究, 田尻 明彦, 三原 謙郎

担当副会長 大坪 睦郎

担当理事 富田 雄二, 池井 義彦

事務局学術課 崎野 文子, 竹崎栄一郎, 千原佐知子

カット 武藤布美子

印刷所 有限会社 ケイ・プロデュース

定 価 350円(但し 県医師会員の講読料は会費に含めて徴収してあります)

●落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。